



近畿大学校友会報

第 41 号
10月15日 (土)
2005年(平成17年)



(写真)

- ① 2005年春完成したEキャンパスグラウンド(東大阪)
- ② 近畿大学附属看護専門学校校舎(大阪狭山)



目 次

校友会定期総会ご案内	2頁
校友会役員紹介	2頁
校友会月別事業経過概要報告	3~6頁
校友会一般会計決算書・予算書	7~8頁
恩師からのお手紙	
「水の流れ」世耕 弘昭 近畿大学理事長・校友会名誉会長	9頁
「近 況」畑 博行 近畿大学学長	10頁
各学部長、短期大学長、専門学校長	10~20頁
ごあいさつ 校友会長 亀岡 弘	20頁
各種委員会 委員長から	20~21頁
支部だより	21~25頁
ご寄稿	25~40頁
学園近況	41~43頁
学生戦績	44~53頁
校友会長賞授与者一覧	53頁
有志の名刺一覧	53~57頁

●平成17年度プログラム●

第1部 定期総会

場 所 記念会館
受 付 11時から

開 始 正午

校歌斉唱
黙とう

- ①開会の辞
- ②校友会会長挨拶
- ③来賓祝辞

第2部 懇親会

開 始 午後12時30分

- ①執行部代表挨拶
- ②乾杯(懇親)
- ③新支部・校友紹介
- ④抽選会 ⑤近大節
- ⑥閉会の辞

散 会 午後3時予定

校友会総会

母校へようこそ

十月十五日
(土)

校友会役員紹介

校友会の役員の皆様は、次のとおりです。(敬称略)

【名誉会長】

世 耕 弘 昭 (せこう・ひろあき)
学校法人近畿大学理事長

【会長】

亀 岡 弘 (かめおか・ひろむ)
大阪理科大学応用化学科昭和27年卒

【副会長】

- 近 藤 勲 (こんどう・いさお)
第一部法学部法律学科昭和35年卒
- 森 本 佳 明 (もりもと・よしあき)
薬学部薬学科昭和37年卒
- 忝 田 裕 顯 (まつだ・ひろあき)
第一部商経学部商学科昭和42年卒
大学院商学研究科修士課程昭和44修
大学院商学研究科修士課程昭和46修
- 南 野 隆 雄 (みなみの・たかお)
第二部商経学部経営学科昭和42年卒
- 本 長 得 平 (ほんちょう・とくへい)
短期大学部通信教育部商経科昭和53年卒

【幹事長】

山 口 英 治 (やまぐち・えいじ)
第一部法学部法律学科昭和47年卒

【副幹事長】

- 佐々木 敏 文 (ささき・としふみ)
農学部農芸化学科昭和45年卒
- 丸 山 次 郎 (まるやま・じろう)
医学部医学科昭和55年卒
大学院医学研究科博士課程昭和61年修

【会計】

- 三 宅 義 雅 (みやけ・よしまさ)
農学部農芸化学科昭和40年卒
- 山 本 正 彦 (やまもと・まさひこ)
第一部商経学部経営学科昭和43年卒
- 嶋 西 洋 治 (しまにし・ようじ)
第一部商経学部商学科昭和45年卒

【会計監事】

- 山 本 隆 (やまもと・たかし)
第二部理工学部機械工学科昭和41年卒
- 谷 本 富 (たにもと・とめる)
第一部理工学部建築学科昭和42年卒
- 高 林 弘 治 (たかばやし・ひろはる)
第一部商経学部商学科昭和44年卒
- 植 屋 亨 (うえや・とおる)
九州工学部建築学科昭和51年卒
- 巴 山 康 夫 (はやま・やすお)
第一部商経学部経営学科昭和55年卒

平成16年度 月別事業経過概要

月 別	議案号数	概 要
4 月	会 議 2号 3号 9号	(1) 4月 9日(金) 執行部会議 (2) 4月 14日(水) 会計監査 (3) 4月 23日(金) 執行部会議 (4) 4月 23日(金) 顧問・相談役・参与会議 (5) 4月 30日(金) 執行部会議 (6) 4月 30日(金) 常任幹事会議 (1) 4月 3日(土) 香芝支部総会 「農学部キャンパス」 (2) 4月 14日(水) 朝日工業社支部総会 「朝日工業社大阪支社」 (3) 4月 17日(土) 新宮東牟婁支部総会 「かわる」 (4) 4月 17日(土) 大阪市平野支部総会 「天王寺東映ホテル」 (5) 4月 25日(日) 神戸支部総会 「神戸東急イン」 校友名簿の補正 (1) 4月 7日(水) 本部入学式
5 月	会 議 2号 3号	(1) 5月 14日(金) 執行部会議 (2) 5月 14日(金) 幹事会議 (3) 5月 17日(月) 執行部会議 (1) 5月 4日(火) 大阪狭山支部総会 「医学部キャンパス」 (2) 5月 12日(水) モリタ支部総会 「うまいもんや味楽座」 (3) 5月 15日(土) 西宮支部総会 「ノボテル甲子園」 (4) 5月 15日(土) 岡山県東備支部総会 「美晴」 (5) 5月 16日(日) 香川県支部総会 「高松国際ホテル」 (6) 5月 23日(日) 岡山県梅師会支部総会 「中国料理 丸八」 (7) 5月 28日(金) 羽曳野市役所支部総会 「びっぐじょう」 校友名簿の補正
6 月	会 議 1号 2号 3号 5号	(1) 6月 4日(金) 各種合同委員会 (2) 6月 4日(金) 執行部会議 (1) 6月 14日(月) 総会実行委員会 (2) 6月 16日(水) 総会実行委員会 (3) 6月 22日(火) 総会実行委員会 (1) 6月 12日(土) 岡山支部総会 「ホテルサンルート岡山」 (2) 6月 19日(土) 通信教育部同窓会総会 「11月ホール 小ホール」 (3) 6月 20日(日) 東大阪支部総会 「料亭 若葉」 (4) 6月 20日(日) 富田林市支部総会 「グランドホテル二葉」 (5) 6月 23日(水) 竹中工務店支部設立総会 「ガーデンシティクラブ大阪」 (6) 6月 27日(日) 岸和田支部総会 「浪切ホール」 (7) 6月 27日(日) 河内長野支部総会 「ラプリーホール」 (8) 6月 29日(火) 尼崎市役所支部総会 「愛蓮塚口店」 (9) 6月 30日(水) 近大クラブ(高・中校の部)支部総会 「都ホテル大阪」 (1) 6月 29日(火) 名簿作成委員会 校友名簿の補正 (1) 6月 23日(水) 会則審議委員会

月 別	議案号数	概 要
6 月	6号 7号 8号	(1) 6月29日(火) 広報出版委員会 (1) 6月23日(水) 厚生委員会 (1) 6月23日(水) アテネオリンピック出場壮行会
7 月	会 議 1号 2号 3号 4号 9号	(1) 7月 9日(金) 事業準備委員会 (2) 7月29日(木) 執行部会議 (1) 7月 5日(月) 総会実行委員会 (1) 7月 2日(金) 八尾支部結成35周年記念総会 「八尾市文化会館プリズムホール」 (2) 7月 3日(土) 徳島県支部総会 「ホテルグランドパレス徳島」 (3) 7月 4日(日) 九州短期大学同窓会総会 「ホテルセントラーザ博多」 (4) 7月10日(土) 熊本県支部総会 「ホテルキャッスル」 (5) 7月11日(日) 岐阜県支部総会 「グランパレホテル」 (6) 7月11日(日) 淡路島支部総会 「南淡路ロイヤルホテル」 (7) 7月16日(金) 奈良市役所支部総会 「奈良ロイヤルホテル」 (8) 7月24日(土) 産業理工学部同窓会総会 「KKRホテル博多」 (9) 7月25日(日) 広島芸南支部総会 「グリーンピア安浦」 (10) 7月29日(木) 台湾支部総会 「晶華ホテル」 (11) 7月30日(金) 近畿地方整備局支部総会 「大阪弥生会館」 校友名簿の補正 校友会費の徴収 (1) 7月31日(土) 体育会洋弓部オリンピック壮行会 (2) 7月 3日(土) 近畿大学公開講座(福岡) (3) 7月10日(土) 近畿大学公開講座(広島) (4) 7月17日(土) 近畿大学公開講座(名古屋) (5) 7月24日(土) 近畿大学公開講座(東京)
8 月	会 議 2号 3号 7号	(1) 8月25日(水) 執行部会議 (1) 8月 7日(土) 北海道総支部総会 「大和家本店」 (2) 8月 8日(日) 福井県支部総会 「ユアーズホテルフクイ」 (3) 8月 8日(日) 貝塚支部総会 「貝塚市役所教育庁舎レストラン雅苑」 (4) 8月22日(日) 大分県支部総会 「大分東洋ホテル」 (5) 8月29日(日) 鳥取県支部総会 「ホープスターとっとり」 校友名簿の補正 災害における義援金
9 月	会 議 1号 2号	(1) 9月 4日(土) 執行部会議 (1) 9月21日(火) 総会実行・推進委員会 (1) 9月 3日(金) 大阪府内特定行政庁OB会支部総会 「東大阪市役所会議室」 (2) 9月 4日(土) 全国支部長・同窓会長会 「ホテルアウイーナ大阪」 (3) 9月 5日(日) 静岡県支部総会 「クーポール会館」 (4) 9月14日(火) 大阪府庁支部総会 「プリムローズ大阪」 (5) 9月17日(金) 奥村土木支部総会 「中国料理 萬集楼」 (6) 9月19日(日) 北九州支部総会 「ラブラージュ」 (7) 9月23日(木) 東京支部総会 「主婦会館ブラザエフ」

月 別	議案号数	概 要
9 月	2号 3号 4号 9号	(8)9 月 25日(土) 大阪市港支部総会 「清正」 (9)9 月 25日(土) 尾道支部総会 「尾道国際ホテル」 校友名簿の補正 校友会費の徴収 (1)9 月 15日(水) 先代総長・理事長 故世耕政隆先生を偲ぶ会
10 月	会 議 1号 2号 3号 8号	(1)10月 12日(火) 執行部会議 (2)10月 24日(日) 執行部会議 (1)10月 14日(木) 総会実行・厚生・事業準備・推進合同委員会 (2)10月 24日(日) 本部定期総会 (1)10月 2日(土) 工学部同窓会総会 「ホテルグランヴィア広島」 (2)10月 8日(金) 大阪市阿倍野支部総会 「桃谷楼」 (3)10月 16日(土) 石川県支部総会 「金沢スカイホテル」 (4)10月 16日(土) 豊中支部総会 「ホテルアイボリー」 (5)10月 23日(土) 行政書士支部総会 「大阪府行政書士会館」 (6)10月 30日(土) 梅友会和歌山県支部25周年記念総会 「龍神村役場」 (7)10月 31日(日) 医学部同窓会総会 「リーガロイヤルホテル堺」 校友名簿の補正 (1)10月 11日(月) アテネオリンピック出場報告会
11 月	会 議 2号 3号 6号 7号	(1)11月 11日(木) 執行部会議 (1)11月 6日(土) 富山県支部総会 「富山電気ビル」 (2)11月 6日(土) 生物理工学部同窓会総会 「生物理工学部キャンパス」 (3)11月 12日(金) 日経サービス支部総会 「つぼ八心斎橋店」 (4)11月 14日(日) 高槻・島本支部総会 「桃谷楼」 (5)11月 23日(火) 寝屋川支部総会 「かにつき」 (6)11月 27日(土) 松原市役所支部総会 「下呂温泉,水明館」 校友名簿の補正 校友データの個人情報保護法対策 (1)11月 5日(金) 九州地区新卒業生歓迎会 (2)11月 20日(土) 中国地区新卒業生歓迎会 災害における義援金
12 月	会 議 2号 3号 5号 6号	(1)12月 16日(木) 執行部会議 (1)12月 10日(金) 住友電設支部総会 「銅羅」 (2)12月 23日(木) 韓国支部総会 「東宝城」 校友名簿の補正 校友データの個人情報保護法対策 (1)12月 6日(月) 会則審議委員会 (1)12月 4日(土) 東海地区新卒業生歓迎会 (2)12月 11日(土) 関東地区新卒業生歓迎会
1 月	会 議	(1)1 月 12日(水) 執行部会議 (2)1 月 25日(火) 執行部会議

月 別	議案号数	概 要
1 月	2号 3号	(1) 1月20日(木) 大阪国税局支部総会 「大北京」 (2) 1月29日(土) 八尾市役所支部総会 「琴平温泉 紅梅亭」 (3) 1月29日(土) 大阪市生野支部総会 「ホテルアウイーナ大阪」 校友名簿の補正 校友データの個人情報保護法対策
2 月	会 議 2号 3号 8号	(1) 2月22日(火) 執行部会議 (1) 2月 1日(火) 大阪市小若江会支部総会 「天王寺東映ホテル」 (2) 2月 4日(金) 東大阪市役所支部総会 「KKRホテル大阪」 (3) 2月 4日(金) 岸和田市役所支部総会 「浪切ホール」 (4) 2月 5日(土) 大東市役所支部総会 「淡路島国際ホテル アレックス」 (5) 2月 5日(土) 高槻市役所支部総会 「鳴子観光ホテル」 (6) 2月11日(金) 梅友会奈良県支部創立30周年記念総会 「猿沢荘」 (7) 2月12日(土) アイテック支部設立総会 「ホテルモンテ大阪」 (8) 2月13日(日) 愛知県支部総会 「百楽」 (9) 2月19日(土) 滋賀県庁支部総会 「赤阪飯店」 (10) 2月19日(土) 尼崎支部総会 「ホテルニューアルカイク」 (11) 2月19日(土) 法学部同窓会総会 「都ホテル大阪」 (12) 2月20日(日) 姫路支部総会 「総社会館」 (13) 2月20日(日) 泉佐野支部設立20周年記念総会 「全日空ゲートタワーホテル大阪」 (14) 2月23日(水) 寝屋川市役所支部総会 「かにっ子」 (15) 2月25日(金) 高知県支部総会 「料亭 つるはら」 (16) 2月26日(土) 赤穂支部総会 「葵」 (17) 2月26日(土) 堺支部総会 「シティホテルサンプラザ」 校友名簿の補正 校友データの個人情報保護法対策 (1) 2月 5日(土) 体育会相撲部優勝祝賀会 (2) 2月26日(土) 体育会空手道部優勝祝賀会
3 月	会 議 2号 3号 7号 8号 9号	(1) 3月29日(火) 執行部会議 (1) 3月 6日(日) 三重県支部総会 「名張シティホテル」 (2) 3月13日(日) コノミヤ支部総会 「ちゃんこ朝潮鳴野店」 校友名簿の補正 校友データの個人情報保護法対策 (1) 3月 5日(土) 相談役松岡祥浩氏瑞宝中綬章受章記念祝賀会 校友会会長賞授与 (1) 3月 1日(火) 附属看護専門学校卒業式 (2) 3月 5日(土) 工業高等専門学校卒業式 (3) 3月 6日(日) 九州短期大学卒業式 (4) 3月14日(月) 工学部卒業式 (5) 3月15日(火) 産業理工学部卒業式 (6) 3月17日(木) 生物理工学部卒業式 (7) 3月19日(土) 本部卒業式 (8) 3月22日(火) 大学院学位記授与式

一 般 会 計

平成16年度(自平成16年4月1日 至平成17年3月31日)歳入歳出決算書

1. 歳入の部	92,145,727
1. 歳出の部	46,613,668
1. 次年度繰越金	45,532,059

歳入の部

(単位 円)

科 目	予 算 額	決 算 額	増 減	摘 要
前年度繰越金	57,855,173	57,855,173	0	定期預金を除く
会 費 収 入	45,000,000	33,710,000	11,290,000	銀行振込 1,283人 郵便局 2,088人
事業(カード)	200,000	149,962	50,038	
雑 収 入	300,000	430,592	-130,592	利息・グッズ売上金等
合 計	103,355,173	92,145,727	11,209,446	

歳出の部

(単位 円)

科 目	予 算 額	決 算 額	増 減	摘 要
会 議 費	7,000,000	6,258,125	741,875	常任幹事会議・幹事会議・各種委員会等
通 信 費	7,000,000	2,448,599	4,551,401	各種会議・各種委員会通知・電話料・FAX料・終身会費等
印 刷 費	5,000,000	2,601,350	2,398,650	各種印刷費等
広 報 費	5,000,000	950,250	4,049,750	定期総会宣伝費等
人 件 費	13,000,000	10,315,626	2,684,374	給料・手当等
助 成 金	13,000,000	12,866,700	133,300	総会助成金等
備 品 費	1,000,000	44,000	956,000	カウンター
消 耗 品 費	1,000,000	208,190	791,810	事務消耗品費等
支部・同窓会費	13,000,000	5,823,117	7,176,883	支部祝金及び支部懇親会費等
出 張 費	5,000,000	3,491,516	1,508,484	支部総会出張旅費等
会費振込手数料	300,000	146,470	153,530	大阪貯金センター残高証明発行手数料含む
雑 費	2,000,000	809,763	1,190,237	校友会本部維持費及び慶弔費等
予 備 費	2,472,889	0	2,472,889	
小 計	74,772,889	45,963,706	28,809,183	
退職手当積立金	500,000	500,000	0	
事業(カード)	200,000	149,962	50,038	特別会計へ振替
名簿作成準備金	27,882,284	0	27,882,284	
合 計	103,355,173	46,613,668	56,741,505	

一 般 会 計

平成 17 年度 (自平成 17 年 4 月 1 日 至平成 18 年 3 月 31 日) 歳入歳出予算書

歳入の部

(単位 円)

科 目	予 算 額	摘 要
前年度繰越金	45,532,059	
会費収入	40,000,000	会費納入予定者 4,000人
事業(カード)	200,000	
雑収入	300,000	銀行預金利息・グッズ・広告代金
合 計	86,032,059	

歳出の部

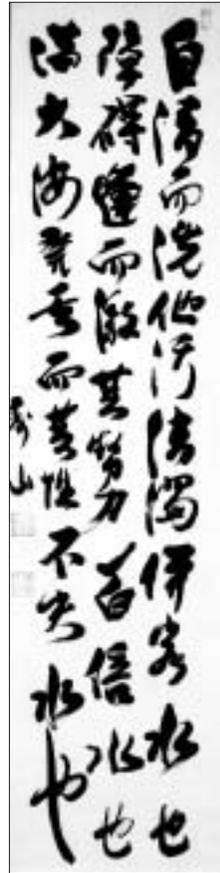
(単位 円)

科 目	予 算 額	摘 要
会議・会合費	10,000,000	常任幹事会議・幹事会議・各種委員会等
通信費	5,000,000	各種会議・各種委員会通知・電話料・終身会費案内等
印刷費	5,000,000	各種印刷等
広報費	5,000,000	定期総会宣伝費・ホームページ維持費等
人件費	13,000,000	給料・手当・アルバイト料等
助成費	15,000,000	総会・各クラブ祝勝金等
備品費	2,000,000	CDR・収納棚等
消耗品費	2,000,000	事務消耗品費等
支部・同窓会費	10,000,000	支部祝金等
出張費	5,000,000	支部総会出張旅費等
名簿管理費	10,000,000	データ構築
会費振込手数料	300,000	振込手数料
雑費	2,000,000	校友会本部維持費及び慶弔費等
予備費	1,032,059	
小 計	85,332,059	
退職手当積立金	500,000	
事業(カード)	200,000	17年度分繰入金
合 計	86,032,059	

「水の流れ」

近畿大学理事長
校友会名誉会長

世耕弘昭



自清而洗他汚清濁併容水也

障碍逢而激其勢百倍水也

満大海発雲而其性不失水也

—自ら清くしてなお他の汚れを洗い、しかもなお清濁を併せ容るるは水なり
障害にあつても、激しくその勢力を百倍とするは水なり
大海を満たし、発しては雲となるも、その本性を失わないのは水なり—

これは、初代総長が残した書である。
滔滔と流れる水はまるで校友会の歴史と同じようである。

近況

学長

畑 博行

校友の皆さまにはお変わりなくご活躍のこととお喜び申し上げます。

最近、やっと景気も上向きとなつてきたと言われていますが、少子化は一段と進み、大学を取り巻く状況は厳しさを増すばかりです。ごく最近には、山口県萩市にある萩国際大学が定員割れで経営困難に陥り、民事再生法の適用を申請しました。ここ数年中に少なからぬ大学が同じ運命を辿ることは間違いないでしょう。

このような状況の中で、各大学は受験生を獲得するのに鎬を削つています。近畿大学も例外ではありません。近年、本学は、入試事務部とは別に、高大連携室を設けるなどして、指定校を増やすと同時に、オープンキャンパス、出張講義などさまざまな催しを行い、広く各地の高校生に近畿大学の魅力を知らせる努力を行ってきました。

言うまでもありませんが、大学をPRするためには、大学自身が本来の任務である研究教育においてユニークな試みを行い、あるいは優れた成果を挙げるのが不可欠です。幸い研究面では、本学では、入谷先端技術総合研究所教授らによるホウレン草の遺伝子をもつ豚の作出、熊井水産研究所教授らによるクロマガゴの完全養殖の成功と

いう二つの研究がそれぞれ二〇〇二年度、二〇〇三年度のCOEプログラムに選定されたほか、江藤理工学部教授による一秒間に一〇〇万コマの写真撮影を可能にする超高速ビデオカメラの開発など本学の教員による優れた研究成果がメディアなどでも報道され人びとの注目を集めました。

昨年から今年にかけても、本学の教員による研究成果や試みが報道され、あるいは実施されつつあります。前述の江藤教授は、昨年、財団法人科学技術振興機構からさらなる資金援助を受け、さきの超高速ビデオカメラを新たに一秒間一千万コマ撮影できるという驚異的なバイオオナノスコープに発展させるプロジェクトに着手しています。

また、これまで、過去の優れた研究実績、あるいは有意義な研究計画の実現可能性などを根拠に、研究資金を重点的に配分するいわゆる競争的研究資金配分方式により、重岡農学部教授らによる植物資源に関する遺伝子研究、義江医学部教授らによる先端治療学に関する研究など多くの研究プロジェクトに多額の研究開発費が支給されています。

また、教育方法に関する研究にしても、佐藤法科大学院教授らによる基礎知識・学習到達度の確認システム構築のための研究、浦崎経営学部教授らによる知識創造社会における企業会計先進教育に関する研究などが研究補助対象に選ばれました。

くのは、経済産業省の「日本のものづくりを支える人材育成プログラム」という大型プロジェクトに採択された木口理工学部教授らによる「産学連携『製造現場の中核人材育成プロジェクト』」です。これは本学の製造関係の職員が名古屋大学、長崎大学、早稲田大学、関西大学、大阪産業大学などの

専門家とともにそれぞれが関わる企業と組んで製造現場の人材を育成するための大規模プロジェクトですが、本学が全体のナショナルセンターとなり、木口教授がキャップとなるものです。

このように、本学の教職員は、教育研究機関として、また西日本における最大かつ有数の総合大学の構成員としての自覚をもち、その責任を果たしています。もちろん学生諸君も、本務である学業は言うまでもなく、課外活動においても活発に活躍しています。

昨年、アテネオリンピックに本学からは十人の学生、卒業生が出場し、活躍したことはご承知のとおりです。また、相撲部の選手が団体、個人両方のタイトルを獲得するなど、目覚ましい活躍をしたことも記憶に新しいところで。今年も、本学アーチェリー選手が世界選手権で銀メダルを手にし、国内でも本学チームが団体優勝を勝ち取りました。また、本学の野球チームも全日本大学野球選手権で準優勝を遂げました。まさしく、近畿大学ここにあります。

数えて、まる八十年になります。その間、本学も校友の皆さまから有形、無形のさまざまなご支援、ご協力を賜りました。欄筆に当たり、学長として厚くお礼申し上げますとともに、今後も一層のご支援をお願いして、近況報告を終えさせていただきます。

法学部長

石 田 榮 仁 郎

近畿大学校友会々員の皆様、お元気にて各界でご活躍のこととお喜び申し上げます。本年近畿大学は創立八十年を迎えました。校友の皆様誠におめでとうございます。大正十四年（一九二五）の創立以来校友は四十万人を突破いたしました。十一学部四十一学科を擁する近畿大学は名実ともに西日本一の総合大学となりました。わが近畿大学の歴史とともに歩んできた法学部もその前身から数えて八十年を迎えたわけです。

法学部は、建学以来培ってきた実学精神の基本理念のもと、常に未来を志向するという独自性を堅持し、社会の各方面で活躍し得る積極性と協調性、そして何より元氣溢れる、パランス感覚と法的素養とを兼ね備えた学生の育成に努めて参りました法学部でございますが、ここで、最近の法学部をご紹介します。

すでにご案内のとおり、平成十六年度から専門職大学院としての法科大学院（ロースクール）が開設されたこと

に伴い、従来法学部が担ってきた「裁判官・検察官・弁護士」等の法曹養成を法曹養成機関に特化した法科大学院に譲ることとなりました。従って、現在わが国に九十以上ある法学部も大きな時代のうねりの中にあり、その進むべき道を模索いたしている状況でございます。しかし、その一方で、今般の司法制度改革は、この国の仕組みを変える改革であるとともに、大学及び法学教育全般の改革でもあります。改革は「法の支配」の徹底を図るものから、法学部に課せられた任務は極めて重要であるといえます。従って法学部が従来からその人材育成の中心に据えてきたリーガルマインド(法的な物の見方・考え方)を備えた学生は、社会にとつて非常に有能な人材であることには依然として変わりありません。

しかし同時に、法的知識に加え、教養や国際感覚のある人材づくりも求められています。国際化の必要性が叫ばれて数十年が経ち、今後は語学力を兼ね備えた法律家・企業人・公務員を目指すことが不可欠となります。法科大学院が多様な学部で門戸を開いていることから、法学部にとつてはリベラルアーツ(教育課程)と、キャリアエデュケーション(就職支援)の強化が大きなポイントとなっております。また法科大学院への進学も選択肢の一つとなっております。

一方、公務員制度改革によって、人材の改革と削減が行われ、公務員試験の競争激化が予想されます。公務員を

目指す学生が多い中、そのニーズに定める学科の存在は以上に大きな注目を集めることでしょう。

このような状況を踏まえ、わが法学部は、二十一世紀に入った平成十三年度(二〇〇二)から昼夜開講制の新カリキュラムを実施するとともに、平成十六年度からは、従来の二学科制は維持しながらも、「法律学科」と「政策法学科」に改組いたし、昭和四十一年以来高度経済成長期に維持してきた「経営法学科」は「政策法学科」に変更いたしました。法律学科には、司法書士、弁理士などの法律専門職等をめざす「法律コース」と法的素養を持つビジネススマン、例えば宅地建物取引主任や社会保険労務士等を養成する「企業法コース」を設け、また新しく改組した政策法学科には、国家・地方公務員や行政書士を目指す「行政コース」と、国際的な企業人・公務員・NGO職員など実行力のある国際人を育てる「国際コース」を設けております。また、近畿大学の全学的な取り組みとして英語教育を重視し、TOEICを活用しております。

こうした新しい視点から、法学部では創立以来提唱している実学教育に加え、語学教育の充実、本学として実績あるキャリアエデュケーション、資格支援システム等で、学生を積極的にバックアップしておりますが、なお改革への歩みを止めることなく、更なる改革を現在模索いたしておりますので、どうか校友会の会員の皆様には、これ

まで同様心強いご支援の程宜しくお願い申し上げます。

最後に、校友会々員皆様様のご健勝とますますのご活躍を心よりお祈り申し上げます。

経済学部長

武知京三

校友の皆様、お元気でご活躍のこととお慶び申し上げます。

商経学部の分離改組によって、平成十五年に誕生した経済学部は、翌十六年四月Eキャンパスに移転し、快適なチャペル風の新校舎で講義が行われています。キャンパスは緑が多く、学生諸君は伸びやかに、華やいだ雰囲気を楽しませていただきます。

さて、経済学部は平成十八年度から、経済学科国際経済コースを発展的かつ斬新的に改組して「国際経済学科」を新設します。これに伴い、一学年定員六五〇名は変わりませんが、経済学科三五〇名、国際経済学科一五〇名、総合経済政策学科一五〇名の三学科体制となります。新学科は、急速に進展する国際化を、「国際産業・金融」の基礎知識というタテ糸と現実の「国際地域経済」の発展というヨコ糸によって二分野に体系化されます。基礎から応用まで系統的な履習体系を整えています。本学の実学重視の教育理念のもとに、専門知識と応用力の修得、英語を中心とした語学力の強化、情報処理能

力の養成を三本柱として、国際的感覚とコミュニケーション能力を持ち、幅広く社会に貢献できる人材の育成を目指します。

同じく、既存の経済学科(理論・計量分野、財政・金融分野、産業・情報分野、歴史・社会分野)、総合経済政策学科(国民経済分野、地域経済分野)についてもカリキュラムを一新します。これらの改革にあたって、ご尽力頂いた経済学部教員には、心から感謝しています。

次に、この四月から経済学部独自の英語教育が始まりました。学部の英語専任教員一〇人でチームをつくり、TOEICのスコアアップを目的としたカリキュラム編成を行い、「英語も話せる経済学士の養成」を目指しています。具体的には、四年間継続の担任制、個人カルテによる管理で、きめ細かなサポート体制を実現、経済学にリンクしたオリジナルテキスト『英語総合ハンドブック』を作成しています。マンモス大学では珍しい経済学専門の外国人教授が教鞭をとる少人数の経済英語教育もあります。

さらに、少子化に加えて、国公立大学の法人化などにより、大学間競争が一段と激化する中、受験生に選ばれる経済学部を目指して積極的な広報活動を展開しています。在学生の満足度をより高めるための教育力の強化、充実とともに、他方、出前講義をはじめ、一部の講義を高校生にも開放するなど、高大連携に一層力を入れていると

ころです。幸い B 館（経済学部・法科大学院）へは高校の先生方や高校生の見学者が多く、大変有難いことだと思っております。

在学生に対しては、保護者向けに、学部広報誌「生駒便り」（年一回）を刊行しており、新入生には、毎年近畿大学経済学部編「ハンティング・エピソード——経済学への誘い——」を配布しています。この小冊子は、経済学部専任教員の学問的エッセイを綴ったものです。専任教員の学問に対する取り組みや生き様など、教室の講義とは一味違う、もう一つの顔を親しみを込めて読み取ってもらえたらと考えています。一年「基礎ゼミ」では「サロンタイム」と称し、教員と学生、学生同士との交流の場を設けたりもしています。在学生のゼミ連絡協議会活動が活発化してきたことも嬉しいニュースです。出口対策としては、経済学部独自の課外講座を開設しており、またインターンシップにも力を入れているところですが、就職部主催の「就職ガイダンス」への出席者は大幅に増加しています。教員の参加者も少なからず見られます。

ンパスで、共に力を合わせて、生まれ変わった経済学部の新しい歴史を構築していく所存であります。校友の皆様も折りをみて、ぜひ E キャンパスにお立ち寄りください。

最後に、校友の皆様のご支援とご鞭撻を切にお願い申し上げます。併せて、皆様のご健勝とご活躍を祈念いたします。

経営学部長

興津裕康

近畿大学校友の皆様、とりわけ商経学部を卒業された校友の皆様、お元気でご活躍のことと心からお慶び申し上げます。

皆様の卒業された商経学部は、経済学部と経営学部に分離改組を行い、経営学部は、経営学科と商学科を引き継いで平成十五年四月にスタートしました。経営学部は、「ヒト」、「モノ」、「カネ」そして「情報」を対象とするビジネスの専門教育を行い、今日の変動する企業社会において活躍できる有為な人材を育成することを目的としております。

経営学科では、「企業経営コース」、「キャリア・マネージメントコース」、「IT ビジネスコース」の三コースを、商学科では、「マーケティング戦略コース」、「国際ビジネスコース」の二コースが設置されています。これに加え

て平成十八年度から、会計学科を新設します。会計学科は、企業における会計の仕組みを理論と実践の両面から学び、会計のエキスパートである税理士、公認会計士、企業の幹部経理社員の育成を目指します。

これにみる三学科五コースにおいて専門教育を行うのですが、ここではそれぞれ独自のカリキュラムを提供します。この四年間という人生の大切な時期に、どのようにすれば体系的な学習ができるかということに重点を置いて、段階的に学習が可能ないように履修科目の各学年への適切な配置を行っております。また、経営学科、商学科では、入学後の指導を経て一年後にコースを選択することになっています。この指導の役割は、主として基礎ゼミの担当者や専門教育の担当者が行います。そのため、オフィス・アワーを設けてそれに対応しています。大阪専門学校、近畿大学商学部、商経学部を経て今年八十周年を迎える経営学部は、伝統の上に立ちながらも新しく生まれ変わることによって二十一世紀のビジネス教育の拠点としての歩みを始めております。メインの三学科五コースのほかに、実社会に役立つ能力開発のために、「情報処理特修課程」「女子特修課程」「秘書課程」を設置しています。この課程で身につけた能力を社会に出て発揮して活躍している多くの人材を輩出しております。

る、商学、経営学、情報科学として会計学に関するプログラムが準備されています。多くの博士前期課程の修了者、博士後期課程の修了者、単位取得者を世に送り出し、それぞれ職業会計人、経営管理者をはじめとして、実社会で働き働き人となっています。本学のみならず、他大学においても教員として活躍し、その数二十余名を数えることができます。このような中で、新設の会計学科では、大学院での会計教育と連動させた独自のプログラムを導入し、公認会計士、税理士など国家試験に対応した準備ができるよう配慮しており、大いに期待されるのであります。

経営学部は、実学教育に力を入れています。その一つが「寄付講座」です。経済学部とも連携しています。わが国を代表する三大銀行（三井住友、UFJ、東京三菱、後者の二行は来年一月に合併して三菱東京UFJ となりま）の好意により、講義を始めて三年になり、受講している学生に大きなインパクトを与えております。寄付講座として野村證券による「証券講座」もあります。学生に与えるインパクトは銀行講座と同様に大きいものがあります。このような方々の講義を通じて、学部全体が活性化しております。この方向が、さらに展開されるよう努力したいと決意致しております。

経営学部は絶えず変革し続けます。そのために社会の動きに敏感に反応できる経営学部でなければならぬと考

えております。未来を見つめ、実学を志向する近畿大学経営学部は、これからも変わり続けます。これからのビジネス社会をリードする行動派を育て上げ、人に愛される人、信頼される人、尊敬される人として世に送り出すために、経営学部は二十一世紀に羽ばたいていきます。どうか、これからも商経学部の時代と同様、校友の皆様の熱心なご支援とご鞭撻をお願い致します。校友の皆様のご健康とご活躍を心からお祈り致しております。

理工学部長

宗 像 恵

校友会の皆さん、お元気でご活躍のこととお慶び申し上げます。

早速ですが理工学部におけるこの二年間の主な取り組みをご報告申し上げます。

教育の質を高める取り組み

理工学部は「学生による授業評価」を早くから（平成十一年度）実施し、教員の意識改革を促し、学生達が望む「分りやすく、役に立つ授業」と「対話型授業」を実践し、学生に付加価値をつける教育に努めてまいりました。平成十五年度から、この制度を一段と有効に機能させるために、学生の授業改善要求に対して教員がどう対応したかを明らかにする「リフレクションペーパー」の作成を義務づけることにしました。これにより、相互フィードバックのシステムを確立して、より一層の教育改善をすすめ、理工学部の教育の質の向上を図っております。

JABEE認定

前号で、理工学部の社会環境工学科と応用化学科が、日本技術者教育認定機構（JABEE）認定のための申請を行ったと報告しましたが、社会環境工学科は平成十六年度に、応用化学科は平成十七年度に、いずれも五年認定を得ました。ほとんどの大学が二年認定であり、両学科の五年認定は快挙であります。これと平行して、米国の国際的基礎技術者資格FEや専門技術者資格PEが取得できるように、FE試験対策講座を設けるとともに、すべての講義において国際的資格取得を視野に入れた授業改善に取り組んでいます。JABEE、FE、PEなどの資格を取得した卒業生は世界のどの企業にも就職が可能となるのみならず、日本の有力企業への就職も極めて有利になります。

「製造現場の中核人材育成」

プロジェクトが採択

経産省が平成十七年度から実施する産学連携「製造現場の中核人材育成」プロジェクトに、近畿大学をナショナルセンターとするプロジェクト（代表者は機械工学科木口昭二教授、補助金は三年間で五億円）が採択されました。このプロジェクトは、日本の製造業を支えてきたものづくりの強さを維持するため、自らが生産ラインのプロ技術者であり、しかもラインや工場全体

を統括できる中核人材を育成する支援事業であります。今回採択された近畿大学のプログラムは、近畿大学をナショナルセンターとして全国各地の大学・企業などの拠点と連携して実施するオールジャパン構想であり、予算および規模とも本プロジェクトの中で、最大であります。これに加えて、学芸・産業界の全面的なバックアップのもと、修士生への資格（S級ライセンス）を発行する計画です。

「東大阪モノづくり専攻」の開設

東大阪市の地元企業で、オンリーワン技術を学びながら、大学の持つ最先端技術と融合・発展させる「東大阪モノづくり専攻」を平成十六年度から総合理工学研究科に開設しました。院生の教育には中小企業の社長等が専任実務教員としてあたり、これらのオンリーワン技術を若い世代に伝え、現代の先端技術と融合させることで、新しい技術に発展させ、東大阪産学連携のメッカにすることを目指しています。特に注目されるのは、国際的に活躍できる技術者を養成するために、海外の外国企業でのインターシップを実施していることでもあります。

遺伝カウンセラー養成課程の開設

遺伝カウンセラーとは、遺伝についての悩みを抱えている人に対して心理カウンセリングを行うことによって彼らの悩みを正しく理解した上で、適切で正確な情報を提供し、彼らが自力で問題を克服するのを援助する准医療職であります。このような人材の養成の

ため、総合理工学研究科・理学専攻に遺伝カウンセラー養成課程を設置しました。教育スタッフは、生命科学の大学院担当教員、医学部教授、学外の著名な臨床遺伝専門医、臨床心理、および人類遺伝学者から構成されています。本課程は、今年四月に認定遺伝カウンセラー制度委員会の機関審査に合格した全国わずか七校のうちの一つです。認定専門コースの卒業生には当委員会が実施する認定試験の受験資格が与えられます。

大学教職員が今いる学生と真剣に向き合い、彼等が満足する教育を施すならば、彼らおよびその保護者が、周囲の人々や知人の子供に近畿大学への入学を積極的に勧めてくれるのです。これこそが大学のブランド力作りの土台であると考え、理工学部教職員は一丸となって、教育改善に取り組んでおります。

校友会の皆さんには、どうぞご理解、ご支援賜りますようお願い申し上げます。

薬学部長

掛 樋 一 晃

校友の皆様、お元気でご活躍のこととお喜び申し上げます。とりわけ、薬学部をご卒業された校友の皆様、日頃は薬学部学生の病院実習あるいは薬局実習など、多事にわたりご協力いただき心からお礼申し上げます。

皆様もご承知の通り薬剤師養成を目的とする薬学教育は平成十八年度から六年制教育としてスタートします。同時に、「創薬」を目標とする四年制学部設置も認められました。ここに至るまでに、私立大学や国公立大学などの教育機関、文部科学省ならびに厚生労働省などの当局あるいは病院や薬局などの受け入れ側からさまざまな意見が噴出し、多くの紆余曲折がありました。ようやく収束し六年制教育がスタートしますが、完成年次である平成二十四年までには質の高い実務教育の担保や薬剤師国家試験の体制など、まだまだ解決すべき問題は山積しています。

近畿大学薬学部では、平成十八年度から薬剤師養成を目的とする六年制の医療薬学科（定員百五十名）と創薬に強い人材を養成する四年制の創薬科学科（定員三十名）の二学科制で新たにスタートします。以下に簡単にその概要を説明させていただきます。

医療薬学科

平成十八年度から、チーム医療の一員として実務の場で活躍できる薬剤師養成を主眼とした六年制教育へ移行し、「医療薬学科」を設置します。一学年入学定員は廃止される現行薬学部と同じ百五十名とし、収容定員は六百名から九百名へ増員します。近畿大学薬学部は医学部および附属三病院（狹山、奈良、堺）を擁する関西唯一の私立大学であります。幸い、医学部ならびに各附属病院の教員（医師）そして薬剤部の先生方からもご支援を仰ぐこ

とができることとなりました。自前で薬剤師養成に取り組めることを積極的にアピールしていきたいと考えています。医療薬学科の学生は、五年次で一ヶ月の模擬薬局実習の後、病院実習および薬局実習にそれぞれ二・五ヶ月取り組み、合計六ヶ月の実務実習が義務づけられます。医学部附属病院ならびに薬剤部では、薬局実習に加えて病棟業務や最新のPETを使った実務実習などを計画していただいております。他大がまねのできない実務実習体制となり、本学部で学ぶ学生にとっては得難い体験になると考えております。

薬剤師国家試験については、ここ数年の合格率は幸い全国でもトップクラスでございます。今後とも国家試験の好成績を維持し、六年制においても近畿大学薬学部のステータス向上に努めるべく努力いたします。

創薬科学科

ご承知の通り、薬学の素養を有しながらも薬剤師資格を必要としない人材に対する実業界の要望は現在も非常に高く、例年医薬品メーカーからの求人にも必ずしも応え切れていない状況にあります。近畿大学薬学部は、伝統的に薬業の盛んな大阪および奈良を通学圏内にもつ関係から、創薬を目指した創薬科学科（四年制）を新たに設置し、そのような社会からの要請に応えることは実学を旨とする理念からも本学の重要な責務であると考えています。以上のような理由から、平成十八年度から創薬を目指した四年制の創薬科学科

を新たに設置します。一学年入学定員は三十名、収容定員は百二十名を予定しています。創薬科学科では、附属の薬学総合研究所とも協力しながら、創薬を志向し、さらに昨今しばしば大きな社会問題となっている健康食品や栄養補助剤（サプリメント）などの教育・研究を実施したいと考えています。高齢化社会の進展に伴い、医療に頼らないで健康な生活を営みたいという国民の要求は切実であり、健康食品関連産業の市場は既に一般薬の市場を凌駕すると言われています。私たちはこのような社会の要望に応えて、国民の福祉に貢献できる人材を養成するための体制作りを目指しています。

以上、平成十八年度からの薬学教育六年制実施に向けて我が近畿大学薬学部の新しい教育・研究体制をご紹介させていただきます。六年制教育における実務実習の充実のように、新しい薬学教育では本学の理念とも重なる「実学に根ざした教育・研究」が強く求められています。社会でご活躍の校友諸先輩方のご支援をこれまでにも増して仰がなければならぬと思えますが、何とぞよろしくお願い申し上げます。

文芸学部長

荒 卷 裕

校友会の皆さん、お変わりなくお過ごしでしょうか。前学部長の村瀬憲夫

先生の後任として二〇〇四年十月から文芸学部長を務めております荒巻裕と申します。授業としては「アジアを見つめ、アジアに学び、アジアに向かって発信する」をモットーに「アジア現代史」、「国際ポランティア論」、そしてかつて二十四年間、毎日新聞記者をしていた経歴を生かし「文章・映像表現論」等を担当しています。

文芸学部の近況として、まず二〇〇五年春に出版しました小冊子『卒業生からのメッセージ』を報告します。副題に「卒業生の“今”は、君たちの“未来”だ」と付けましたようにさまざまな分野で仕事に就いている卒業生に、就職試験やさらなる進学を控えている後輩たちへ助言の言葉を贈ってまいりました。大学・高校・中学校の教師、書店、マスコミ、銀行、証券会社、日本語教師等々多彩な分野で活躍する約四十人の先輩たちが働くことの意味と喜び、試練について熱い思いを語っています。

就職指導についてはもう一つ、今春から「アセンブリアワー」という“学びの場”を設けたことを報告します。毎週火曜日の六時間目、本学就職部のベテランスタッフや文芸学部の教員のほか学外の専門家も招いて、学生たちの就職や進路決定に役立つ助言を行っています。就職すなわち職業を選択して社会人になることは、自らの人生の自立基盤づくりの第一歩である一学生たちには常々そう呼びかけてサポートしています。



B館 (法科大学院・経済学部)

むろん、熱意と志のある若者を一人でも多く迎え入れる努力も心がけています。今春には劇作家で演出家の唐十郎氏を客員教授として迎えました。「唐十郎」という著名な名声だけで迎えたわけではありません。唐氏は国立横浜大学で五年間、教壇に立たれていましたが、「学生とは未来を担う私たちの希望である」との思いを肌身を感じ取られて来た教育者でもあると私自身強く印象づけられました。その心の若さに、学生たちも目を見張りつつ稽古に励んでいます。

平成元年に開設された文芸学部は、平成二十年(二〇〇八年)に創設二十周年の節目を迎えます。これを機会に文芸学部では現在、「創設二十周年刷新プロジェクト委員会」を立ち上げて、将来を展望した発展策を検討しています。今年七月に行ったオープンキャンパスでは文芸学部の説明会に約五百人

の高校生と保護者の方々が参集されました。

「文芸学部の三つの学科の名称である文学、芸術、文化とは、そもそも何でしょうか?」と私は問いかけました。そしてそのそれぞれが、人間のいのちを護り、いのちを輝かせる試みでありたいと語りました。日々の努力を怠らずに、学生たちのいのちが生き生きと輝くキャンパスづくりをめざしてまいります。

農学部長 駒井 功一郎

近畿大学校友会の皆様、お元気でご活躍のこととお喜び申し上げます。

農学部は学部開設以来の大幅な改組、再編を実施し、本年四月から新組織で再出発いたしました。農学を取り巻く社会の環境も近年大きく様変わりしつつあります。農学は農業における技術革新の基盤でありますが、食料を生産、管理、維持するための学問、研究に止まらず、生産物の機能性食品や医薬品への研究開発、食品栄養と健康の問題、水、大気、土壌など地球を取り巻く広域の環境から生態系における微小環境など我々の衣、食、住のそれぞれの分野にまで農学の研究領域が広がってきております。このことは社会における農学のはたす役割がますます増大していることの表れであり、このような社会のニーズに対応するために

も農学部を改変する必要があったので

昭和三十三年に農学科と水産学科の二学科体制で農学部が開設されましたが、その後農芸化学科、食品栄養学科さらには国際資源管理学科の三学科が増設され、五学科体制で現在まで運営されてきました。しかし、この度の改組、再編では学科間の壁を破り、高い専門性の見地から再編を実施し、農業生産科学科、水産学科、応用生命化学科、食品栄養学科管理栄養士専攻、環境管理学科およびバイオサイエンス学科の六学科に改組、再編いたしました。これまで農学部ではクロールン牛やストレス作物の作出、COEとして選定されたクロマガワの完全養殖を含む生物資源の開発や生産技術の開発など世界をリードする優れた成果を上げて参りましたが、今般の改組はこれまでの成果をより発展させ、社会にそして農業により一層貢献できる学部の構築を目標としております。

また、この度の改組では学部に関連している大学院農学研究科の再編も同時に実施し、研究環境の充実を図りました。このことよって高度な専門能力をもち情報化、国際化に対応出来る研究者を育成すると共に、大学院生や研究者の学術交流の環境を整えていきたいと考えております。今般の再編で生まれた新学科はいずれも現在の農学をささえる重要な学問分野で、各学科ともその理念、目的に沿った特色を生かした教育研究に取り組んでおります

が、再スタートしたばかりでその成果は今後の努力に待たなければなりません。しかし、今春に実施されました新学科対応の入学試験では、昨年以上の高い志願者を獲得し、今回の学部改革に対して社会から一定以上の高い評価が得られたものと考えております。

農学部は平成二十年には創設五十周年の節目を迎えます。再出発した新農学部に対して校友会皆様の更なるご支援とご鞭撻を頂けますならば幸いです。皆様の益々のご健勝をお祈り致します。

医学部長 大柳 治正

校友会の皆様、ますます御活躍のこととお慶び申し上げます。

医学部は大阪狭山市に昭和四十九年に設立されました。したがって、本年度は厳密には創立三十一周年ですが、一年遅れで開設された附属病院をあわせて、創立三十周年を十一月二十三日に祝う節目の年になっていきます。大阪難波のスイスホテルで記念講演会、懇親会を催す予定です。校友会の皆様には出来るだけ多くの御出席をお願い申し上げます。

さて、「人に愛され、信頼され、尊敬される人間を造る」というのを教育方針とする当大学に医学部を作られたのは、皆様よく御承知のように医師でもあられた先代総長世耕政隆先生であります。

大阪狭山の地に、緑の多い広大なキャンパスを造成し、附属病院ともども最新の機器を備えて発足した医学部は、大学の基本理念に基いた構成員の弛まぬ努力により、社会に尊敬される医師を送り続け、母校の主任教授を二人、臨床教授を七人輩出するまでに育ってきました。それにつれて、受験生の偏差値は一流の伝統校並になつてきたが、それでも教育改革は学部内の最優先課題としています。卒前教育は講義やテュートリアル及びクリニカルクラクシップの充実だけでなく、落ちこぼれを出さない配慮と優秀な学生をより伸ばす特別教室の導入という二面作戦が必要であり、これに対しては医学部教員の自発的な協力を負うところが多いが、非常にうまく行われていると自画自賛しています。また卒業教育も教員の情熱が少なく関連病院をカバーし、円滑に行われています。

医学部の研究は、本学の他学部が二つの COE を獲得したために現理事長の世耕弘昭先生にはいつも発破をかけられ、肩身の狭い思いをしています。基礎部門、臨床部門とも、COE に近いいくつかの仕事があり、ハイテクリサーチセンターにおける設備の充実他学に誇れると自負しています。更に理事長をはじめとする大学中核部のご理解により、本年度中には最先端の臨床と研究を目指す近畿大学高度先端総合医療センターが医学部敷地内に竣工し、医学部基礎部門の新設講座の設置も認められています。従来の講座間の

垣根をなくした共同研究等の効果が近い将来必ず出てくるでしょう。

医学部附属病院は、特定機能病院としてまた地域医療の基幹病院として社会の要望に充分に応えており医療機能評価機構のお墨付きも得ています。更に本年十月より近畿大学高度先端総合医療センター診断部門として、陽電子放射断層撮影法 PET 装置が導入されます。最先端のがん早期診断システムとして注目され、その他に脳を始めとする重要臓器の機能の検査を行える装置です。最終的には CT と連動した PET が複数稼働し西日本最大の PET センターになる予定です。他の機器の新規導入や更新も続けられており、病院は大学病院にふさわしい発展を続けております。

規制緩和という時代の要請に沿って、文部科学省や厚生労働省の大学および附属病院への締め付けは弱くなった反面、自己責任において制度を検討し、設備を充実し、第三者の評価に耐えうる業績を挙げるのが求められています。現在も医学部は第三回目の大学機能評価を受審している最中であります。

本医学部は幸いにも前述のように全構成員が一丸となって取り組んできたので、受験生の数は増加の一途であり、研究成果も上がっており、病院の業績も明るい前途を約束しているのは間違いないありません。しかし、より少子化の進む時代に、伝統ある医学部の仲間入りをし、名門医学部として生き残るの

を目指して医学部の全構成員が教育者として、研究者としてまた医療人としてそれぞれの持ち場でプロの自覚を持ち努力しています。

医学部はこの三十年間に素晴らしい発展をとげ、多くの優れた卒業生を生み、それが好循環となって大学の評価も高めています。校友会の皆様も御理解御支援をお願いするとともに皆様方の御発展をお祈り申し上げます。

生物理工学部長

山本和夫

校友会の皆様には、ますますご活躍のこととお慶び申し上げます。

生物理工学部は、平成五年に当時の和歌山県では初の理工系学部として設置され、今年で十三年目を迎えています。近畿大学の中では一番新しい学部です。

生物・生体の形態や機能を参照した工学系学部として、生物工学科、電子システム情報工学科、機械制御工学科からなり、国の内外から大変ユニークな名称の学部として注目されてスタートしました。平成九年には、遺伝子工学科と基礎機械工学科の二学科が新設され、工学系の三学科と生物系の二学科が連携する五学科体制になりました。学部設置の理念である生物と理工系の相互乗り入れた共同研究の実も着実にあがってきております。五学科体制の上に大学院生物理工学研究科が設置

されており、平成十一年度から博士後期課程も設置されました。これによって、学生数、常時約二千名の規模になつております。平成十五年度には、機械系二学科において機械制御工学科が知能システム工学科に、基礎機械工学科が生体機械工学科に、それぞれ名称変更され、学部理念の具体化が加速できる体制が整いつつあります。学部設置後、日も浅く、卒業生も三、一八四名であります。昨今の厳しい就職状況の中で、比較的順調に卒業生を送り出すことができているのも、四十万人を超える先輩校友の皆様のご支援によるものと感謝し、一層のご鞭撻をお願いする次第です。

また、和歌山市に隣接する海南市には、平成八年度に文部省(当時)のハイテクリサーチ構想に基づく助成もあつて、生物理工学研究科が設置され、文字どおりハイテク研究設備と機器が完備されております。平成十三年四月からは、御坊市の植物センターも含めた、近畿大学先端技術総合研究所として発足し、全学の理工系学部ならびに研究所の共同利用施設として活用されることを願っております。さらに、平成十四年には、世界に通用する優れた研究教育拠点の構築を目的に、文部科学省が進めます二十一世紀 COE プログラムにおいて、大学院生物理工学研究科と先端技術総合研究所が生命科学の分野で拠点に採択されるという栄誉を得ました。このことで、この分野の研究教育に一層の活性化が実現されつ

つあります。

校友会の皆様方には、機会をみて、ぜひ和歌山キャンパスや研究所も訪ねて下さい。生物理工学部と同窓会(生物理工会)は、平成九年秋に設立されたばかりですが、近畿大学校友会の一員として学園の発展のために貢献できるよう努力する所存です。

工学部長

椿原 啓

近畿大学校友の皆様方には各界にて、益々ご活躍のこととお慶び申し上げます。

工学部は呉の地に芽を出し、今東広島ので太陽の恵みを受けながら大きくその枝葉を茂らせるところまでまいりました。その根は広島をはじめ中国・四国・近畿地区はもとより広く全国に拡がっております。工学部開学以来四十有余年、多くの優れた卒業生諸君の活躍のおかげを蒙りまして、中国・四国地区の私立大学ではナンバーワンの工学部として評価をいただけるようになってまいりました。

教員は今春四名の先生方がご退職となり、新たに八名の先生方が着任されました。校友の皆様にとつて在学当時ご在任の先生方が少なくなるのは寂しいものとは存じますが、皆様方が在籍のころの工学部の気風は今も受け継がれております。是非母校にお立ち寄りをお願いできれば、懐かしく往時を想

い起こしていただけるものと存じております。

この一年を振り返って見ますと、十八年度を教育改革の年にするべく、多くのプログラムの立ち上げを準備してまいりました。大きくは建学の理念を達成するための、実学教育と共に、人格の陶冶を重要視した教育システムです。教養科目群と専門科目の一部、課外講座や各種課外活動を取り込んで学生個々人の人格形成を支援しようとしています。入学を許可した学生は全員が夫々にふさわしい、専門能力を獲得し、社会に受け入れられる実力と人格を備え、希望の就職をかなえることができるように、基礎学力支援プログラム、能力別少人数教育、授業改善など様々に制度を整備してまいりました。

研究につきましても工学部の評価は高く、先生方の個別の研究テーマはもろろん、各学科において特筆すべき研究が多数立ち上がってきているのはうれしい限りです。またそれらの研究の多くが産業との連携を図りつつ実施されており、まさに実学研究の実が工学部を中心として結ぼうとしております。

十月には情報教育と図書館の機能を融合し、教育支援の要となるメディアセンターが完成します。また、来年度に向けてシステムデザイン工学科は新たに知能機械工学科として出発することになります。広島に在る優れた研究教育拠点として、近畿大学工学部が中国・四国地区はおろか全国に知られた大学となるよう、教職員全員が心がけ



本館地下食堂 KURE

ております。

校友の皆様のご活躍をお祈り申し上げますと共に今後ともご支援をいただきますようお願い申し上げます。

産業理工学部長

小野 正行

九州工学部を卒業された校友の皆様には、ますますご清祥にてご活躍のこととお慶び申し上げます。

我が国は、二十世紀末に経済大国としてのピークを迎え、バブル崩壊後は、不透明で混沌とした社会、経済の低迷が続く、期待された二十一世紀に入っても、その低迷から抜け出せずに、企業や個人もドラスチックな発想の転換を迫られています。一方、我が国の大業を取り巻く環境は、少子高齢化やグローバル化が急速に進展するなかで、

大学の淘汰が目前の現実問題となり、国立、私立大学を問わず、社会の変化や将来を見据えた大学教育と大学のあり方を見直す必要に迫られ、生き残りをかけた改革が加速しています。

人間不在の急速な技術革新により文科と理科の乖離に対する反省が生れ、二十一世紀社会では文理シナジーのコンセプトが重要であるとの理念のもと、平成十六年四月に、九州工学部の既存学科を大きく改組・転換することにより産業理工学部と学部名称の変更を行い、今年二年目を迎えたところで、新生の産業理工学部は、「人間主義の工学」を理念とした文理融合型の学部として二十一世紀社会が求める循環型社会、ユビキタス情報社会で活躍できる人材育成を目指しています。

産業理工学部に設置されている「生物環境化学科」、「電気通信工学科」、「建築・デザイン学科」、「情報学科」、「経営コミュニケーション学科」の五学科は、二十一世紀社会の要請に応えるために文系と理系の垣根をなくし、HOT(Oriented Humanity-Technology)をキーワードに、技術教育はもろろん、人間、文化、社会の教育と研究を進める二十一世紀にふさわしい新たな学びの場の提供と本学部に入學すればどの大学にも負けないきめの細かい教育、および人間力を高める教育を目指しています。また、日本技術者認定機構(JABEE)の審査認定を受けるべくJABEE対応の教育と授業方法の改善を進めています。



ECP(イングリッシュコミュニケーションプラザ)

昭和四十一年に第二工学部として開設されて以来、昭和六十年に九州工学部と学部名称を変更、昭和六十一年に産業デザイン学科、経営工学科を増設、平成三年より六年までに四専攻の大学院産業技術研究所(博士前期・後期課程)を増設、平成十一年に電気工学科を電気通信工学科、および平成十二年に工業化学科を生物環境化学科と学科名称を変更、平成十三年に分子工学研究所へンケル先端技術リサーチセンター設置等を行ってきました。

幾多の歴史と変遷を経た本学部は、来年度で開設四十年を迎えることとなりますが、教職員が一致団結して、二十一世紀社会の要請に応える学部として躍進するように努力していく所存です。今後とも、変わらぬご理解とご支援を頂きますように心からお願い申し上げます。

来年度は開設四十周年記念祝賀会等の開催を予定しております。多数の校友の皆様の参加を頂き、記念すべきさらなる躍進の年にしたいと教職員一同心から願っております。

最後になりましたが、校友の皆様のご健勝とご活躍をお祈り致しております。

短期大学部長

櫻井 齊

近畿大学校友会の皆様、お元気です。近畿短期大学部学生・教職員ともたいへん元気で。

最近、近畿大学短期大学部(通学課程・通信課程)はおかげさまで、少子人口減少時代を迎えて全国的に短期大学が志願者の減少と定員割れで募集停止や四年制大学への組織替えが進んでおります。厳しい社会情勢にもかかわらず、当短期大学部では近年志願者が入学定員の六倍を超えており、その分学生のレベルも上がりまして、四年制大学への編入試験に無試験で合格する指定校として多くの大学から指定をいただいているばかりか、実力で国立大学に合格していく卒業生も増えていきます。

総合大学の母体と社会のニーズに適應する教学方針、そして何より卒業生の活躍ぶりが高校・受験界・一般社会に評価されたからでしょう。たいへんうれしく教職員挙げて張り切っています。しかし独善的ではいけません。今年

度通学課程は、積極的に私立短期大学基準協会の第三者評価を受けております。その答えをいただく来年三月にどのような評価が出るか緊張の今年度です。

いずれにしても単に自己点検評価をするだけでなく、この機会に「全人教育と実学志向」という建学精神を確立する方向で、さらに改革を進める契機にしたいと考えております。

社会のニーズが変わりつつあります。高度な専門知識とコミュニケーション能力はもろろんですが、その基盤に「人に愛される人、信頼される人、尊敬される人」という人柄が備わっておりませんと高度な産業界の人材として通用しません。短期大学部はこのニーズに二年間という短期間に凝縮された教育を提供しています。

若者のライフスタイルが変わって来ました。今までのように高校・大学を卒業してすぐ就職し、同じ企業に一生勤めるという生き方だけではなくなつて、一人ひとりの実力が問われる時代です。そのために大学教育は個性的で、多様なニーズに應えていかねばなりません。こうした時代の要請に應えているのが短期大学部です。第三時限目から七時限目まで自由に選択できる昼夜開講制、前期・後期に履修科目を選択できるセメスター制、時代のニーズに應える斬新な開講科目などを特長として、少人数制教育を行っております。

さらに、情報管理コース・秘書(ビジネス)コース・起業家コースを設け

て実践的かつ系統的履修へ誘導するとともに、希望者には司書課程、就職課程も開設しております。実践 MOUS 講座(IT 講座)、実践対策講座(編入対策講座)、基礎学習講座を開設し、一層きめ細かく学生のニーズに応じた教育を徹底しております。個性的で高度な専門性教育への対応であります。

最近では、四年生大学への編入希望者だけでなく、働きながら学ぶ勤労学生も、しばらく企業に勤めながら、大学に戻って最新の専門知識を学び直す社会人入学生も増えてきました。

二年間で一つの専門分野を凝縮して学べる短期大学部こそ、こうした多様な学び方ができる生涯学習時代に最適な高等教育機関ではないでしょうか。

校友の皆様のおすすめのご活躍をお祈りしております。

九州短期大学学長

寺西 昭 男

校友会の皆様には、日頃本学の活動にご理解とご協力を頂きまして、誠に有難う御座います。

さて、短期大学を取り巻く環境は大きく変化し、十八歳人口の減少に伴って、短期大学の存在価値を見直す必要に迫られております。いわく「第三者評価」、いわく「自己点検・自己評価」等々です。

今後の短期大学は、誰もがいつでも学べる高等教育(ユニバーサル・アク

セス)を旨指すことになります。そして、多様化、個性化するニーズに応える、

(一) 教養教育と実務教育が融合した専門的職業教育

(二) 心豊かな生活を旨指す教養教育

(三) 幅広い年齢層の要求を満たす生涯学習

を担うことになりました。

幸い近畿大学は、いつの世にも通じる教育方針として、「人に愛され、信頼され、尊敬される人の育成」を掲げています。今後とも、学生中心・教育中心に、より良き短期大学を目指し運営を行っていく所存です。校友会の皆様には、今後共、今一層のご支援・ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

附属看護専門学校長

伊藤 浩行

校友会の皆様には、ご健勝でご活躍のこととお慶び申し上げます。

看護専門学校は本年設立二十九周年を迎え、三月には第二十七期生百四十一名が卒業し、医療の現場への第一歩を踏み出しました。本校では設立以来多数の看護師を育成し、医学部附属病院、奈良病院、堺病院はもとより、多くの医療機関に送り出しています。幸いにも、国家試験の合格率は九十七%と高く、また本校出身の看護師はそれ

ぞれの医療機関において極めて高い評価を受けております。本校自身の歴史はまだ浅く伝統を築くまでにはいたっておりませんが、このような高い評価を得られるのも近畿大学学園という大きな翼の下ではぐくまれ、多くの校友の皆様方の有形・無形のご協力の賜物であろうと感謝しております。近年、

医療・医学は急激な進歩・発展を遂げておりますが、一方では少子高齢化の急速な進行は極めて重大な社会問題となつていきます。このような背景の変化は当然看護の分野にも大きく影響し、高度先進医療から在宅看護に至るまで幅広い知識と高度の技術が要求されていきます。看護専門学校では専任教員を中心に医学部の全面的な協力の下に三年間の看護専門教育を行っており、知識や技術だけでなく、暖かい看護の心を持ち、どのような環境にも適応できる豊かな人間性を持った看護師の育成に努めています。入学志願者も年々増加し、国家試験の合格率も高率ではありますが、これに甘んじることなく教員一同「良い看護師の育成」を目指してより良い教育を行うために励んでおります。開設以来、本校は第一看護学科と第二看護学科の二学科制を続けておりましたが、本年より第二看護学科の募集を取りやめており、二年後には第一看護学科のみに移行いたします。看護専門学校としてあるべき姿を模索しながら、社会に貢献できる教育機関として発展することを旨指しております。

校友会の皆様は益々のご発展をお祈りいたしますと共に、今後とも暖かいご支援を賜りますようお願い申し上げます。

近畿大学豊岡短期大学

学長 上田 正一

近畿大学校友会の定期総会の開催に寄せて、校友会会報でご挨拶させていただきます機会を頂戴し、厚く御礼申し上げます。

平成十六年四月、近畿大学豊岡短期大学並びに同附属幼稚園は、学校法人近畿大学から分離・独立し、「学校法人近畿大学弘徳学園」をスタートいたしました。四月一日に挙行いたしました記念式典には、近畿大学から世耕理事長をはじめ多くのご来賓の出席を賜り、また校友会からも亀岡会長にご出席を頂き、錦上花を添えていただきましたこと改めて御礼申し上げます。

新法人となりました一年半の歳月が経ちました。独立した経営体として経営基盤(財務内容等)を常にチェックしながら管理運営を行うとともに、学生・園児に対し質の高い教育内容を提供するための教学面での改善を志向しながらの忙しい月日でありました。

この間、幼児教育学科を「こども学科」に学科名称変更を行い、教員養成を主たる目的とした学科から広く「こども」に関する人権など社会環境の変化に対応した教科を新設した学科に衣

替えしました。また、通信教育部については、生活情報・福祉学科の入学定員を六百名から二百名に減じ、入学志願者の多い「こども学科」の入学定員を六百名から千名に増員し、需要に因應べく文部科学省に定員変更の届出を行い、十七年度より施行しております。

さて、ご案内のように十八歳人口は、平成四年の二百五十万人をピークに減少を続け、平成二十年には百二十万人に落ち込むと推測されており、そのうち大学・短大進学人口は、約七十万人となり大学・短大の淘汰は一層厳しくなるものと予想されます。

新法人を分離・独立しましたのは、このような状況の到来に備えるべく本法人が抱える経営資源を精査し、なおかつ大学に対する社会的ニーズを読みとつた上で、どのような高等教育機関を開設していくのが良いか熟慮いたしました結果、看護大学の開設という結論に落ち着き、立地案件について様々な方面からのオフアーなどを実地検証を重ねてきましたが、本年七月一日に兵庫県姫路市に既設されております「学校法人賢明学院」の賢明女子学院短期大学の大塩キャンパスの買受契約(基本契約)を締結いたしました。また同月四日には、姫路市市役所におきまして姫路市長同席の上、本法人と賢明学院の理事長の記者発表を行い、全国紙各紙において報道されました。

看護大学の設置計画としましては、校名「近畿大姫路看護福祉大学」(仮

称)で看護福祉学部看護学科(入学定員百名)を平成十九年四月一日に開設看護福祉学部こども学科(入学定員百名)を平成二十年四月一日に開設。

その他、通信教育部(こども学科)を平成二十年四月一日、二年制通信教育課程(正看護師養成過程)を平成二十一年四月一日、短期大学部として「生活福祉学科」(介護福祉士養成)を平成十九年四月一日にそれぞれ設置する予定であります。

ともあれ、新しい法人のもとで四年制看護大学を立ち上げるといふ試練を自ら課し、それを成功させなければ本法人は生き残ることは困難であると思っております。

今後とも近畿大学並びに校友会のご支援を頂戴し、邁進していく所存であります。

校友四十万人突破 記念総会を開催して

校友会会長

亀岡弘

平成十七年度総会は、私たち校友にとつて忘れることの出来ない記念すべき総会となりました。平成九年十月二十五日校友三十万人突破記念総会を開催して僅か八年間で四十万人を突破し

たのであります。

この記念すべき総会にご来賓として、畑博行学長、ならびに多くの先生方のご臨席を賜わり校友を代表して厚くお礼申し上げます。

校友会が年々活性化し、発展していますのは、平素から母校の理事長・校友会名誉会長世耕弘昭氏の温かいご理解・ご鞭撻ならびに大学当局の変わらぬご支援、そして校友諸先輩のご協力によるものであり、深く感謝の意を表すものであります。

それでは、先ず校友会の近況からご報告させていただきます。校友総数は平成十七年三月の卒業生を加えますと、四十万人を突破しました。現在、地域支部百九、設立を承認された一支部を加えますと百十、職域支部八十四、設立を承認された四支部を加えますと八十八となり、合計百九十八支部となります。また、学校、学部同窓会十八(校友会を含む)も擁し、本会の組織は、今までにない大きなものとなりました。

組織の膨大化に伴ない、本部執行部役員も増員に迫られ、次回役員改選時から副会長を現在の五名から十名とさせて頂くよう、本年度の幹事会議でご承認頂きました。地域支部、職域支部の活性化が進み、また専門職支部の立ち上げなど、そして隣接する支部の交流、同窓会活動も活発化し、校友の縦、横の連携による情報網が円滑に機能するようになってまいりました。

ところで、母校の素晴しさは、新聞やテレビなどマスコミを通じてご存知

のことと思いますが、今秋医学部附属病院高度先端総合医療センターに「PET(陽電子放射断層撮影法)」が導入されました。精度が高く、最先端医療画像診断方法として、癌・脳・心臓の病気などの早期発見と早期治療に有効とのこと。また、理工学部では、産学協同の事業として取り組んでいきます。これは光の一つ一つを感知できるほどの超高速度のもので一秒に千

万枚という超高速であり、細胞内部の様々な働きを観察できる生物顕微鏡として世界的な注目と評価を受けており、開発が進められています。また、本年度の国家試験における合格者では、農学部の「管理栄養士」、あるいは理工学部の「一級建築士」などにおいて高い合格率を出し、入学試験の志願者も関西地区では、立命館大学に続いて、関西大学と同程度の第二位といった状況でありました。

このように母校は、総合大学として確固たる地位を確立してきております。校友にとりましては、これほど喜ばしいことはありませんが、私たち四十万人の校友一人一人の社会での評価は、大学の評価にも繋がってくる言っても過言ではありません。校友の皆様方のご活躍が母校との絆を深めて行くものと確信いたしています。

結びに、母校のますますのご発展と、ご来賓の先生方、そして校友の皆様方のご健勝とご多幸を祈念いたしました。ご挨拶とさせていただきます。

各種委員会 委員長から

総会実行委員会委員長

岩城正大

校友会員の皆様におかれましては益々ご健勝にしてご活躍のこととお慶び申し上げます。

さて、今年は校友四十万人を突破したことを記念して、「校友四十万人突破記念総会」を企画いたしましたところ、卒業生をはじめそのご家族、また大学関係者など多数の皆様方にお集まりいただき、会員相互の親睦をはかっていただき母校の発展に寄与していただけのことには私たち総会実行委員といたしまして何よりの喜びであります。

また、校友の数が増え校友の輪が広がる毎に希望と活力を頂いております。

今後も、卒業年度や地域を越えて懐かしい友が旧交を温めあえる和やかな総会を企画し、皆様方のご期待に少しでも添えるよう努力する所存です。

今後とも、会員の皆様や関係諸兄姉の一層のご支援とご協力をよろしくお願い申し上げます。

厚生委員会委員長

十合良介

校友四十万人突破を心よりお喜び申

し上げます。
私達厚生委員会では、校友の母校愛と母校をつなぐ近畿大学校友カードの拡大と一定の特典、割引等のサービスをご協力賜わるご提供者を募っております。

近畿大学校友カードは、VISA・JCB・MASTER・NICOSと提携し、すでに諸先輩にご愛用願っており、デザインは学園章をモチーフに、校友会メンバー章としてふさわしいものであります。よって、一人でも多くの校友の皆様方のご加入をお待ち致しております。

なお、興味のある方は、校友会事務局までご一報下さい。

次に、このカードを多くの方々にご利用賜わるために、建築・旅館・ホテル・飲食店・観光地等の経営者、及び勤務されている諸先輩のご提供、ご協力願える方がおられましたら校友会事務局までご一報下されば幸いです。

どうぞ諸兄弟の一層のご協力の程よろしくお願い致します。

事業準備委員会委員長

石田 定 7

校友会の運営に關し当委員会では検討を重ねている。校友会カード事業は思ったほどのびず、校友会グッズについて品物の選定を中心に進めている。

本年度も新しいグッズを考え、当總會に記念品として販売を計画している。今後は地方支部や職域支部などで紹介していただければ幸いです。また、次の新事業として各学部でベンチャー企業が立ち上げられてきたので、今後はこの点に協力することにより発展することを期待していきたい。

名簿管理委員会委員長

竹 内 正 彦

近畿大学校友会は、全国で地域支部が百十、職域支部が八十九と順調に増加して総会員数が四十万人を突破しました。

四十万人を越えた記念の年に個人情報保護法が施行されましたが、校友会名簿は、会員が有意義に活用されることを目的の一にしてありますので、名簿の管理がより一層慎重・厳格にされることとなりました。

本名簿の提供手順としては、各支部から使用目的、目的以外には開示しない旨を明記して申請していただくことになりました。

校友の輪を広げるために、折角作成した名簿ですから、先輩・後輩を引き立て一緒に発展される糧としていただければ幸いです。

終わりにりましたが、我が母校の益々の発展と校友会会員のご健勝を祈念いたします。

会則審議委員会委員長

平 川 孝 之

会則審議委員会では、校友総数四十万人となり、又時代の変遷と共に会則も複雑となり、会則改正等が必要となつて来ております。

七月に委員会で校友会支部増加に伴い執行部副会長の増員五名から十名、任期も二年から三年となりました。又支部役員の任期も三年とし（再選を防げない）等様々改正し成立に持つて来ております。

今後も母校の発展に寄与し会員相互の親睦を図る目的に添った会則等の審議の検討に努めて行きたいと思っております。

推進委員会委員長

下 村 留 美

キャンパス内の銀杏も色づく季節となり、年に一度の校友会総会の季節を迎えることとなりました。毎年たくさん卒業生・ご家族にご出席いただき私ども推進委員会一同たいへん喜んでおります。

今年も夏期休暇期間を利用してキャンパス内は更なる施設設備の充実に向け増・改築が行われ、昨年とまた違ったキャンパスをお楽しみいただけていたのではないのでしょうか？懐かしい先生や同窓の方にお会いするのはもちろんのこと、毎年少しずつ変化のあるキャンパスを楽しみにされている方も多いことと存じます。毎年、校友会總會においては、催し等も多数準備させていただいておりますので、校友の皆様におかれましては母校の見学をかねて、ご出席いただければ幸甚に存じます。



数より和の輪を広げよう

大阪市阿倍野支部長

肥 田 昭

校友の皆様お元氣ですか。平素は何かとご高配を賜り有り難うございます。

当支部は休眠中を含め二十三年を迎えました。最近役員の皆様方の努力で毎年支部總會を続けて開催していま



阿倍野支部総会

す。昨年は十月八日(金)に桃谷楼で第五回総会を開催し、森本佳明校友会副会長にご臨席を賜り、大学の発展状況を聞くことができました。そして懇親会では十八名が席を移動しながら相互の親睦を図り、最後に中村龍一氏の発声で近大節を全員で歌い、和やかな楽しい一時を過ごしました。

また本年春には、三王紀将氏のお世話で兵庫県の黒田庄町、日時計の丘方面へ散策を楽しみながら山菜採りに四名で出かけ、旬の山菜を沢山持ち帰りしました。家族の皆さんと賞味しながら楽しく談笑されたことでしょう。

これからは遊びを通じて校友との密接な交流を図り、若い人達がより参加できるような企画を考え、実行しよう

と役員一同頭を練っています。校友の皆さんから、うちへ来たら——採れるでとか、——あげるでとお声のかかることを期待しています

最後に、近畿大学校友会の益々の充実、発展と校友の皆様の「ご多幸をお祈り申し上げます。

宮城県支部だより

宮城県支部 副支部長

昭和四十三年機軸卒 吉島忠臣

七月九日(土)、一〇八番目の地域支部「宮城県支部」が誕生いたしました。校友会亀岡会長、本長副会長のご臨席をたまり設立総会が開催されました。満場一致で支部設立承認、役員承認がなされました。引き続き、本長副会長より須藤支部長に、宮城県支部旗の授与が行われました。

東北の中心である宮城県内には、会員と認められる在住又は勤務者数が一、三四三名、仙台市内在住又は勤務者数が六六一名と大勢の卒業生がいま

す。しかし、宮城県支部設立のきっかけが無く、現在に至っておりません。

卒業生の勤務先を訪問、支部設立の意思確認を行いました。全ての方が、支部設立に対し「待ちこがれていました。是非実現したい」の賛同を得ることができました。

平成十七年に入り、有志による設立準備会を数回開催、校友会の支部設立の承認もいただき、短期間に支部誕生



宮城県支部設立懇親会集合写真

の運びとなりました。

殆んど初対面の有志が一丸となって、目的に向かって邁進いたしました。

そこには、母校を思う気持ち、強い団結を生み僅か七ヶ月で支部誕生に繋がったと確信いたします。

設立総会に参加の校友は、「待ちこがれた支部が誕生した。もつと仲間を増やし校友の輪を広げたい」「母校に何か恩返しをしたい」の発言が多く聞こえました。誕生して間もない(一〇八番目)宮城県支部を宜しくお願い致します。

校友会報(第四十一号)をご覧になって、宮城県に在住の校友情報がございましたら是非お知らせ願います。(事務局住所・代表者)

〒九八〇—〇八二二

宮城県仙台市青葉区片平一—三二二(ドミニー向城ビル)

三和都市建築株式会社 内

TEL 〇二—二六六一—一七三五
支部長 須藤 昭文(昭和四十二年一建築卒)

近畿大学静岡三兄弟

静岡県支部長

遠藤能文

昨年は、近畿大学通信教育部静岡県学習会十三年、校友会十年、校友会六年を迎えた。それを機に「校友会十周年記念誌—通信教育のよるこび」(B五、百頁、千円)を刊行した。三機関の本年度定期総会は九月三日(土)O Bの高砂親方を迎え、JR静岡駅近くのクーパー会館で挙行されました。

それに先立って、「通信教育のよるこび」の刊行祝賀会がありました。この本は「単に思い出を集めた文集ではなく、通信教育を終えた充実感やレポート提出やスクーリングで工夫したことなど、後輩のバイブルとなる参考書といえる」という趣旨で編集されているのが特色です。巻末の「静岡県に見る近畿大学との関係年表」には、校友会静岡県支部の歴史が学習会と校友会とともに詳しく記録されています。まさに三兄弟と言えるでしょう。ご希望の方は、郵便振替(〇〇八五〇—九一—一〇二四五) 近畿大学校友会静岡県支部)でお申込み下さい。

大阪 J、C (青年会議所) 近大会設立三十周年 を顧りみて

大阪青年会議所支部

支部長 若松 潔

昭和五十年田中成人先輩(初代支部長、現船場経済倶楽部理事長)が中心になり、大阪 J、C 近大会を設立していただき早、三十年になります。

度々、近大会(例会場：道頓堀つばらや：松田社長には、大変お世話になりました)には、校友会の神田・吉村先輩諸氏に出席して頂き、大いに会を盛り上げて、設立十年頃には、近大校友会 J、C 全国大会を大阪にて、開催しようという意見が会員より出る様になりました。設立後近大会例会(総会を含めて)は、年三、四回(超百回)開催されてきました。

今年、近大会設立三十周年(現大阪 J、C 支部 II 会員約二百名)を記念して、近大校友会と大阪 J、C 支部との関係をより太いパイプにすべく、三人の副支部長増員を計画しております。又悲願の近大校友会 J、C 全国大会を大阪(関西)にて開催(目標三、五年以内を予定)すべく、努力して参ります。

尚、平成十七年七月十二日(火)第一回大阪青年会議所支部長、副支部長予定者(新宅修男、南昭彦、赤川明宏

氏)会議を、近大校友会と大阪青年会議所支部とがより太いパイプにするには、のテーマで六時三十分より夕食ミーティング(於北浜のアイルモレコタ四階「以心」女将徳光正子(大阪 J、C O G)を致しました。各自熱気あふれる活発な意見が出されました。

例えば

①第一回近大校友会 J、C、全国大会を開催してはどうか?

② J、C、支部(全国 J、C の本部的役割)を設立してはどうか?

③ 近大校友会、母校との情報交換(貴重な提案等)等の協力が出る様にするには?

④ 近大校友会の定期総会に積極的に参加する。

⑤ 本年近大会設立三十周年記念事業はどうしたら良いか?

以上のように有意義なフリーストーキン



第一回支部長・副支部長会議 (於以心)

グが成され、十時頃各自四名の役割を感じつつミーティングを終えることが出来ました。

支部の近況

和歌山県 橋本伊都支部長

平野 一夫

校友諸先輩の皆様こんにちは。

橋本・伊都支部の平野です。

先ず、橋本市の平木哲朗先輩が六月橋本定例議会で副議長に再選され過日就任致しました。

平木氏は平成十一年に市議会議員に初当選し、現在二期目

これまで文教厚生常任委員会の副委員長を務め、四十六歳の若手議員として活躍しております。

又、昨年七月に高野山は世界の宝文化遺産にユネスコで認定を受け、今は外国人、多くの観光客で賑わいを見せております。そのような中で高野町も五月に臨時町議会が開かれ、浅学非才の私が議員のご推挙により、議長に就任させていただきました。

町は、合併しないで、自立の道を歩み、小さな町でもキラリと光る新しい町づくりを目指して、知恵を出し、汗を流しているところです。

今年のお盆の八月十三日には恒例の

ローソク祭りを開催致しますが今年には特別の祈願災と言うことで J R 西日本、地震等でご不幸になられた方々の法要を準備させていただきました。

校友先輩諸氏のご健康とご多幸をお祈り致します。

中華民國在日支部 会長就任にあたり

中華民國在日近畿大学校友会
農学部食品栄養科

昭和四十九年度卒業

会長 李 忠 儒

去る六月二十四日、私共中華民國在日近畿大学校友会の総会が大阪府議より川合議員、竹本議員、大阪市議より新堂議員、校友会より山口幹事長、楠本先生方多数の御臨席を賜り、大阪北の神仙閣に於いて賑々しく開催されました。

この度諸先輩方が大勢いらつしやいますところ僭越乍ら、若輩の私が会長就任をお引き受けいたすことになり、大変恐縮いたしております。

私は今より十三年前、王 哲男名誉会長と諸先輩方のもと、地元の華僑と日本社会との融合をはかりつつ母校の恩師と校友間の親睦を深める為、中華民國在日近畿大学校友会設立の基礎作りに発起人の一人として参加させて頂



神戸支部 (中央が森先輩)

きました。現在会員百二十数名在籍して
おりますが、今後更に新しい後輩達
を大いに迎えたいと思っております。

又、歴代の会長らの諸先輩方や校
友達の惜しみない御尽力、ご努力及び中
華民国政府、母校、並びに日本関係各
界のご協力を得て会務が順調に進展し
て参りましたこと、茲に改めて心より
厚く御礼申し上げます。

本会内部に於てはしっかりと団結し、
又後輩達を暖かく見守り、良き模範と
なる様努力し、対外的には派閥覇道無
く、一層幅広く他の社会団体及び海内
外の校友会各支部とも友好的に交流
し、母校の名誉を守り、期待に添える
様、日本社会ひいては我々の祖国に多
いに貢献してゆきたいと願っておりま
す。先ずは、ささやか乍ら、母校に中
華民国在日近畿大学校友会奨学金を贈
ることを決定致しました。

どうか皆様、今後も何卒倍旧のご協

力、ご支援を賜ります様心よりお願い
申し上げますと共に、母校の一層の発
展を祈念致します。

「神戸支部だより」

神戸支部長

山崎博司

皆様、こんにちは。神戸支部支部長
の山崎博司です。平素は神戸支部の活
動にご支援ご協力を賜り誠に有難うご
ざいます。総会、納会、幹事会として、
近隣支部との交流と神戸支部も他支部
様同様会務をこなしております。

さて、当支部の 森 俊治氏 が五
月に褒章(瑞宝中綬賞)を受章しまし
たので報告いたします。大正のお生
まれの森先輩は、スーツ姿にベレー帽
というおしゃれな服装で幹事会に顔
出されます。六月幹事会では褒章の賞
状と勲章をお持ちくださり、仲間と記
念写真を撮りました。
末筆ですが母校の発展と皆様のご健
勝をお祈りいたします。

池田支部から

池田支部長

小林一夫

近畿大学校友会、校友総数四十万人

突破心よりお祝申し上げます。

私たち池田支部は、池田市議会議員
池田市役所に勤務する特別職および一
般職としてそのOBをもって、構成し
ている。(会員数は、平成十七年四月
一日現在、三十三名)

当会は、会員相互の親睦を図ること
を目的とし、毎年一回、総会を開催し
ています。

なお、隔年で総会兼親睦旅行に行っ
ています。

同じ庁舎で勤務していても、会員同
士なかなかゆつくりと話す機会も少な
いため、総会は、仕事の話やお互いの
近況報告などを酒の肴に、重要な情報
交換の場となっております。

また、総会の最後には必ず、近大節
と校歌をみんなが肩を組み合せて斉唱
しており、さらに愛校心と連帯感が生
まれます。

さて、ことしも十二月頃に総会兼親



池田支部親睦旅行

睦旅行を予定しており、会員のさらな
る親睦を図っていききたいと思いま
す。
今後とも、母校並びに校友会の発展
を願い活動してまいりますので、当支
部へのご指導、ご鞭撻よろしく願
いたします。

節目の支部総会

大阪狭山支部長

中田全亮

(昭和三十七年法律学科卒)

五月五日(祝) 医学部専門棟で十二
名が参加して支部総会を開催いたしま
した。

昭和五十年に設立、ことしは三十年
の節目の年になります。

冒頭全員で校歌を斉唱。支部長が開
会のあいさつを行い、そのあと校友会
丸山次郎副幹事長のご祝辞を頂戴し、
大学の近況と発展の歴史の報告がなさ
れ一同感動して拝聴。

丸山副幹事長は医学部を昭和五十五
年に卒業された第一期生で、久しぶり
に訪れた母校に感慨もひとしおの様
子でした。

引きつづいて、卒業年度順に自己紹
介を行い議事に移る。

- 一、平成十六年度 事業報告
- 二、平成十七年度 事業計画
- 三、役員の変更について



H17.5.5 大阪狭山支部総会 (医学部専門棟第17教室)

四、校友会事業の協賛

など総会に諮り滞りなく承認されました。

最後に全員で記念撮影を済ませ、来年和歌山県田辺市での支部総会に再会を約し散会いたしました。

『支部活性化をめざし・Ⅲ』

東大阪支部

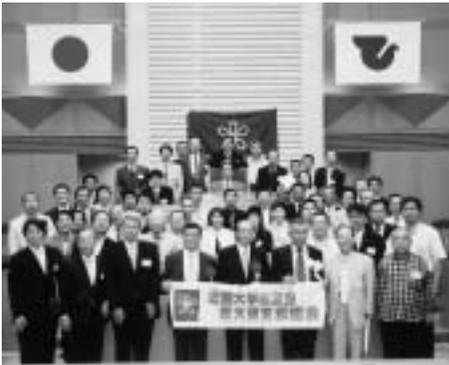
支部長 盛山博男
幹事長 宮崎利一

本支部の現体制となつて早三年の月日が経ちました。その間支部活動の活性化を重点目標に活動を進めて参つた

結果「百人総会」も本年は六月にほぼ達成（九十五名参加協力、企業協力約四十社）となりました。

振り返り見れば、和久、池尻両支部長の時代より、支部会員結集の目標を掲げ、地道に活動して参つた結果と一同喜んでおります。又本学野口理工学部教授にもアドバイザーとして日頃よりご協力を頂いた賜物と感謝致しております。

本年の事業と致しましては五月に東大阪市民ふれあい祭に出店参加し、近畿大学のアンテナPR店として初参加、「香料のふしぎ」をテーマとしての企画ものも好評を博しました。七月には「愛知博校友バスツアー」を実施いたしました。今後とも支部活動の活性化により校友の輪を広げていく所存でありますので、どうぞ皆様今後とも御協力をよろしくお願い申し上げます。



東大阪支部総会

なお、東川先輩に続き、本年も西田外喜男元支部長が御亡くなりになりました。当支部の活動にご尽力を頂いた諸先輩方のご訃報に対し、心より哀悼の意を表します。



「百年へ。明日の学園」

校友会顧問

三十機 西川泰弘

大正十四年。一九二五年。我が母校は、東大阪市小若江の地に、根を張り、芽を出し、産声を挙げました。不肖、西川泰弘も同年十二月に産れました。因みに、NHKも同年創設、というところでです。

爾来、八十年、今、平成十七年（昭和八十年）に、母校は八十年を迎える。そして、又、附属高校も六十才になりました。

その間、大学校友会は会員四十万名を越え、附属高校同窓会も六万名近い

多勢の卒業生とに、出会いました。教え、育て、学び問う、世界で、自ら教えられ、習い、問いかけ、学ぶことの出来た至福の八十年、でした。

先日、逢う度びに、その人間性の奥深さ、温かさを覚える後輩。見かけは、凄く大きく、肥えて太く、背も高く、貫録充分のその偉人、から、「先生、（師弟関係にある彼は、私のことを、先生、と呼ぶ。）何時も、回想録や思い出話し、ばかりでなく、学園創立八十周年に際し、「母校百年」への夢!! を書いてみて下さい」と、私にとつて括目的な、粋なご注文?、ご意見かな? を戴いて、目から鱗が落ちる思いがしました。

「温故知新」古き事を尋ね、温ため、研究して、次の世代への、新しい発想、認識、見解を得る。

孔子、論語、孔叢子、等、この語の典故を求めるとは、古典文学、考古学専門家に託して、私がある時、母校の未来百年に向つての有り様、として、思い出した第一は、少年時代に「漢文」として習った「古きを尋ねて、新しい事を求めなさい」という恩師の授業でした。

「温故」については、比較的、反省も加えて努力している心算り、がありました。将来に向つて、新しい意を生かせることについては、八十才の今、もう将来の短い自分にとって、という、勝手気儘から、何も求めず、新しい見解、発見、発想も開拓努力を、爲していない自分に、気が付いて、「ド

キッ”と致しました。矢張り、回想が、先きに、なりそうです。

私の父は、自分が純粹の事務職、経済、会計士であった為、昭和十四〜五年頃、(一九四〇年) 戦争時局に鑑み、私達には「手に職を付けよ!!」と指導して呉れました。そして、兄は、無線通信士、私は機械専門の工学士、となり、終戦一九四五年戦後の世代に青年期を迎えました。

そして、兄は、当時、日本工業学校の事務局に奉職、私は機械科、工場指導職人、として奉職しました。

唯、当時、ホワイトカラー、白いシャツを着て一般事務、文書作りや会計等と思われませんが、他の人に来れない、事務的仕事として、書類作り、対人対応を主にする、商業的職人。と云えるでしょう。

私の場合は、手に油して、機械工場で、工作機械等、総ての手入れや、完全な磨き、使用準備、常に、作動OKの充分な状態に置いている工場職人でした。それを基盤に、力学を学び、設計を工夫して、機械製作、工作法を熟練して、新しい機械学を、積み上げてゆく。つまり、機械工場現場の油の中から学び始めた「機械工学」であって、常時、工場内の部屋で、エンジンの音、仕事音を聞き乍ら、図面を書き、設計書を学び続けたものでした。

今、先日以来、将来に無責任な八十才爺々ではなく、真面目に、前向き、色々数々考えてみていますが、矢張り、私には「心」を失うな、人間の深層真

理の Key pointは矢張り「heart」に情の宿るところとしての、心感情、愛情、同情、の精神」。近畿大学 Spiritを生きよ!!。に盡きます。

技術。それは反復練習の心を以って、実行してゆく時、その人に与えられる、技、であり、術であります。

常々、磨き清掃された機械で、同じ材料、同じ作業をしてみても、その製品は「異なる物」しか出来ない。それは、その人それぞれの機械の使い方、口伝も教授も出来ない、自ら習うことしか身に付かない。それが技であり、術である、と言えます。

自らが会得するものでしかないものです。

技術も、機械化も、電磁機器の、激しい発明、開発工夫も、時代と共に、進捗発展は無限に、有効化するでしょう。

学んでからの、実験も、実習も、知識力、体力、精神力の充実があつて、始めて、「実の学問」に従事出来るのです。

一台一機のコンピュータ 一枚のカード等々

現在 悪用される頭脳、知恵の逆作用が先行し過ぎています。

全面的に、政、官、財、経、教、学等々、凡ゆる社会に悪用化した人間集団が、急速に増加し、新聞、テレビから入る社会ニュースには、毎日啞然としています。

この儘で、あと二十年〜五十年の内に実理、利益社会は進歩しても、その

社会の内の真の奥の奥の「心」が「正」でなければ、機械に人が使われ、使う心を忘れた人々は、必ず、私達の社会生活を崩壊させるでしょう。

何だか、隠居生活で「無事」に毎日々々を楽しんで暮らしてゆこう…と胡坐をくんで、いたのですが…

偶々、若い先生達に、教えられ。矢張り、明日に生きよう!!…と。

思い起こしました。

今の若い者は…若い者ナリに考えている、のだから…

つまらない老婆心ではなく I believe in future!! として

科学の前に 心の清書を考えてみよう。

先日の幹事会での討論議事の中で

「A君、今、こうして幹事会を開き、意見交換をしているが、校友会幹事会!!は、何か?メリットがあるのか?」

「B君、(即座に応答) ナイ!!…」。私は、その瞬間、ドッキ!!と胸が痛くなりました。人々夫れ夫れの生き方、と考え方。人生の価値観の差異の大きさを、目の前に見てしまったからです。

その価値、尊厳を求めて、日々、生活している訳ですが、「今、改めて、同窓生の友愛、同門卒業生の縦横結びの縁と、絆への目に見えぬ尊と。利害得失のない、清廉な時間と場所を共有出来る大きい楽しみ。に気付いてほしい。」これこそ、母校発展に寄与し、親睦を旨、とする、金銭で購うこと出来ない同窓愛人生、至福の幸わせ!!なのです。

「少子化の時代」(私の嫌いな言葉)だが、夫婦が、自分の爲にだけ、子供出産を考え、若夫婦二人の勝手な、目先の幸せを計算して、出産制限をつづける?とすると、何十年?か先には、日本国全体人口が減少し、民族国家として滅亡の未来を迎えるのではないだろうか?…

「ゲーム脳?」「ロボット作動?」という言葉さえ、子供用玩具的に話題になつてきています。

ゲーム脳、とは、真の人間対人間の共存や、対人への接触を忘れた果てに、機器的に出てきた、一ツの製品です。

又、ロボットが、科学的に、如何に優れ、新しい器具であるにしても、実は、スイッチを入れる作動を促すのは人の指です。その指を動かす指令をする、のは、「人の意」であります。

科学的進歩と反比例して「人対人」の共存共有の教育的、社会的心情が確かに希薄になつてきています。

先日も、或る委員会で「不登校生徒に対しては、パソコン等で、よく連絡し、知識交換や試験、テストで学力を補い、成績、点数、が上ればその学科目での単なる位認定を与えればよい; ではないか?…」と教育関係者の一人がテレビで、喋つて?いましたが人対人が接触してこそ、教と育、は成立するのであって、単なる、機械的知識伝達は教育とは言えないのです。

人と人が、一定の、或る時、或る場所に、集合し、面接し、共に科学し、共に問い、学ぶ時、その場、学校に教

育が生れるのです。

我が「近畿大学学園」も、創立百年を見据えて、物。心。共に、一層充実、発達を遂げ、今や、名実共に、世界に誇り得る学府として成長して来ております。

今、茲で、実学教育として、最も重要なことは、改めて、足許を確認した上で、建学精神に基づき、正しい社会への、正しい学府真献であります。

High Technology, Personal Computer, etc

先端科学の発達は、目指ましい、日進月歩の現代、稍もすれば、そこに、忘れて失つてはならない基本人生があります。

人対人の、かかわりの中で、自分の占有場所、時間、は？と改めて意識し、学び、問う。その都度に「心創り」永遠の節理「実学の精進」があります。如何に、科学進歩があつても、実質基本精神「Kink Spirit, heart」が、一番大切です。

もう、二十年先きに…

学び問う、常に、具体化する、現実社会で素晴らしい「近畿大学学園」が誇り得る、具現化力で、完成された、構造建築、講義、学術は、素敵な、名と実、になって、皆様の眼前に聳え、起立していることでしょう。

そして、そこでも、矢張り、膨大な、立派な学園本部に、根座しているのは、心育美学であるに違いない、と、確信しています。

そして、優秀な男女学生が多勢、楽

しく学んでいます。

先般、私に、回想や、思い出、ではなく、前向いて、若返つて、頑張つてもっと元氣な字を書け。文章を作れ!! というのは。

実は、ポツポツ、隠居しようか…な

と考えていた私に回想人間、ではなくもつと前向きに、百年未来を見据えた、文章、を書け!!と言つて、くれたのは、本当は「西川泰弘」八十才、への、一層健康で、元氣に長生きせよ!! と、いう激励。真実の友情、人、とし

「油絵の思い出・

パステル月下美人画」

校友会参与

石原 国夫

昭和二三年秋、群馬学生美術展・洋画部門に於いて、『応接室の窓』が、第二位に相当する北野知事賞を受賞しました。その年の図画の学校での評価は「秀」でした。それから六年を経て、昭和二九年秋に連盟展に於いて『慶應図書館の光と影』が、奨励賞を受賞しました。私の一六年にわたる学生生活で後半の一〇年間に油絵にとりくみま

ての有情、であった、のだ。と受け止め、真心からの友情に感謝しつつ、今の、自分への、優しく、厳しい、励げましであつたことに、気が付きました。

感謝、感動、に心を開き
衷心より、お禮申し上げます

「ありがとうございます」

檄(一)

歩きタバコに ぼい捨てタバコ

一切やめよう 近畿大学

檄(二)

大学通りと 学園構内

全面、禁煙 強く提唱

したが、その間、受賞したのは、わずかに前掲の二作品にすぎません。

『応接室の窓』では東京高師の飯島先生の指導が効を奏したと思つています。題材は本庄の牛久保邸の応接の外観をとらえたもので、モネの絵というから、モネの手法を全面的に参考にしながら描きこみました。

モネの仕事は、ある季節のある時刻に、そのときの一定氣象条件にしたがつて、自然を、特に光の様子、色彩のおりなす様を、速写してゆく、だから陽が陰ると、筆を置き、その再来を待つ、ふたたびくることなくば、次日の同条件をねらうという創作です。モネの制作の根幹は、同一主題を、違った光のもとで、あるいは少なくとも、違



パステル月下美人画

つたメチエルで、違った角度からの光を大切にしたいのだと思つています。私の作品のサイズは四号Fで、スケッチサイズです。玄関に至る大理石の陰陽はスケッチする時刻を決めることと、夕映を反射させることで、質感と重量感を増幅させ窓から流れ出づるピアノの音は、シヨパンのノクターンの調べの如く調和して、レースのカーテンを、仄かに揺らしているかのように配彩しました。

『特に夕陽に映える植込みの紅葉と枯葉とが、行く秋を物語っている。』と、審査員・光風会・神保先生をウナラセタことを覚えていきます。

『慶應図書館の光と影』も、モネの絵法を忠実に真似ました。三田塾監局の階段から福澤翁像を前にして建つ、煉瓦造りの建物は、散り宙を舞う紅葉の真紅色と煉瓦色とがうまくマッチして、時刻を午後三時前後と特設定する

こと。十四日間・同条件で速写スケッチを試み、下絵も百枚に及びました。絵のサイズは、一〇号Fでまとめてみました。

『煉瓦の色が、目映いまでに、図書館が浮き出ている』と、二科会の川隅先生が評されていました。(現在慶應図書館は国の重要文化建造物に指定されて、建物のみ保存され、図書機能は果しておりません)

学生々活終焉とも油絵とも、すがり縁を切りつばなしで、五十数年を経た今日、七〇才の大峠を越え、急坂をころげ落ちていきます。

エンジンブレーキを掛けながら、時には立ち止って、安定した老後を目途に、パステル画を七月から描き始めました。

甲状腺機能低下症の治療薬・チラーヂンの副作用で、手の震えが日増にひどくなっています。そういった現状を打破する為めに、パステルに絵心をこめて、物の構図・色彩雰囲気重視してスケッチにとりくみはじめました。印象派の画家の中で、特にポナールの色調に心とられます。ポナールに真似て、色調が明快に、鮮かなコントラストの効果が生き生きと表現できるよう、色を重ね塗り効果をねらい、花の持つ質感の表現に色を塗るのではなく、そこへ、キャンバスへ花そのものの色をおきにゆく努力をしています。シャボテンの月下美人の速写スケッチに熱中しています。儂い一夜の花の命の表現に全力投球しました。

〔岡山PHP経営研究会〕 のご紹介

三十九年通信法卒 岡山県梅師会支部長

植 木 豊

岡山PHP経営研究会は、全国で結成されているPHP経営者友の会の一つで、会員は会社員・教職員・公務員・団体役員から税理士・社労士・行政書士などの自由業の方まで多彩なメンバーで構成。例会は、毎月第一土曜日、開催。自己紹介・近況報告・研究発表を行っています。PHP運動の趣旨を理解し、経営・教育を学び各自の品性の向上と会員相互の親睦を目的としています。松下幸之助翁もおっしゃっていたように、「自分自身をどういかにするか、自分の人生をどう営んでいくか」ということも経営と解釈しています。

五月例会では、近畿大学講師・伊東明先生・劉成基先生をお招きし講演会を開催。『台湾から見た・日本の経営』と題してお話しを聞きました。高齢社会を迎えますますます生き甲斐と心の豊かさが求められています。本会の趣旨にご賛同のうえ、校友諸兄のご参加をお待ちしています。―人生は、出会いであり、学びである。一期一会の精神

で――
人をつくる“心”の経営

平素、専門学校、予備校での講義、また各種団体のセミナーなどでの指導を通じて、考えて心しておくべきことのうちで、「経営についての心のあり方」が、松下幸之助研究・『ビジネス・レビュー』七月号に掲載されたのでご紹介します。

企業は「人」により発展していく、少子高齢化時代が進むなか、各企業にとっては、長期的な技術開発などの経営計画をどのように立てるかということと同時に、いかに優秀な人材を採用し、いかに教育効果をあげるか等、人の問題について特に問われる時を迎えているのではないだろうか。

経営は、一般的に、人・物・金の三要素に経営技術(情報)を加えて四要素から構成されているといえる。もちろんいづれも大切な要素であるが、「企業は人なり」といわれるように、どんな経営でも適切な人を得てはじめて発展していくものである。経営の組織・管理手法も大切であるが、それを生かすのはやはり人である。そこで、経営において人はどうあるべきか、現代社会での企業経営にはどんな人が求められているか、について考えてみたいと思う。

経営、人生において「心」が大切
松下幸之助翁がサミュエル・ウルマンの詩にヒントを得て作られた「青春とは心の若さである。信念と希望にあふれ、勇気にみちて日に新たな活動を



岡山PHP経営研究会

つづけるかぎり、青春は永遠にその人のものである」という言葉がある。人はみな毎年歳をとってゆくが、精神的には何歳になろうとも青春時代と同じ新たな気持ちを持ちつづけることができるのである。

さて、心豊かな(姿勢のいい)人で、やり方(テクニク)面で未熟な人と、その反対にやり方は非常に素晴らしいが姿勢の悪い人とはどちらが優れているだろうか。最初は後者のほうが優れているか見えるが、時がたち管理者の立場になると、後者では必ず問題が生じてくるのである。基本としての姿勢が正しければ、テクニクは後からどんどん正しく吸収できるものだが、姿勢が悪ければ一定のラインまでは到達できても、それから先、大きな壁にあたり前に進むことができない。人間が企業という人間集団を経営するのであるから“心”中心の経営でなけ

ればならないのは当然のことである。
物の豊かさより、心の豊かさを

人生を豊かにするものには三つある
という。一つは闘いであり、一つは愛、
三つめは詩である。このすべてをそな
えて人生を送れる人は幸福であり、一
つも経験しない人は不幸である。企業
活動においても同様である。企業は永
遠の生命を確保しなければならぬの
で、当然競争が生まれる。競争に打ち
勝つための闘いが企業経営というビジ
ネスである。愛・詩については、心の
豊かさ”を指しているのである。企
業活動、人生：すべてについて広義の
“心”が何よりも基本であり、何より

法医学について

常任幹事

6 野 弘 道

法医学、あまり聞き慣れない用語であ
る。二女がオーストラリアのブリスベ
ン大学に短期留学したホームステイ先
の娘さんが大学で法医学を専攻されて
いたが勉強は難しいとの事である。来
日して一泊した事もある。

あくまで、法律と医学の事であるが
勉強すればする程奥の深い。人間は健
康であれば良いが病気になる時治療
法、それは医者が薬であるとか手術を

も優先されるものなのである。

いつも、経営は心・人間性が中心と
いう本流をしっかりと肝に銘じて、明
日からの“闘い”に挑戦したいと思う。
人生の価値観とは、仕事を通じて自分
自身や家庭に、職場・企業そして一般
社会に、いかに貢献できるかによって
決まるのではないだろうか。

今後、岡山 P H P 経営研究会の仲
間と共に大いに学び合っていきたいと
思います。

最後に、校友諸兄のますますのご健
康で活躍をお祈りいたします。(岡
山 P H P 経営研究会会長・経営コンサ
ルトant)

しなければ治癒できないと言った時現
在医学によって処理されているのであ
る。東洋医学や西洋医学は現実として
行われているがその医学を基礎として
法律的にその手術で医療ミスがあつた
時それを検証しなければならぬ。

ドラマ「白い巨塔」の中で教授の執
刀に間違いがあれば病理学の先生が検
証にあたる。カルテ等改ざんがあれば
普通は分らない。裁判ではそれが争わ
れるのである。患者や身内の者に取っ
て事実関係の情報開示は難しく、今手
術する時家族の押印を必要とするので
ある。

後で多額の損害賠償の請求を求めら
れた時の対応である。手術ミスは評判
を悪くもする。さて、法律的にはどの

ようになっているのであるうか。

これは刑事や民事と言ったその時の
故意であるか、ミスであったかで法律
は変つて来る。故意に死に致らしめた
場合は刑罪が課せられる。(原因を調
べる為司法解剖もあり得る) 民事であ
れば執刀者や病院等関係したものに損
害賠償を請求されるのである。つまり、
裁判沙汰であり医療事件裁判である。

最高裁までの上告審は長く(優れた
弁護人をつければ刑も軽くなった場合
もある) 最近の裁判平均期間、最高裁
報告書では、刑事三、二ヶ月、民事八
二ヶ月であるとなっている。特に民事
で医療の専門的事案が長びくと報告さ
れている。(裁判の迅速化が望まれて
いる) 医師としてはメスの先が患者の
生か死かと言つた医療技術は神技でも
ある。特別な病気である癌は早期発見
で治るが遅れると転移する場合もある。

このような医療になると専門知識を
必要とするので難しいのである。
今後の課題は病理学的研究による裏
づけで、臨床の実験が必要になって来
るのではないだろうか。

又、具体的な事例として前記に記し
たものの参考にはならないが、近畿大
学医学部附属病院に狭山、奈良、堺病
院がありますが狭山病院には商経学部
教授故後藤先生を二回お見舞いに行つ
た事があります。立派な病院です。

何年前に大阪市内でリニアモータ
ー電車事故があり女性の耳が飛んで行
つて必死に探してそれをタクシーに乗
つて狭山病院に行き縫合手術が出来た

との事もありました。

奈良病院も開業時に行ったがきれい
な病院で今、評判も良いと聞いており
ます。

堺病院は建物の写真だけで行つた事
がありません。又、近大病院の医師が
目の不自由な方の手術するのに歯を移
植手術できる、只日本に一人しかいな
い先生もおられる。西洋医学を取り入
れたと思われるが目が見えない人に取
つては朗報である。

大学では法科大学院も開設されて、
将来のプロフェッショナルの法律家とし
ての学生が、判事や、検事、弁護士を
めざして勉強している。同、法科大学
院教授山本正樹先生(刑事訴訟法)良
い勉強になると言っていた。いつか、
法科大学院修了生と医学部卒業生が裁
判で対決する事があるのではないかと
。。

私方二女が二才の時脱腸になつた事
があります。真剣に泣くので腹の横に
ピンポン玉のようにふくれる。附属病
院に妻が連れて行き教授がインターン
集め手術するように言われ待合で隣の
人に大病院に連れて行つてはと言わ
れ翌日診察したらもつと大きくなって
からでも良いと、手術をして成功すれ
ば良いが失敗すると一生不自由に歩か
なければならぬ。(二人程事例があ
ります)

親は助かった手術しなくて：
そして、長女は大学在学中夏休みに
髄膜炎になって即入院(頭が割れるよ
うな痛さ) 若いもんだから無茶な遊び

が影響して弱い所に出たと思う。親は子供を育てる時病気になるれば、やはり頼るのは医者でありました。

今は何年か勤めて後看護士になると言っていて通学しているが（私は反対だった結婚するのが遅くなるからと思いいつの間にか籍を抜いて入籍してしま

つた。
若い人は若い人で商社に勤めていても医者になるんだと医学部へ進学、又一緒に勉強している人も医学部へ進むと言って頑張っておられる。今や女性が社会進出する中ですばらしい事である。それにしても看護士学校も真剣に勉強しなければならぬ三年課程である。介護の実習もあるが私は介護にならないよう健康には気をつけるつもりである。

やさしい家庭と 社会を願って

幹事山本好子

封建制のことさら強い家風であった私の家に嫁いできた母は、きびしい姑に仕え、ただ温和しくひたすらよく働いた人でした。

しかし、齢を加えるにつれ足や腰がだんだん弱くなっていく母を見るたびに、私の淋しい気持ちも増すばかりでした。「母にやさしい言葉かけを」と学んできたカウンセリングのその実践

も、母の耳には次第に届き難くなり、九十九年の齢を重ねて遂に黄泉の国へ旅立ちました。

今日、高齢の人たちの「触れ合いサロン」など各地で催されています。高齢者の自尊感情を大切にしたい介護者の接触があれば、認知症の人にも表情が明るくなることを教えられました。私自身が教わり学習してきた高齢の人たちに対する感情の大切さを基礎にして「高齢の人たちの触れ合いの場づくり」を声高に提唱し、地域で行政の支援を得ながら是非とも実践していきたいと考えています。

現在、私は「生涯学習インストラクター」として公民館活動に参画し、また昨年度から、「近畿大学豊岡短期大学、社会福祉士養成通信課程」の学生となり、社会福祉援助技術論など多くのことを学ばせていただいています。入学して良かったと思うこの頃です。「やさしい家庭と社会を願って」このことが私の願いなのです。

太極拳と出会って

S三十五年 理工学部機械工学科卒
校友会幹事

帆刈幸男

私と太極拳の出会いは二〇〇三年九月のこと、退職後の健康維持のため、

ウォーキングをしていた途中のことである。

立ち寄った公民館で内田綾子先生による太極拳教室（毎週水曜、九時～十時三十分）が開かれており、見学した時である。

これはまさに高齢者の“健康維持とボケ防止”に良いと考え、帰りに早々申し込んだ。

その時、先生から太極拳の朝練を緑が丘公園で朝五時からやっているのに参加してはとのお誘いがあり、翌朝から参加することにした。当時はまだ私を含め四人だった。

翌年五月に福島県喜多方市の高齢福祉課が推進している「簡化二十四式太極拳」の活動状況がNHK「ほっとモーニング」で放映されると太極拳教室は三十人に、また朝練グループは十九人に参加者が増え、高齢者の太極拳による健康増進と脳の活性化によるボケ防止への意識の高まりを感じた。

太極拳は自分の健康増進のためであり、朝練は雨の日も雪の日も年末年始も休まず年中無休で、毎朝五時から四十五分間、天気の良い日は公園で、雨、雪の日は公民館の庇の下で実施している。

朝練では始めに「練功十八法やソアイ手」の体操で事前に身体をほぐした後、音楽に合わせて太極拳を行い、基本やポイントについて実践で繰り返し指導を受け、再び太極拳を行い、最後に深呼吸で終わる。

内田先生は元教育者であり太極拳の

ことはもとより、太極拳を通じて健康で有意義な人生を送るための考え等、色々とお話して頂くなど、素晴らしい指導者に巡り合ったことを大変嬉しく思い、感謝している。

太極拳の型は覚えても太極拳モドキの域を出ず、毎回自分なりにテーマを持って取り組むが「身法・眼法・手法」等、奥の深さを痛感している。

目標としている「行雲、流水の如く」にはなかなか出来ない。

太極拳を始めて二年程になるが朝早く起きて公園に行き、澄んだ空気の中で、また素晴らしい星空の下で予防健康に努めているためか風邪も引かず、体調もすこぶる良好で今は毎日、朝練に行くことが楽しみである。

太極拳を始めて一年後に富士登山や小野アルプス縦走、熊野古道等を歩いたが「脚・腰・の強化、呼吸、バランス、重心（丹田）の移動」等が鍛えられ、また血液の循環、内臓の強化にもなっているようで翌朝、疲れを感じなく、とても嬉しく思った。

太極拳のお陰で目的、目標を持って、前向きに、積極的に取り組むようになり、多くの人と出会うことが出来たことも健康あつてのことで、今後も太極拳を継続して、日々充実した有意義な人生を送りたいものと思っている。

これからは消極的健康法（何もせず第三者に介護依存）ではなく積極的健康法（太極拳で健康維持へ努力）に取り組んで自信を持って前向きに、やる気を出し、多くの人と交流を持ち、明

るく、生き生き、楽しく日々を送りたいと思つている。

詩人のサムエルウルマンの「魂のこもつた青春」の詩の一節にある「歳を重ねるだけで人は老いが来ない、理想(夢)を失う時に初めて老いが来る」と言う信念から「理想・夢を持って前向き、積極的に取り組む」「健康維持とポケケ防」を計って、心身共に若々しく生きたいと思つている。

太極拳を実践して見て、同窓の皆さんにも健康法の一つとして太極拳を是非お勧めしたい。

あの時の思い出

校友会香川県支部
副支部長

坂井幸治

二十年前の夏であった。近畿大学本校で講義を受け、終つたのは夕方であった。長瀬の大学通りで食事を済ませ、時計を見ると東神戸港午後八時出帆のジャンボフェリー乗船までにあまり時間の余裕はなかった。私は急いだ。阪神電車を下りて波止場まで約一キロの道程を額から汗を流しながら足早で歩いた。

結果、出帆までなんとか間に合った。夏休みとあつてか子供連れの乗客の多いこと。私は乗船して昼の疲れを

癒そうと、ゆっくり寝られる部屋を探した。

幸いにも後尾の方に空席の部屋があつた。ところが部屋の中へ入ると、変な体臭が漂ってくる。よく見ると部屋の片隅に汚れたカーキ色の服を着て、頭髮や顎ひげは長く伸ばし、顔は垢で煤黒くなり、まるで浮浪者のような男が横になつて居る。空席になつて居る理由が分かつた。歳は四十前後であるが瘦せて弱々しく、見苦しい風体であつた。

私は構わず男の傍へ近寄り、そつと座つた。船は腹に響き渡るような汽笛を鳴らして動き出した。船内は人の話し声と、子供のはしゃぐ声で喧騒であつた。男の発散する臭いはたまらない。私は我慢しながら横にならうとした。その時、男はにわかに咳き込み始めた。息苦しそうにしている。

どうもその咳は普通の咳でなさそう。もしかして肺結核でないだろうかとも思つた。やがて寝ていた男はそつと起きて胡座をかき、胴を丸くして私を睨むようにして蒼白い顔を向けた。その顔はまるで死を直感しているよう不気味であつた。

「苦しいのかい、背中を擦ろうか」
私が声をかけると男は首を横に振り、細い声でゆつくりと話し始めた。

「あんたは高松へ帰るのか、俺も高松だが五年振りに家へ帰らうと思つているが、一寸と家へ帰りにくい事情があつての……」

男は頭をかかえて、思案そうに言つ

た。私は何の事情か分からないが、これは只事ではないと思つた。その時、男は自分を懺悔するかのよう静かに喋り始めた。

俺は、格好悪い話だが今から五年前、女房や子供がありながら女狂いになつて、その女と大阪へ高飛びをした。初めの三年は楽しい生活をしたが、手持金がなくなれば二人の間は不仲となり、薄情にも女はいなくなつた。それからしばらく無為徒食の身となり、とどのつまりは止むを得ずホームレスに陥つてしまつた。家を出てから五年の歳月が流れると、古里が恋しくなつてと話した。

やがて真夜中、船は高松港に到着した。私は男を支えるようにして下船した。

別れる時にせめて彼の名前だけでも知れたかつたが彼は言わなかつた。男の戒めのような事柄に出会つた私は、学校の講義も大切であるが、それ以上の人生体験を教えられた。遠い昔のあの時の思い出が忘れかけていた今、よみがえつた。

檄!!

三十年機卒 西川泰弘

今日、平成十六年十二月七日(火)午後三時五分頃、私は十号館から東へ出て、東門を通り、Eキャンパスへ入

りました。横着な足に罰が当たつて、通り抜け禁止に出逢い、又東門に引帰す時、文芸学部校舎から、一對の男女学生(文芸部学生であることは確認しましたが、姓名は私と共に学生部へ行つて、名乗りましよう誘つたが、二人で、交通信号から北へ八戸の里の方へ逃げてしまつた。)その一對の学生が、加え煙草で構内で煙を吹かし乍ら歩くので、「君、クワエ煙草を止めなさい!!、非常識ではないか!!」と言つと、何と「これが僕の常識です。」と云い放つた儘、尚も煙を吹かしつつ、早足で東門へ行つて仕舞つた。私は思わず「近大(生)の×××。文芸部の×××。」となり散らし罵声を浴びせました。「歩きタバコにポイ捨てタバコ。近大名物大学通り」でも止まらず学園構内までどうとう歩きタバコが蔓延してしまつた。

唯一人、手鉄みで、黙々と、ポイ捨て煙草を仕舞つている、好人物が、Eキャンパス、十階建新校舎の前で働いて居られた。その黙々のしみしさに、私も言いしれぬしみしさと虚脱感に身体力が抜けてゆくよう、思わず立止まりました。この新校舎、新構内を何と心得ているのだろうか?フト元の正気に帰ると、大キイ失望感と苛立ちを覚えました。掃除する人が居る以前に、学園の指導者、教職員として、基本的に「為すべき指導実践が何故行なわれないのか?」「先生方は一体何をしているのか?」「大キイ不満を申告します。幸か不幸か? 私に体力があつたら

「歩キタバコを常識と嘯く学生をキツトぶん殴っていたでしょう。」腕力の無い私はこういう時必ず現行犯人!! より二〜三米離れて、持ち前の大声で周囲にも聞きとれる様、張り叫びます。同時刻、その場に文芸部学生は数人地面に座していました。不愉快な一日でした。

「学生の自主性の目醒めを待っていません」

そのような、税金泥棒役人の××の一ツ覚え、説明言訳は、私学にはありません。

歩キタバコにポイ捨てタバコ、近大名物大学通から、危惧していた通り「歩キタバコにポイ捨てタバコ、マナ

奄美の英雄 偉大なる 徳三寶先生 (講道館九段)の想い出

校友会幹事

静原重人

国立 筑波大学名誉教授 医学博士
電気生理学・運動生理学 藤田紀盛先生(七十五歳)

藤田長盛先生(他界) 講道館柔道八段

元東京都中体連柔道部役員・元東京都文京区柔道会理事長

「低劣近大構内」になってしまった? ようです。
出来る事なら、自分で拾いに行きたい!!
どうか教職員方々も、学生の歩く街、構内での悪態を目の辺りに実感してみて下さい。

こういう非常識若者は「歩キタバコ、ポイ捨てタバコは良くない」と分つたら、反対に「年寄の叱り方、語句の云い方が気に入らない」とキツ逆恨みの屁理屈を言う奴? です。叱られた口惜しさを跳ねとせよ。

「禁煙した。」という前提ならば、肝胆相照らして、楽しい学生生活を語り合ひましょう。

二人の先生の書籍を参考にして徳三寶先生について全生涯を柔道一筋に打ち込んだ彼の生きざまは今の若い青少年に他山の石になればと思いまともめました。

徳三寶先生は明治・大正・昭和初期の柔道界の鬼才・逸材として活躍され、先生の業績が、柔道通して青少年健全育成に貢献されたものと確信する。

藤田長盛先生は大正十四年京都より上京し、徳先生の道場(研道館)に入門する。

徳氏と藤田長盛氏については指宿英造氏(奄美大島出身)の甥で柔道一代徳三寶に記されている。

徳三寶先生(昭和十年)の略歴

明治二十年十二月十二日 鹿児島県大島郡亀津町亀津一〇九二番地に誕生
講道館入門 明治三十九年五月十三日

昇段 初段 明治四十年一月
二段 明治四十年九月二十九日

三段 明治四十一年八月一日

八段 昭和十二年十二月二十日

九段 昭和二十年三月十日

身長 五尺七寸七分(百七十五cm)
体重 二十三貫五百(八十八kg)

錦城中学校卒業と同時に母校教師
明治四十三年東京高師文科兼修体操専修科入学

明治四十三年五月武徳祭に於て、當時京都の花形

四段田畑昇太郎氏との試合は今日尚宣伝せらる

日本大学、早稲田大学等の師範を勤め、研道館道場を開く。

昭和二十年三月十日戦災を受け夫妻とも死亡(五十九歳)(妻 徳 きん)

昭和三十一年九月

徳三寶先生頌徳碑建立準備委員長に元衆議院委員 島村一郎氏が勤める

昭和三十一年九月二十日建立
「徳三寶先生頌徳碑 講道館九段」発起人

早稲田大学柔道部
日本大学柔道部

拓殖大学柔道部
東京大学農学部柔道部

講道館 徳三寶道場門人一同

東京奄美會一同
旧薩摩主家 島津忠重
所在地 東京都江戸川区小松川逆井町一―百三十五 最勝寺内
「踊り出た異色の巨漢柔道家」

性は徳(とく)名は三寶(さんぼう)支那人ではありません。

鹿児島県徳之島の産です。壮年時代から晩年にいたるまで徳三寶は初対面の人たちにこのような挨拶をしている。五尺七寸七分(百七十五cm) 二十三貫五百(八十八kg) 明治、大正、昭和(戦前) 三代の柔道家の中で徳三寶はずば抜けて大きい方である。

柔道の達人といわれた磯貝氏、永岡氏、飯塚氏、佐村氏、三船氏という人々はいずれも小さく。三船氏(十段)は五尺三寸五分(百六十二cm) 十五貫(五十六kg)

徳三寶は講道館の大道場でも野中の一本杉のようにいつも真つ直ぐ突っ立って稽古をしていた。色あくまで黒く、どんぐり目で左目の下に大きな黒子があつた、筋肉隆々として一片の贅肉もなく、鋼鉄のような体であつた。めつたに喜怒哀楽の色を現わさなかつた荒削りの仁宝さまみたいな男で、徳三寶という日本人らしからぬ名前からして平凡ではなく、講道館初期の四天王の繋ぎの時代を担つた、磯貝氏、永岡氏、飯塚氏、佐村氏、三船氏というあとに高橋数良氏、徳三寶氏、中野正三氏時代を形成した異色の人物であつた。薩摩の歌人 山田清安(桂園派、香川景樹の高弟)が「おのづから万大ふべき

しるしには亀津そ島のみやこなりけ
る」と詠んだ。

奄美大島の徳之島亀津（現 鹿児島
県大島郡徳之島町亀津一〇九二（現人
口 一三、一〇八）が徳三寶先生の
生まれ故郷である。

奄美大島は鹿児島より南示約三百
km。船で二十数時間を要する辺鄙な南
の島である。

徳三寶は亀津の小学校を終えると徳
之島には中学校がないので鹿児島県の
立第二中学校へ入学する。

造士館（第七高等学校）の教授とし
て赴任した佐村嘉一郎先生（十段）当
時三段が二中の柔道教師を兼ねてお
り、剣術教師は元陸軍大尉の藪重次郎
氏という人であった。

徳三寶氏が鹿児島二中の四年生のと
き、鉾山師だった親父が脳いっ血でほ
っくり亡くなる。

大酒がたつたのである。親父が亡
くなってみると、実際には鉾山も借金
だらけで閉山となり、徳三寶氏は学資
も出なくなる。

徳三寶氏は柔道に対して鉄人のよう
に信念を持った人物である。

徳三寶氏は神田の錦城中学へ編入し
本格的な柔道修行が始まる。嘉納師範
邸の書生となるのが出来、嘉納師範
は校長を勤める東京高等師範学校の体
育科で徳三寶氏を勉強させ、立派な柔
道家に育てようと思ひ、徳三寶氏を神
田の錦城中学へ編入させ、嘉納先生は
素晴らしい教育者であった。

徳三寶は錦城中学を卒業する前に三

段になり、明治四十二年三月卒業し錦
城中学の柔道師範となる。四月から東
京高師の体育科へ入学したのは、元天
理大学体育学部長大谷武一先生（他界）
始め、甲佐知定（故八段）福岡の坂井
大輔氏（早稲田大学卒政友会代議士）、
宮崎の草場高治氏、鹿児島島の徳三寶氏
と九州から三人の大男が入学する。

徳三寶氏は稽古量は最も多く一日百
本を超える超人的なものであった。高
師時代の徳三寶は一年間に一万本以上
の数稽古をやる。大武武一氏は徳三寶
と同室（七寮）であった。

徳三寶氏は恩師まで投げ飛ばす。徳
之島の暴れん坊

明治三十六年三船久蔵氏が初段頃に
県立第二中に柔道の強い中学生が
いた。徳三寶である。

鹿児島島の奄美群島 徳之島の生ま
れ。西郷隆盛の流浪の島として知られ
のちには横綱朝潮太郎（元高砂親方）
を生んだ土地でもある。

すばらしい体力と剛毅な性格、運動
神経に恵まれ競技と名をつくものは全
て抜群の才能を示す。少年のころから
空手をやり、二中に入った最初は示現
流の剣道を終業する。

二年生ですでに教師と互角の勝負を
して相手不足に悩んだと伝えられる。
喧嘩ばやかった。奄美大島出身の生
徒達を鹿児島島の地元の子ども達は「島
人」と呼んで一種特別な（人権）感情
で接した。

普通の少年なら小さくなるころだ
が、徳三寶は「島人」と呼ばれると相

手が四年生五年生の上級生であろうと
物も言わずに殴りつけ、投げ飛ばす。
県立二中で柔道と剣道を教える數十次
郎氏という男を投げ飛ばす。数十次郎
先生の紹介で造士館（七高）に講道館
の佐村先生がいる。

指宿英造氏（徳三寶） 柔道一代 平
成元年四月二十日発行。

徳三寶氏は全生涯を柔道一筋に打ち
込んだ彼の生きざまが、今の若い人た
ちにとっても他山の石になればと願
う。三寶の生涯は中学で退学処分、講
道館での破門。四国での苦行講道館へ
の復帰。講道館への復帰が叶ってから
の三十年の全生涯を通して生まれ変わ
った。

三寶氏が欲得を離れ、黙々としてひ
たむきに終始一貫して肌から稽古衣を
離さなかったことが柔道を通して人間
形成人格者でもある。

日本柔道の名物男として明治、大正、
昭和の三代にかけ、波瀾万丈の現姿を
演出し、一世を風靡した豪傑。徳三寶
氏の花道にふさわしいものである。

徳三寶氏は（戦前）旧時代の英雄で
あり、彼独自の生き方をした人である。
第一回全日本柔道選手権大会が昭和
五年十一月（明治神宮外苑相撲場於）

成年前期の部門一回戦で宇土虎雄六
段に敗れ、徳三寶六段は時代の終わり
を自身で感じる。

佐藤金之助（六段）・尾形源治（六
段）と対戦 尾形氏の臉をぬつてもら
い包帯を巻いて試合場へ、尾形氏は佐
藤氏に敗れ、尾形氏の凄烈な闘魂は血

染めの天覧試合というエピソードを残
し日本中の柔道ファンを沸かせる。
奄美大島瀬戸内町阿木名中学校出身
で現日本体育大学荏原高等学校柔道部
へ進学

中水大貴君（十六歳二年生百八十
cm・百三十kg）が平成十七年七月金
鷲旗柔道大会（福岡県）に出場する。

優勝を目指し精進することを祈る。奄
美大島からオリンピック選手が北京大
会（中国）・ロンドン大会（イギリス）
に出場することを願う。

一九八八年（昭和六十三年）ソウル
五輪柔道銅メダリスト日本体育大学助
教授 山本洋祐先生

柔道部部长が奄美大島名瀬市立朝日
中学校（要田憲雄校長）講演会開催
（八月二十八日）

「アテネを振り返って北京五輪に向
けて（挑戦）」演題で講演し、何でも
あきらめたら終わり、素直な気持ちで
学び可能性に挑戦することが大切。

自身の体験を交えて話し、生徒らは
熱心に耳を傾け、盛大に講演会が終
山本先生の迫力凄いもので、奄美か
ら中水君にオリンピック選手が出るこ
とを確信する。山本先生素晴らしい教
育者である。

近畿大学卒業し奄美大島名瀬市で柔
道整骨師経営 吉見憲治先輩（七十二
歳）講道館柔道七段に昇段する。奄美
大島で柔道を通して青少年健全育成に
日々ご尽力を賜り深く感謝申しあげま
す。

二十一世紀青少年が徳三寶先生によ

うな柔道選手が一人でも多く奄美大島から出ることを期待します。

人間は強くなると天狗になりやすい。(他のスポーツも同じ) 基本的な柔道を疎かにしないで初心に帰って地道な練習を継続的にすることが大切であり、どんな力のある選手でも年間を通じての練習ができなくては世界の強豪相手では勝ち抜けなと思う。

外国選手は組み手がうまくなっていない。よく動いていかに自分の組手になり、相手の動きを封じるか。外国選手対策のキーワードであると思う。

これからの柔道は本番で自分の持っている力を出し切るにはどうしたらいいかに力点を置いた地道な努力が重要で、結果は何事も努力に尽きる。具体的には怪我をせず、強気で積極的に技をかけ強気で積極的に技をかける選手を育成することが課題だと思ふ。

厚生労働大臣杯争奪 第五十三回全日本実業柔道対抗大会が平成十五年五月三十一日六月一日に堺市金岡公園体育館に於いて盛大に開催され無事終了した。

静原氏競技役員警備委員として職務を果たす。

平成十八年全国高等学校総合体育大会(インターハイ)が近畿中心で開催される。

柔道競技は平成十八年八月八日(八月十二日)の期間中堺市金岡公園体育館で開催されます。全国の柔道選手は礼節を重んじ、武道・柔道の精神「礼で始まって礼で終わる」精神を忘れず日

々の稽古に精進・努力し優勝を目指して下さい。結果は努力に尽きる。

一八八二年(明治十五年) 嘉納治五郎先生が取り組み。一九五二年国際柔道連盟が発足し。

一九六四年(昭和三十九年) 第十八回東京オリンピックに柔道競技が正式に取り入れられる。

柔道の特徴は、柔道着を着けた二人が畳の上で組み合い、投げ技・固め技をもちいて勝敗を競う競技である。

日本講道館柔道九段 徳三寶先生は明治二十年 奄美大島亀津の旧家

父徳三和豊の長男として兼久に生まれ、亀津尋常高等小学校

鹿児島県立第二中学校を卒業し東京高等師範学校に学ぶ。講道館に入門四十余年、刻苦精勵、柔道の奥技を極め、その神技天下にひびき、高名を四海にとどろかせるに至る。講道館師範として多くの門下生を育成・青少年健全育成にご尽力され、その功績はまことに偉大なものがある。

昭和二十年三月十日、大東亜戦下東京大空襲に会い急逝されたのである。

徳三寶先生(五十九歳他界)

昭和三十九年九月東京オリンピックの檜舞台において、日本代表 神永氏(五段) が、オランダの雄 ヘーシングに敗れて、柔道史上はじめて王者の座を外国人に奪われた瞬間、テレビの前でこの試合を見守っていた柔道愛好者たちの中に「全盛期の徳三寶ありしなば」と切歯扼腕した人も多かった。

嘉納治五郎先生に始まる我が国の柔

道は、昭和の時代にいたってますます発展を遂げたが、この嘉納先生の薫陶を受けた大正末期から現在までの有名柔道家熊本出身の牛島辰熊氏、木村正彦氏、鹿児島出身吉松義彦氏。奄美大島徳之島出身徳三寶氏。現在の熊本出身山下泰裕先生(東海大学教授)である。

現代の柔道家は往時とちがいが、身長・体重とも優り、科学的要素を取り入れた練習法を活用しているのも、その実力も確かに往時をしのぐものがある。

しかし、明治・大正時代の先人たちの誠実な人柄・人格・人間形成・ひたむきな猛練習による心身の鍛錬「健全な精神は健全な肉体に宿る」こそは、柔道本来の理念に沿うものと確信する。現在において先人たちの柔道精神を学ぶべきところがあると思う。

徳三寶先生は柔道に対して鉄人のような信念を持った人で礼節を重んじ、柔道精神をまっとうした人物である。

聖徳太子と

近江国十三仏

畑 忠 蔵

十三仏と云っている、浄土信仰があります。昔から地方によって、風習が違って、故人への追善供養の法要をするのに、初七日とか三周忌など、定め

られた日や年に周忌をします。十三仏信仰は、その定められた忌日ごとに、初七日から三十三回忌までの十三回にそれぞれの仏菩薩を当てそれらの、仏菩薩の功德によって死者への追善供養するといふもので十三回の周忌する。それぞれの本尊によって故人の成仏を願う信仰であり、聖徳太子は靈地を求めて、近江の国へ来て、この山の麓で、野や山の自然の岩石を一つの壁面として仏像を刻むということは自然の岩であるから、永久にその仏像を他へ移動することが出来ないことであり、そこ

へ仏像を刻もうとする時にその場所が周辺の景色もその岩も、仏教的なおごそかな雰囲気漂わせている聖地であるといふことでなければならぬ。見るからには清浄な場所に、それ相当の岩が露出していたからこそ、そこへ仏像を刻まれ祀られることになり、箕作山の南端兜岩の下に巨大な岩が露出しその巨岩に、推古天皇元年(五九三)聖徳太子が瓦尾寺に巡幸の際、此の地を靈山なると感応され、麓で齋戒沐浴三礼をなし爪にて十三体の仏像を御刻みになった。その群像磨崖仏を本尊とする。立派な十三仏堂が建てられてあり、籠り堂も建ててあり毎年四月には千日会が行われている。この季節は、つつじ、春らん、椿の花が咲き、仕事から解放され自由に石畳で花見ができ、頂上からは、八日市、蒲生野、老蘇の森、観音正寺の展望と農地が大きく碁盤の目の様に整地され、緑に囲まれた山の中腹では野鳥がさえずり、そ

れぞれの鳥が活発に飛び交っているのが見える。大空を我が物顔にゆうゆうと滑空する。天性とはいえず鳥が翼を巧みにあやつる飛行技術にはいつも驚嘆してしまふ。安土町内野近江国岩戸山に十三体の仏像を爪で刻まれた聖徳太子の仏像が十三仏信仰として千日会が行われ、推古天皇の摂政と十七条の憲法が平成時代にも歴史が蘇えっている。

「冬のソナタ」 ロケ地廻りとソウル

昭和三十六年 商学科卒
岡島 勇

此度 平成十六年度十一月二十三日(二十五日)の三日間、宅地建物取引業の兵庫県川西支部所属に依るソウル懇親旅行に代る、「冬のソナタ」ロケ地を巡る旅、春川・ソウル三日間の一行四十名の団体旅行となり、阪急交通社、トラピックスの企画に参加致しました。

韓国でも釜山及済州島は併せてゴルフ旅行で団体とご一緒させて戴いたことがありますが、今回ソウルへは、初めての事でもありソウルの社会、文化、歴史を知る上でもあり又昨今韓国ドラマ「冬のソナタ」のヒットで日本人観光客が撮影シンの韓国江原道の地域おこしに絶大な効果をもたらした農産物産量も前年に比べて三十三%も押し上げ又関西空港からのチャーター便就航に合わせて江原道の市民も関西観光に

訪れた。

今後、市民同士の相互交流が広がるきっかけも予感させる。

第一日目は十一月二十三日AM9:30JL日本航空便に同乗して、仁川国際空港にAMI150に到着致しマルシャンの事務所入口からドラマ上の母校「ソウル中央高等学校前」(約二十分) 大学路散策からロッテ免税店(約五十分) 一路プラザホテル→夕食は海鮮鍋を食べました。

第二日目AM7:30頃出発、一路春川(チュンチョン)へ約三時間*春川明洞通り散策*孔之川の白い垣根道*キャンピングに行くために集まった春川駅*遅刻した時飛び越えた学校の塀*主人公(男性)の家の前。昼食は春川名物料理「春川鶏カルビ」とチャーハン、南怡島行き船乗り場より*旅覧船(約十分)にて主人公が初デートをした南怡島(ナミソム)へ。*メタセコイア街道散策*恋歌カフェ*ベンチ見学二十分ほど自由散策*ロッテワールド免税店(約五十分)に案内後、ソウルのホテルオリンピア、夕食はカルビ焼肉、夕食後自由参加に依りPM18:30よりソウルタワー見学にも参加致しました。ソウルの中心にそびえる南山ノ山頂に建てられたソウルの代表的な建物で海拔二百五十メートルに高さ二百五十メートル、ソウルタワーは回転レストラン、展望台、地球村民俗博物館などがある。又ソウルタワーからはソウルの夜景が一望でき、まるで飛行

機の窓からながめている様です。韓国の人口は約一、二〇〇万人(二〇〇二年統計)で韓国に全人口の約四分の一がソウルに住んでいる。又ソウルに滞在している外国人は七万人で、これはソウル人口の約〇・七%に該当する。

第三日目ホテルオリンピア出発AM6:30ソウル市内の早朝の交通ラッシュユアワーを避けるため早く出発することになり、特にソウル市内を見学する。ソウルの概観は、六〇〇年以上の歴史を誇る韓国の首都ソウル、一三九四年朝鮮王朝の始祖、太祖が漢陽つまり現在のソウルに都を移して以来、六世紀以上にわたった韓国の政治、経済、文化、交通の中心として繁栄してきた。行政は特別市は二十五の自治区で構成されている、ソウル市長と自治区庁長(区役所長)は四年任期の直接選挙で選出されている。

気候は日本と同じく温帯で鮮やかに移り変わる四季が旅人を魅了する。北部は大陸性気候の影響で寒暑の差が大きく、南部は海洋性の温暖な気候である。

故宮ソウルの都心にある朝鮮の王宮は韓国の伝統的な美江が漂うソウル最高の観光スポットである。朝鮮王朝(一三九二―一九一〇)の首都であるソウルの貴重な遺産である。王宮は朝鮮時代の優れた建築技術を窺わせる。その代表的なものとし景福宮、昌徳宮、徳壽宮、昌慶宮、昌慶宮は皇太后のための宮殿として使用された。

宗廟と歩行者専用の橋でつながっている。漢江△ソウルのシンボルとなっている漢江はソウルの東から西へ流れている深さ二、六メートル、幅六五〇―一七五メートルで汝矣島と蚕室を往復する遊覧船です。漢江クルーズは人気のあるソウル観光コースとなっている。

青瓦台、景福宮の北側に位置し現政権ノム・ヒョン大統領官邸前の道路から厳重に警固された宮邸をバスの窓からながめ、街の中から漢江の水がゆうゆう今日も一日流れる風景を眺め、一路仁川国際空港高速道路を通り永宗島の湿地帯を理立して作られた仁川国際空港に到着した。ソウル発PM18:20JL日本航空便にて関西国際空港へPM20:20着、にて帰りました。

草の根交流も、チョン、ジェキル国立全北法学部教授は、「韓国に対する日本人の気持ちに家を例えれば、国や政治が玄関をたたいてもなかなか開けてくれなかったのに、ドラマは戸を開くどころか、台所まで入り奥さんの心を動かした。」ペ・ヨンジュン。ジョンサンの力はすごい。今年には日韓国交正常化四十周年にあたり、民間レベルの理解も深まって愛知万博などをきっかけに益々交流が盛んになることを祈ります。今回のソウル訪問に依りソウル、文化、歴史、社会、経済、に對し初めての方々と共に、少し理解することが出来て幸せな観光旅行となりました。

「誇り高き校歌」

フタバ支部長
詩吟部OB

今井敏彦

校歌の作詞は大学創設者 初代総長 世耕弘一先生です。

学生時代部活動をした者にとっては一番身近な歌詩でしたが、最近特に気に入っています。半世紀以上前の詩ではありませんが、我が母校の今日の大躍進にピッタリ当てはまっているからです。私の印象で紹介します。

一番の「世界の平和祈りつつ」今年でちょうど戦後六十年、日本は他国に比べればまだまだ平和で繁栄。しかし、北朝鮮・イラク・アフガン、テロ他の難問が世界的には山積の状態ですが、全人類は平和と安定を願っています。



初代世耕弘一総長直筆「詩吟部の宝」段平(二代目)と共に

二番では「開けゆく代のさきがけとこころ三・四年前より近大から世界の初の研究がどんどん発信されています。さる七月五日天下のNHK「プロジェクトX」で不可能といわれたクロマグロの完全養殖に三十二年間の苦闘で近大が見事、執念で成功させたという全国ネットの番組。これこそ広大な海を耕す水産業へと発展し、さきがけ世耕弘一ビジョンの“初志”と“継続は力”は人間すべての成功へのキーポイントでしょう。

学び舎の思いで

橋本伊都支部

薬学第三期三十五年卒

平野一夫

校友、薬学部卒業の皆様こんにちは。私は昭和三十五年卒業三期生の平野です。

私たちの学んだ大学の学舎は木造で床は板張り歩けばギシギシと鳴りました。

薬学部の専用教室がなくよく理学部応用化学科の研究室を借りて化学実験を致しました。

二年のとき関西薬学生と言う連盟に

し、その先見性と実行力に驚かされ、昭和三十六年から現在まで運転されている私学での原子炉があることも。三番の「外国(とつくに)までも響けよと高き文化の足音を」世界初の研究開発成果が世界に広がり、海外においてはオリンピック他のスポーツや文化活動で大活躍。四十万OB・OG校友が「真理に愛に魂結ぶ」と建学理念の“愛される”“信頼される”“尊敬される”人を理念として、これからの若者育成にご尽力賜ればと願いつつ大好きなフリーズを口ずさんでいる今日この頃です。心にシンボルを：(昭和四十三年商学科卒)

加盟させてもらう手続きを京都薬大、大阪薬大、に出向き、その年から加盟させていただいた。そして各種のスポーツ、学術発表をさせていただきました。

当時の連盟加盟大学は神戸女薬、京都薬大、大阪薬大、岐阜薬大、阪大薬、そして近大薬の六大学が加盟しておりました。

三年になり、近大校友会より薬学部に対して他の学部との交流が必要だということ薬学部から校友会への出向執行委員の依頼が来しました。

青山部長と相談すると反対され、学問研究が大事更に君たちには国家試験があるのだから、心して勉強をして下さいと言われた。当時は社会情勢が不安定で安保闘争などで学生のデモが各

地で行われ、学部長が反対するのも当然のことでした。しかし、血の気の多い私は執行委員を担当して学生運動に参加致しました。

御堂筋ではデモ行進中に警備中のお世話にもなり、はずかしい思い出ばかりが残っております。

学部長の反対を押し切って学生運動に参加した私ですが卒業時には大変難しいのと合格者の少ない国の麻薬取り締まり官受験に合格。先輩のいない我が校は一流の製薬会社からみて、信頼関係が乏しく案内すらない状況でした。採用していただくには、可成の成績が無ければ採用していただけない就職難でした。

そのような中、私たち三期生は何とんでも開拓をしなければと一丸となりました。

今、思いますのに学問研究だけが人生ではない、いろんな人との出会い、そこで知り得た友情とか協調心等が私たちの今の社会では必要であることを学びました。

共生

梅友会大阪府支部

支部長 本山昌宏

母校の正門(西門)を入った左側に近畿大学創設者(初代総長兼理事長)

世耕弘一先生の銅像がある。私は訪れるたびに「こんなにちわわ!」とご挨拶をしている。

それを取り囲むように約八メートル四方の人工池がある。水のきれいな池には、チョウザメ(ベステル)五尾と色とりどりの鯉三十尾あまりが元気に回遊している。飼育担当の佐々やんの話ではチョウザメはかなり成長し、大きなお腹には世界三大珍味の《キヤビア》がいっぱい詰まっているというところである。

ところで、水深約五十センチの狭い池に海と川の魚が同居?実に不思議な光景である。佐々やん曰く。「サメは水底で餌を食べ、鯉は水面近くで餌を食べる。」飛行機の空域のように、僅か五十センチの水域をサメは下方、鯉は上方をそれぞれの生活圏として「共生」しているのである。

狭い地球の人類に、サメと鯉が何かを語りかけている……:ような気がしてならない。

卒後五十年の同窓会

四機会幹事代表 北 市 郎

もう五十年?この記念すべき節目に、四機会(近大四期・昭和三十年三月機械工学科卒業)の同窓会を、本年三月二十日道頓堀ホテルで開催できたことは、こんなに嬉しいことは有りま

せん。

開会に際して、始めに物故者のご冥福を祈り、黙祷を捧げました。

次に、嫌でも五十年前の心境にさせるムードで、金剛山は…の軽快で、若さと希望に満ちた、校歌合唱は、出席者一同たまらないですね。恩師齋藤渥、中部主信岡先生の心温まるご祝辞を頂戴、併せて大学の発展した、映写を小川喜弘先生の解説で拝見し、五十年の変遷に先生方、職員の皆々様の努力のほかならぬものと、多大なる拍手をお送りします。

私達も先生を囲んで宴会の花もあちら、こちらで咲き乱れ、学生時代の雰囲気を十分満悦いたしました。笑いと賑わい、喜びに絶えない宴会も、終宴を迎える頃、同窓生各自の近況報告を、お願い致しましたところ、卒業時就職難の折り近大魂で良く頑張り、努力を重ね、それぞれの頂点で活躍し、人生



西 門

を満喫したお話を殆んどの友よりお聞きして、この喜びを迎える事が出来ず感激致しました。

最後にこの活力を与えて頂いた学び舎近畿大学、教職員の皆様にも、厚くお礼申し上げ、益々のご発展をお祈りすると共に、同窓生一同のご健康とご多幸を願ひ同窓会の感想と致します。

母校愛それは教育の原点

昭和三十九年卒

商経学部・経済学科

東大阪市 義 永 忠 孝

(奄美大島出身)

ことわざ「教育とは「三つの「母」を大切にしない」とあります。

その一つは、人はこの世に生を受けて母乳を与えられ人生で最初のしつけをうけた「母親」を大切にしない。

その二つは、家庭生活から他人との集団生活を体験することにより多くの教師から知識を学び友達との人間関係を学んだ幼稚園・少等・中等・高等教育の「母校」を大切にしない。

その三つは、学校教育を終えて社会人となり縁あつて就職した職場でありまたその地域は第二のふるさとになる

かもしれないこの「ふるさと」をいい、また生まれ育った父母の住まう故郷をいい日本人として「母国」「祖国」を大切にしない。とあります。

近畿大学校友会は「母校愛」に育まれた同志の集いであります。

本学創設者世耕弘一総長が作詞された「近畿大学校歌」には「建学の精神」を高らかに詠い世界に響けよと友愛の絆がよまれております。

まもなく創立八十周年という「歴史と伝統」は母校愛を胸にふるさとで、また留学生として学んだ「外国(とつくに)」の留学生が世界各国のふるさとで活躍する校友の「活躍」がそれを証明するものであります。

私は大学卒業後、創設者世耕弘一総長。先代総長世耕政隆先生、現理事長世耕弘昭先生をはじめ多くの教職員のご指導を仰ぎ職員として四十年間奉職をさせて頂いたできました。心から感謝を申しあげる次第であります。

その間多くの校友との出会いがありまして交流がはじまり何十年とご交誼を賜っているのであります。「人材(財)」とは宝であることを痛感いたします。

知人である企業経営者は、「曰く金持ちにもなった 物持ちにもなった だけどもちになりたい」と述べております。

金や物だけで満足してはいけないう「人の心」がいかに大切であることかを教えられるのであります。人財の宝庫は教育の場にあります。



神戸支部、研修旅行 H16年10月2日～3日

〔小豆島研修旅行の 思い出〕

神戸支部 前支部長 商四十四卒 春 本 佳 和

昨年の十月二日、私達神戸支部の仲間を乗せた高速船は神戸港を向出した。穏やかな大阪湾を過ぎ、明石海峡大

よき教師であり よき友は永遠に尊いものであります。次代を担う若人は「近畿大学」の建学の精神を「校歌」「近大節」を声高らかに斉唱するうちに自ずと愛校心が芽生えるのではないのでしょうか。

橋の下をくぐり、淡路島が後ろになる。心配していた船酔いもなく左右の景色に見とれていると土庄港に着くのはとても早く感じた。ここは香川県小豆島。瀬戸内海最大の島です。壺井栄の小説「二十四の瞳」の舞台であり、オリブと醤油でも有名だ。

私達の普段の行いがよいのか晴天に恵まれた。

レンタカー五台に分乗し機動力を発揮しながら、有名な寒河溪では各自の願いを込めて谷間に向けて小皿投げ、醤油工場見学、楽しみにしていた映画村見学そしてオリブ公園…いくつの歳になっても子供の修学旅行のような感じでぞろぞろ歩く。四百年の歴史がある小豆島の醤油。しかしその原料の大豆を輸入に頼っている現状を思い、食糧自給問題を考えながら見学した。そういうえば小豆島素麺も同じだ。

さて、夕暮れともなると昼間楽しく見学したのとは雰囲気が変わり、秋の静寂がせまり、大袈裟に言えば異郷の絆を感じられた。

夕食の刺身は地元産のキレのある醤油でいただく。他支部もそうだろうが神戸支部も宴会やカラオケとなると芸達者な仲間が多い。九野さんの案内で二次会に繰り出し秋の夜長を楽しく過ごした。

神戸支部は毎年研修旅行を実施しています。寝食を共にすることは普段の会合では気づかない仲間の性格や個性を発見し、さらに楽しい。今年有加賀栗津温泉を予定していますので他支部

の方のご参加も大歓迎です。末筆ながら、母校の発展、皆様のご健勝をお祈りいたします。

〔笑説—神戸支部 幹事長の実態〕

神戸支部幹事長

藤 川 富士夫

寒い冬のある日、胸騒ぎがした。案の定、雲の上の人からお呼びがあり「藤川君、幹事長を引き受けてくれませんか？頼むわ」というお言葉。ここから僕の今年の喜劇や悲劇ははじまった。

神戸支部の歴代幹事長は、社会的にも立派に活躍され、尊敬できる人格者の先輩ばかりだった。それが「どうして社会不適合生活者の僕に？生活保護の推薦ならわかるがなあ！」僕にできることは宴会二次会の繁華街道案内とかカラオケの曲検索くらいである。幹事長役に重要な要素の、(多人数の前で失言なく司会する、和を保つ、関係先との折衝)などは全く自信がない。それでもお受けする結果になってしまった。僕が幹事長になることで山崎博司支部長がお気の毒に思えた。山崎支部長のお酒の量が増えるのではないかと心配します。

そして四月より実際に幹事長のお務めが始まった。活動してみても幹事長に一番大切なのはその能力よりも自由時間の豊富さであることがわかった。毎月の定例幹事会の案内準備として出席、会員様への連絡(相手の生活時間帯に合わせる必要がある)。その他予期せぬ出来事などいつでも活動できる時間余裕が絶対条件と感じた。なんか自分が選任されたのが解る気がする。努力するもだんだん疲れてくる。疲れの内容は気疲れである。お相手が自分より先輩が殆どの為、言葉遣いや丁寧な文章、場所に合わせた服装を心がける。が、すぐに自由人の本性がでる。「あーあ あかん、近大様や仲間失礼なことしたらあかん、入魂！」と戒める。

そこで、この場をお借りして本部、他支部、そして神戸支部の皆様にお願ひしたいことがあります。「私、神戸支部の新米幹事長、藤川富士夫は近大を愛する心はありますが、組織社会での経験も浅く、自由奔放な生活で、毎日昼過ぎまで寝ている人間です、おまけに壊具合や脳ミソは会員の中で一番乏しく、失言やお付き合ひの悪い時があるかもわかりませんが、同じ失敗を二度しないよう努力しますので、これも不出来な校友の一人と思いつくか大目に見ていただきたく、ご理解の程よろしくお願ひもうしあげます」では、明日からまたがんばります。末筆ですが校友の皆様と近大の発展をお祈りいたします。

自由研究発表のクラブに 参加しています

梅友会 奈良県支部

平成十四年 澧法卒 池田 一四

自由な立場で、自分の関心事、得意項目について会員の前でスピーチ（約一時間）し、質疑応答し、相互研鑽するサークル「サタデークラブ」に所属しています。会場は奈良県女性センター、月一回第三土曜日開催、会員は約二十名でこれ以上増やす考えはありません。一日に二名がスピーチを担当、別の一名が司会を担当します。会員は定年退職者や現役会社員、元経営者など多様で、異業種交流会のような側面もあります。

円高・円安問題、環境保護と我々市民の行動・行政への働きかけ、平城京の歴史、東大寺二月堂のお水取の由来、中国経済の発展と日本との関係、中国文学、日本の古典文学、海外旅行見聞など……テーマはスピーチカーの自由です。一ヶ月に二テーマで約五年継続開催しています。相互に“雑学”として吸収、取捨選択しています。人前で話すのは苦手という方も、何回か経験して、今ではそんなそぶりはまったく見られずうまく話す方もいます。四十歳代後半から七十歳代前半まで年齢層も幅広く、お互いに切磋琢磨しながら発表に吸収に努めています。（私は六十

五歳）昼食時がまたスピーチの話で盛り上がり本当に充実した第三土曜日です。近大梅友会メンバーも二人参加しています。司会役がスピーチ役かで半年に一回は回ってきます。会場予約からすべてを経験します。

発表するにはそのための準備にずいぶん苦労します。人前で約一時間話すにはそれなりの準備が必要で、質疑応答も含めるとなかなか大変です。スピーチカーが答えられないことも一杯ありますが、お互いが意見を出し合い、助け合う場面もごく自然にできています。恐怖心を抱かずに自分を表現し、考え方を取捨選択して、自己啓発になります。

このサークルがいつまでも続くよう一員として頑張ろうと思っています。

奥入瀬のさざれ石

幹事

町田 隆 雄

連休前の四月二五、二六日秋田の角館、青森の弘前城趾の桜の名所を観光する旅行に行った。寒冷前線の影響を受けて、角館の桜の蕾も凍えているように固くなっていた。

翌日ホテルを出て十和田湖の遊覧船に乗って湖上巡りを楽しんだ。ウィークデーであるのと、さくらの開花が遅れているので、乗船場は、観光客も疎

らで閑散としていた。

続いて雪の未だ残る奥入瀬川、大小の滝、女性の盗賊が出て旅人を誘い込み油断させて、旅人を殺害し金品を奪ったというほこらの跡を観たり川原を散策した。川原には、五色のさざれ石が河原一杯に敷き詰められていた。手を河原に浸けると奥入瀬の水は冷たい。

私は、此の細石を須磨寺にあるお墓に持って帰り、お墓の前に敷き詰めてある細石に加えたら、今は、亡き父母、妻が、ご先祖様が喜んでくれそうな気がして、ビニールの袋に入れて六個程持ち帰り先祖代々の墓石の前に並べた。

その時は単純に深く考えずに持ち運んだが、今になると持ち帰った石の間は、当事者である小石は寂しい思いをしていないか、多分天然記念物である奥入瀬の石は、水芭蕉、苔、と同じく持ち帰るのは良くないことではないか？法的なことより石の気持ちだが、ご先祖の気持ちが気になる。

バスは、八甲田連峰を経由弘前に向ったが、アルペンルートさながらの雪の衝立の中を走るような景観は、神戸に居たら観ることの出来ない景観であった。弘前城趾の桜は、まだ堅い蕾が多かったが、秋田、青森の豪雪の面影には、ツアー一行は満足した。花見は、雪見に成った商店会の旅行である。

（校友会幹事 当時神戸市議会副議長 長浜崎為司夫人、女性秘書の二人がツアーに参加され、定員不足を免れたの

は、幸運であった。）

近況のお知らせ

二十六年大専卒

二十八年法学部二卒

常任幹事 木内 廣行

母校の益々の御隆盛を大慶に存じ上げます。

私も今年で傘寿を超えましたが、元気に社会保険労務士業を営んでおります。

思えば、拾余年に亘り母校の短期大学で労務管理論の教鞭をとり、卒業生にもお逢いすることが稀にありお話が出来て、とても楽しい人生をおくらせて頂いております。

又、長男も商経学部の卒業生で、その後故池上教授のご媒酌で孫が誕生する等と幸福です。

俳句の部

冬支度 整え半ば 妻は逝く

初雪と 思えぬ深き 杖の先

藻の花を 割って釣り船 糸垂れる

天高し 湯煙り登る 旅の宿

川柳の部

長寿法 問われて矢張り 酒と恋

改革と 唱える度に 路線変え

日本の 魂抜けた 終戦日

傘寿超え 今も居酒屋 梯子酒

法S六十四卒 商経H三卒

大 出 實

墨悲絲染、詩讚羔羊

ぼくはいとのそまるをかなしみ、し
はひつじをさんす

墨翟は糸を染めているところを見
て、人の心も悪に染まりやすいことを

漢詩四題

相談役

森 川 讓

新年書壇

春風七十又三年

改曆蓮峰曉色妍

私誓研鑽人不識

今朝詠志更加鞭

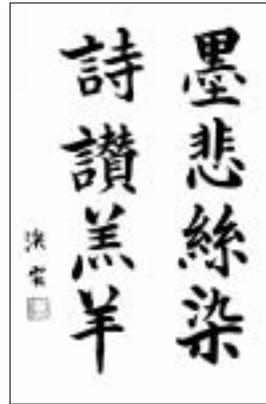
春風七十、又三年、

改曆の蓮峰曉色妍なり。

私に誓う研鑽人は不識ず、

今朝の詠志は更に鞭を加う。

うれえた。詩経は、周の文王の治世官
吏も質素な小羊の皮ごろもを着たと讚
えた。



梅雨待霽

新筍穿牆竹作林

陰雲未去又梅霖

祈晴娘在聞簷滴

默默連朝屋坐深

新筍牆を穿ち竹は林を作す、
陰雲未だ去らず又梅霖。

晴を祈る娘在り簷滴を聞き、
默默として連朝屋坐深し。

夏日海村

松林十里爽風多

大小磯岩青似螺

曝網白沙漁老在

重遊慣耳竹枝歌



KUDOS

松林十里爽風多し、

大小の磯岩青きこと螺に似たり。

網を曝す白沙漁老在り、

重ねて遊び耳に慣る竹枝の歌。

秋宵坐月

啾啾聽葦暫憑欄

惹起鄉愁憶舊歡

又老逢秋名月夕

碧天不絶雁聲寒

啾啾葦を聴いて暫く欄に憑る、
惹き起こす郷愁舊歡を憶う。

又老い秋に逢う明月の夕、

碧天絶えず雁聲寒し。

俳 句

岐阜県支部

安 田 廣 子

穂高連峰

焼岳も隠して深き夏の霧

雪渓や穂高連峰目の前に

透きとほる雪解の水や梓川

柳絮舞ふ穂高連峰見え隠れ

雲雀の果蕎麦の根元に雛鷓る

西瓜畑七つ実のつき賑やかに

色浅し雨待ちてをり額の花

風に揺る蕾爆ぜさう白桔梗

流灯の街騒抜けて来たりけり

砂浜の波の際まで荒布干す

俳 句

岐阜県支部

井 澤 豊

うしろより忍び来る茄子畑

盆休み這ひ始めたる嬰を見て

父の日は家族で出かけ父の墓

虫の音と川のせせらぎ吟行会

コスモス揺るるそれぞれ個性あり

薫風や人影の無き杉並木

学 園 近 況

附属病院

最新がん検査PET導入

高度先端医療の推進

関西の私立大学病院、大阪南部・和歌山の医療機関でも未入

本学医学部附属病院（塩崎均病院長・大阪狭山市）では、がんの早期発見に有効な最先端医療機器「PET（Positron Emission Tomography—陽電子放射断層撮影装置）」を導入、十月から検査・診断を始めた。

開始当初は、PET/CT（コンピュータ断層撮影装置との兼用）一台PET専用二台の計三台を導入、将来的には計五台に増設する予定。現在、本院がある大阪南部、また和歌山県にもPETを導入している医療機関はない。

附属病院では、平成十五年から特定機能病院としての役割を果たすため、「高度先端総合医療センター構想」を計画。その一環としてPET導入を決めた。PETはがんの早期発見・早期治療に有効で発見精度が高く、二十一世紀における最先端医療の画像診断方法として注目されており、今後のがん診断・治療に不可欠の検査になると言

われている。

塩崎病院長は「PETの導入で、がんの早期発見が飛躍的にアップし、治療率を高められる。本院の『地域医療連携室』を活用した地域の医療機関との病診、病病連携を密にしなが



近畿大学高度先端総合医療センター（PET診断部門）

大阪府南部・泉北ニュータウンの人口一〇〇万人エリア、さらに和歌山県などの地域医療へ貢献したい」と話す。さらに、「総合大学として学際的な研究・教育の展開を図るため、薬学部や原子力研究所、本学堺病院（大阪府堺市）および奈良病院（奈良県生駒市）との連携による臨床教育・研究・診療を推進。現在PET診断に用いられている薬剤—FDG（ブドウ糖と放射性同位元素を結合させた薬剤）以外の新しい



PET

PET薬剤（コリン、メチオニン、アミノ酸など）の研究を進め、がんの診断のみならず脳や心臓などの診断にも応用できるような新たな道も開けられ」としている。

大阪市内を中心にPET検査専門の施設ができていくが、附属病院では治療と一貫した検査が行えることに利点がある。早期発見されれば、治療率は格段に上がると言われており、企業の健康保険組合がPET検査の受診費の負担等、奨励をしているところも出てきており、医療費への抑制につながるという見方も強くなっていく傾向にある。

■PET（Positron Emission Tomography: 陽電子放射断層撮影装置）

がん細胞が正常細胞と比較して、多くのブドウ糖を細胞内に取り込む性質があることに注目し、ブドウ糖がより多く集まるところが全身のどこにあるかをPETカメラで撮影・画像化、がんを発見する検査。1cm以下のがんを発見するには、現在PETがもっとも有効と言われている。

PET検査は、ブドウ糖と放射性同位元素を結合させた薬剤（FDG）を静脈注射し、薬剤が全身に代謝される間、約一時間安静にし、その後、PETカメラで全身を約二、三十分撮影する。薬剤の分布からがんの位置や大きさ、進行具合などがわかる。検査時間は受付から終了まで約二時間半。薬剤は施設内のサイクロトロンで合成、製造する。

格付投資情報センター (R & I) から 〈A A-〉を取得

【新規格付け】 二〇〇五年六月二十日
近畿大学
発行体格付け・A A 二格付けの方向
性・安定的

【格付け理由】
西日本で最大規模の私立大学を有する学校法人。中核をなす近畿大学のほか、幼稚園から高等学校までの各校、研究所や実験場などの附属施設に加え、三病院を運営している。大学は本部キャンパスを置く大阪府を中心に六つのキャンパスを構え、十一学部四十一学科十一研究科と法科大学院、通信教育部を持つ。大学院を合わせた学生数は約三万一千人にのぼる。

大学設置時から総合大学を目指して積極投資を展開したため、一九九二年度末時点で総負債比率が四十%に達するなど財務の悪化が進んだ。一九九九年に世耕弘昭氏が理事長に就任し方針を転換、有利子負債を早期に返済するとともに、学部・附属校単位の財政的独立を求めた。一連の取り組みにより、二〇〇三年度までの五年間で内部保留資産を四〇〇億円積み増すなど財政構成は急速に改善している。足元の状況は他の法人と比較して良好とはいえないが、財政計画通りに推移すれば中期的に財務体質の強化を見込める。もともと収入の大半を占める学納金収入および医療収入の伸びは鈍化しており、良好な収支を維持するには各種経費の抑制が不可欠である。

大学附属の研究所は、二年連続で文部科学省が二十一世紀COEプログラムに採択するなど成果を挙げている。入学志願者は一九九三年度をピークに減少傾向にあるが、本部キャンパスの立地の良さや入試戦略の工夫により、二〇〇五年度入試の減少幅は競合校に比べて小幅にとどまった。ただし、全国でもトップクラスの入学定員数を長期的に満たしていくには、附属各校との連携強化や附属施設の活用が課題となる。

【格付け対象】
発行者・学校法人近畿大学
名称・発行体格付け
格付け・A A - (新規)
格付けの方向性・安定的

平成十六年度卒業式 七、七六七人新校友、 力強く巣立つ

平成十六年度の卒業式が三月十九日、東大阪市の本学記念会館で行われ、大学本部の五学部と農学部（奈良市）、医学部（大阪狭山市）、短期大学部、通信教育部の六、〇二七人に卒業証書が授与された。生物理工学部（山本和夫学部長、和歌山県打田町）では三月十七日（卒業生四二〇人）、工学部（椿原啓学部長、広島県東広島市）では十四日（卒業生四八三人）、産業理工学部（小野正行学部長、福岡県飯塚市）では十五日（卒業生四一七人）に、九州短期大学（寺西昭男学長、福岡県



平成16年度 卒業式 (大学本部)

飯塚市)では六日(卒業生一四七七人)に、工業高等専門学校(神戸稔校長、三重県熊野市)では五日(卒業生一三二人)に、看護専門学校(伊藤浩行校長、大阪狭山市)では一日(卒業生一四一人)に、それぞれ卒業式が挙行された。

大学本部の卒業式は、松浦祥子さんによる君が代独唱で開式。畑博行学長から卒業証書・学位記が各総代に手渡された後、学長賞の授与、学部長賞の総代には荒巻裕・文芸学部長から賞状が贈られた。

体育賞には昨年の学生横綱で大相撲・北の湖部屋から三月場所デビューを果たした体育会相撲部の吐合明文さん(商経学部)らが選ばれ、着物姿の吐合さんが総代として賞を受け取った。また、聴覚障害を乗り越え、アメリカカントリーボール部で活躍した西村隆幸さん(商経学部)に特別奨励賞が贈られた。

畑学長による式辞の後、卒業生代表の医学部・児玉彩さんが謝辞で「かけがえない友人たちと出会い、多くのことを経験した。困難な状況に負けず、夢や希望をかなえ、また人に与えられるようがんばっていきたい」と力強く語った。

学園関係の卒業式・修了式は、一月十九日の附属和歌山高校(室紀男校長、和歌山市)から始まり、三月二十四日の和歌山中学校(同)まで、各短大、附属学校、幼稚園で行われ、新たな道へ進んだ。

東大阪市教育委員会

と協定締結

人的・知的交流具体化

東大阪市教育委員会と本学は、人的・知的交流を通じた連携協力を一層具体化するため五月十二日、同市役所内で連携協力に関する協定を締結。双方関係者が見守る中、西岡晃教育長と畑博行学長が協定書にサインした。本学と教育委員会との連携の協定は、二年前の大阪府に続き二件目。

連携協力の主な内容は、(1)本学による東大阪市立学校園の園児・児童・生徒への多様な学びの機会の提供、(2)学生、院生に対する教育現場を体験する



握手する西岡晃教育長(左)と畑博行学長(右)

機会の提供、(3)学生、院生による教育活動や地域の活動への支援推進、(4)本学と東大阪市立学校園それぞれの教職員相互の交流、研修の推進、など。各種事業としては、多様な学びの機会として公開講座やセミナーの開催、大学教員による出張講義など、双方の教職員の交流、研修としてパソコン講座や医学関係講座などを計画。

また、学生、院生が教育現場を体験する「スクールインターナシップ」でも合意に達し、市立学校園への派遣を受け入れていただくことになった。

この日、協定調印前に双方からあいさつがあり、本学からは畑学長が「本

学は今年で創立八十周年を迎え、地域貢献など大学の役割をあらためて考えていきたいと思っている。広範なレベルでの連携が大切であり、今後とも密接な関係を保っていきたい」と決意披露。

続いて、西岡教育長は「東大阪は本年四月一日から中核市となった。一層レベルの高い市へ、安全、安心の教育、学力向上へ様々な施策を実施してきている。少子化などの社会の変化の中で、子どもたちの将来のために、交流、連携という大変ありがたい申し出だ。今後とも地域再生のためにも様々な形で協力をいただきたい」と語った。

ロースクールで

無料法律相談

本学法科大学院では一般市民や中小企業の皆様の相談をお受けする「無料法律相談」を九月二十八日から開設している。法曹を目指す大学院学生の「リーガルクリニック」の授業プログラムとして実施するもので、弁護士としても活躍する実務家教員と学生が民事関係全般にわたり相談を受け付けている。

この法律相談は、地域社会への法的サービスとともに、学生の実務基礎教育の一環でもあり、同席する実務家教員(弁護士)の指導のもと、学生が主

体的に発問をするなど相談に参加する形で実施。

取り扱うのは、民事全般にわたる法律問題で、具体的には売買、賃貸借、借地借家、離婚、相続、扶養、交通事故、消費者問題、金融、保険、企業法務、労働関係などとなっている。相談に対する回答は口頭だけで行うことにしており、刑事事件や教育上好ましくない相談は受け付けていない。

相談日は、来年一月二十五日までのほぼ毎週水曜日、夕方五時から六時からのそれぞれ一時間を予定。

相談申込みは、相談希望日前日までの電話による完全予約制となっており、土、日、祝日を除く平日午前九時から午後五時まで受け付けている。予約時には、学生の準備のため、相談内

容の概略をお聞きすることになっている。

予約や問合せは次の係まで。

東大阪市小若江三十四ー一

近畿大学法科大学院事務局

リーガルクリニック係

電話 (〇六) 六七二一―三三三二

<http://www.kindai.ac.jp>

二十六年目の 公開講座

毎年恒例の近畿大学主催第二十六回公開講座が今年も開催されている。今回のテーマは「リスク社会を生き抜くために―安全と豊かさを取り戻す道―」で、六月十九日に大学本部キャンパスで行われた石田榮仁郎法学部長、高市早苗経済学部教授による講義を皮切りに、北海道や新宮、九州まで全国各地で十一回開講。十月二十二日、二十九日には大学本部キャンパスで開講する。

この公開講座は、大学の研究成果を広く一般に公開することを目的に開講しており、最新の研究成果を知る又とない機会となっている。

支部に出前講座も

公開講座委員会では、校友会支部からのご希望があれば、開講も検討している。詳しくは校友会本部事務局を通じてご相談を。

近畿大学学生戦績 (順不同)

【体育会合気道部】

年月日	大会名	順位	氏名
16.10.24	第35回全日本学生合気道競技大会 <乱取り>男子団体戦	準優勝	荒川 雄磨 辻 直利 平松 孝正 池田 和輝 澤田 幸輝
	<乱取り>女子団体戦	3位	開友 美香 森友 香子
	<演武>男子対徒手	3位	島崎 加奈子 池田 和正 山田 啓允

【体育会空手道部】

年月日	大会名	順位	氏名
17. 4.29	第39回関西学生空手道個人選手権大会 男子個人組手-68kg級	1位	久下 敦司
	男子個人組手-73kg級	1位	青柳 隼康
	男子個人組手+73kg級	1位	井 洵智
	女子個人組手-60kg級	1位	片山 晴香
	女子個人組手+60kg級	1位	阪本 静佳
17. 6. 5	第43回西日本大学空手道選手権大会 男子団体組手	1位	男子 団体
	女子団体組手	3位	女子 団体
17. 7. 3	第49回全日本学生空手道選手権大会並びに東西対抗戦 男子個人組手	1位	井 洵智
		3位	青柳 隼康
		3位	伊原 圭太
	女子個人組手	2位	片山 晴香

【体育会弓道部】

年月日	大会名	順位	氏名
17. 1.16	第55回三十三間堂大の全国大会 遠の個人	3位	安原 奈実子
17. 5. 1	第54回住吉大社全国遠の弓道大会 遠の個人	2位	岡部 良祐
17. 5. 5	百射会 近の個人	優勝	岸本 有弘
17. 5. 5	四十射会 近の個人	優勝	堀井 佳菜
17. 5.14	第38回大阪府学生弓道選手権大会 近の団体	優勝	男子 団体
17. 5.21~ 5.22	第49回関西学生弓道選手権大会 近の団体	優勝	男子 団体
	近の個人	優勝	西多 優介
17. 6.26	第17回全国大学弓道選抜大会 近の団体	優勝	女子 団体
17. 8. 4~ 8. 7	第53回全日本学生弓道選手権大会 近の個人	2位	辻 研洋
17. 8. 4~ 8. 7	第36回全日本学生弓道遠の選手権大会 遠の個人	優勝	春田 絵理子

【体育会硬式庭球部】

年月日	大 会 名	順位	氏 名
16. 9. 2～ 9.10	関西学生テニス選手権大会 シングルス	優勝	末 田 英
16. 9.21～10. 3	関西大学対抗テニスリーグ戦 一部リーグ	優勝	団 体
16.10.13～10.17	全日本大学テニス王座決定試合 団体	3位	団 体
16.11.15～11.21	全日本テニス選手権大会 シングルス	準優勝	クオン・ヒョンテ
16.11.17～11.23	関西学生新進テニストーナメント シングルス	優勝	森 慎 司
16.12. 7～12.11	全日本学生室内テニス選手権大会 シングルス ダブルス	準優勝 優勝	末 田 英 末 田 英 クオン・ヒョンテ

【体育会硬式野球部】

年月日	大 会 名	順位	氏 名
16.10.30～11. 1	関西学生野球連盟秋季新人戦	優勝	
17. 4. 2～ 5.24	関西学生野球連盟春季リーグ戦	優勝	
17. 6. 7～ 6.12	第54回全日本大学野球選手権大会	準優勝	

【体育会ゴルフ部】

年月日	大 会 名	順位	氏 名
16.11. 8～11. 9	関西学生女子会長杯	2位	辻 恵美子
16.11.31～12. 3	関西学生マッチプレー選手権	優勝	辻 恵美子
17. 4.18～ 4.20	関西学生男子連盟杯	2位	安 永 大 輝
17. 4.26	関西学生男子4月度月例杯	優勝	岡 本 祐 一

【体育会自動車部】

年月日	大 会 名	順位	氏 名
17. 5. 1	全関西学生ダートトライアル選手権大会 ダートトライアル男子団体	3位	芹 田 純 一 門 脇 直 福 島 隆 一
17. 8.20～ 8.21	全日本学生ジムカーナ選手権大会 ジムカーナ男子個人	3位	岩 田 周 士

【体育会柔道部】

年月日	大 会 名	順位	氏 名
16.10. 1～10. 3	全日本学生柔道優勝大会 男子-73kg級	3位	河 野 勇 人
16.10. 1～10. 3	全日本学生女子柔道優勝大会 女子-52kg級 女子+78kg級	2位 3位	大 崎 宏 美 上 野 那 央
16.12.18	世界学生女子柔道優勝大会 女子-52kg級	2位	大 崎 宏 美
17. 5.22	第13回関西学生女子柔道優勝大会 女子団体	1位	女 子 団 体
17. 6.24～ 6.26	第54回全日本学生柔道優勝大会 男子団体	3位	男 子 団 体
17. 7.30	ベトナム国際大会 女子+78kg級	3位	上 野 那 央

【体育会少林寺拳法部】

年月日	大 会 名	順位	氏 名
17. 6. 5	第43回関西学生大会少林寺拳法大会 運用法男子軽量級の部	1位	坂 根 寛 之
17. 6.26	2005年少林寺拳法大阪府民体育大会 運用法男子の部	1位	坂 根 寛 之 木 吉 哲 雄

【体育会水上競技部】

年月日	大 会 名	順位	氏 名
16. 9. 3～ 9. 5	第80回日本学生選手権水泳競技大会 100m自由形 男子	2位	奥 村 幸 大
	100m背泳ぎ 女子	3位	寺 川 綾
	200m背泳ぎ 女子	3位	寺 川 綾
17. 2.26～ 2.27	第46回日本短水路選手権勝村幾之介記念水泳競技大会 50m背泳ぎ 女子	3位	寺 川 綾
	100m背泳ぎ 女子	3位	寺 川 綾
17. 4.21～ 4.24	第81回日本選手権水泳競技大会競泳競技 100m背泳ぎ 女子	3位	寺 川 綾
	200m自由形 男子	1位	奥 村 幸 大
	200m背泳ぎ 女子	3位	寺 川 綾
	1,500m自由形 女子	3位	岩 井 佳 苗
17. 7.29～ 7.31	第79回関西学生選手権水泳競技大会 100m背泳ぎ 女子	1位	寺 川 綾
	100mバタフライ 男子	1位	藤 井 俊 祐
	100mバタフライ 女子	1位	佐々木 恵
	200m自由形 女子	1位	越 智 麻 土 香
	200m背泳ぎ 女子	1位	寺 川 綾
	200m個人メドレー 男子	1位	渡 辺 元 太
	400m自由形 女子	1位	藤 嶋 彩 香
	800m自由形 女子	1位	越 智 麻 土 香
	1,500m自由形 男子	1位	山 本 信 朗
	400mメドレーリレー 女子	1位	寺 川 綾
			徳 田 敦 子
			佐々木 恵
			藤 嶋 彩 香
	400mフリーリレー 女子	1位	藤 嶋 彩 香
		寺 川 綾	
		佐々木 恵	
		越 智 麻 土 香	
800mフリーリレー 男子	1位	川 口 教 哉	
		中 尾 達 也	
		渡 辺 元 太	
		茶 木 将 亘	
17. 8.12～ 8.17	第23回ユニバーシアード競技大会競泳競技 50m背泳ぎ	1位	寺 川 綾
	100m背泳ぎ	1位	寺 川 綾
	200m背泳ぎ	1位	寺 川 綾

【体育会競技スキー部】

年月日	大 会 名	順位	氏 名
17. 1. 7～ 1.13	第78回全日本学生スキー選手権大会 スペシャルジャンプ 10kmクラシカル 4人×10kmリレー	3位	佐藤 和也
		3位	吉田 岳
		2位	山下 直哉
			吉田 岳 石野 康人 一ノ瀬 祐貴
17. 3. 5～ 3.11	第75回全関西学生スキー選手権大会 スペシャルジャンプ 15kmクラシカル ジャイアントスロラーム コンバインド 4人×10kmリレー 総合	1位	佐藤 和也
		1位	吉田 岳
		1位	西澤 寛樹
		1位	中島 甫人
		1位	石野 康人 一ノ瀬 祐貴
		1位	佐藤 寿人 山下 直哉 山 総 合

【体育会フェンシング部】

年月日	大 会 名	順位	氏 名
16.10. 5～10.10	関西学生選手権大会 サーブル個人戦 サーブル団体戦 フルーレ団体戦 エペ団体戦	優勝	小野 隆義
		優勝	男子 団体
		優勝	男子 団体
		3位	男子 団体
17. 5. 6～ 5. 8	関西学生リーグ戦大会 サーブル団体戦	3位	男子 団体

【体育会ボクシング部】

年月日	大 会 名	順位	氏 名
17. 4.23～ 4.24 4.29～ 4.30	国体大阪府予選 ライトフライ級 ミドル級 ライト級 ライトウェルター級	1位	武市 瞬
		1位	宋 世訓
		1位	西浦 央司
		2位	國重 憲司
17.6.25～6.26,7.2	全日本選手権大阪府予選 ライトフライ級	1位	武市 瞬
17.7.2～7.3,7.9～7.10	国体愛知県予選 ライトフライ級	2位	早川 和宏
17. 7. 3～ 7. 4	国体京都府予選 バンタム級	2位	興島 武蔵
17. 7.23～ 7.24	国体愛媛県予選 ライト級 バンタム級 ウェルター級	1位	田中 雄一
		1位	高田 純次
		1位	井関 大樹
17. 8.19～ 8.21	国体近畿予選 ライトフライ級 ミドル級 バンタム級 ライト級	2位	武市 瞬
		3位	宋 世訓
		1位	興島 武蔵
		3位	西浦 央司
17. 5.15～ 6.12	近畿学生ボクシングリーグ戦	3位	団 体

【体育会相撲部】

年月日	大会名	順位	氏名
16. 9. 5	第29回西日本学生相撲個人体重別選手権大会 個人 85kg未満級 100kg未満級 115kg未満級 135kg未満級 135kg以上級 無差別級	3位 優勝 3位 3位 優勝 3位 3位 3位 優勝 優勝 準優勝 3位	黒川史浩 井上晋哉 本郷真一 野呂祐太郎 羽賀健輔 老月賢佑 長利和恭 三浦歓之 奥谷猛 吐合明文 増田龍二 鈴木悦朗
16. 9.12	第52回全国選抜大学・実業団相撲刈谷大会 個人	2位	奥谷猛
16.10. 3	第29回全国学生相撲個人体重別選手権大会 85kg未満級 100kg未満級 115kg未満級 無差別級	3位 準優勝 3位 3位 準優勝	黒川史浩 井上晋哉 野呂祐太郎 羽賀健輔 吐合明文
16.11. 6~11. 7	第82回全国学生相撲選手権大会 団体 個人	3位 優勝	団吐合明文
16.11.21	第53回全国大学選抜相撲高知大会 団体	2位	団体
17. 4.29	第29回全日本大学選抜相撲宇和島大会 個人	優勝	奥谷猛
17. 5. 8	第55回西日本学生相撲新人選手権大会 団体 個人	優勝 1位 2位 3位	団杉山大輔 青山木誠 村上昌宏 山中孔明
17. 5. 8	第65回西日本選抜学生相撲選手権大会 団体 個人	優勝 1位 2位	団奥谷猛 増田龍二
17. 5.22	第44回全国選抜大学・実業団対抗相撲和歌山大会 団体	3位	団体
17. 6. 5	第79回西日本学生相撲選手権大会 団体 個人	優勝 1位 2位 3位	団増田龍二 奥谷猛 中山祥雄 崎裕介
17. 7.17	第57回全日本大学選抜相撲七尾大会 団体 個人	3位 2位 3位	団奥谷猛 堀篤史
17. 8.16	第40回全日本選抜相撲十和田大会 個人	3位	奥谷猛

【体育会トライアスロン部】

年月日	大 会 名	順位	氏 名
16.10.16～10.17	2004日本学生スプリントトライアスロン選手権兼トライアスロン・チームタイムトライアル選手権大会 女子選手権	3 位	中 山 恵 梨 奈
17. 5.28～ 5.29	第19回潮来トライアスロン全国大会 一般女子総合 年代別女子	3 位	中 山 恵 梨 奈
		2 位	中 山 恵 梨 奈
17. 7.16～ 7.17	2005年第6回ひわさうみがめトライアスロン 女子個人総合 男子年代別	2 位	中 山 恵 梨 奈
		2 位	黒 田 一 幸
17. 7.30～ 7.31	第20回長良川国際トライアスロン大会日本学生トライアスロン選手権東海・北陸・近畿予選	優勝	中 山 恵 梨 奈

【体育会バスケットボール部】

年月日	大 会 名	順位	氏 名
16. 9. 4～10.24	関西学生バスケットボールリーグ戦	2 位	男 子 団 体
17. 4.30～ 5. 5	関西学生バスケットボール選手権大会	3 位	男 子 団 体

【体育会バレーボール部】

年月日	大 会 名	順位	氏 名
17. 6.23～ 6.26	平成17年度西日本バレーボール大学男子選手権大会	3 位	男 子 団 体

【体育会バドミントン部】

年月日	大 会 名	順位	氏 名
16. 8.29～ 9. 5	西日本学生バドミントン選手権大会 団体 シングルス ダブルス	1 位	男 子 団 体
		1 位	山 口 公 洋
		3 位	銭 谷 公 浩
		3 位	銭 谷 公 浩
			佐 海 健 太
16. 9. 7～ 9.15	関西秋季リーグ 団体	1 位	男 子 団 体
17.10. 7～10.14	全日本学生バドミントン選手権大会 団体 シングルス	3 位	男 子 団 体
		3 位	鈕 佳 平
17. 5.10～ 5.22	関西春季リーグ 団体	1 位	男 子 団 体
17. 6. 7～ 6.30	関西学生バドミントン選手権大会 シングルス ダブルス	1 位	庄 旭 明
		2 位	山 口 公 洋
		3 位	浦 窪 文 也
		1 位	大 滝 裕 紀
			山 口 公 洋
		2 位	佐 海 健 太
			梅 林 慎 太 郎
		3 位	喜 多 勝 人
	浦 窪 文 也		

【体育会フィギュアスケート部】

年月日	大 会 名	順位	氏 名
16.10. 3～10. 4	P・O・T近畿大会 選手権女子 A級男子 B級女子	1 位	島 津 結 衣
		1 位	内 藤 泰 宏
		1 位	木 田 恵 梨 子
16.11.26～11.27	関西学生大会 B級男子	1 位	団 体
17. 1. 3～ 1. 6	第76回日本学生氷上競技選手権大会 2部男子	2 位	団 体

【体育会洋弓部】

年月日	大 会 名	順位	氏 名
16. 8.15～ 8.21	アテネオリンピック 男子団体	8位	古 川 高 晴
16. 9.11～ 9.12	第1回つま恋カップアーチェリー大会 リカブ男子	1位	守 屋 龍 一
16. 9.14～ 9.16	第43回全日本学生アーチェリー個人選手権大会	1位	中 村 仁
		2位	古 川 高 晴
16. 9.17～ 9.18	第14回A・J・S・A・F-CAP 男子団体 女子団体	3位 3位	男 子 団 体 大 橋 裕 子 三 浦 美 樹
16.10.24	第42回関西学生アーチェリー新人戦	1位	五 反 田 裕 子
16.11. 5～11. 7	第46回全日本ターゲットアーチェリー選手権大会 リカブ男子	2位 3位	守 屋 龍 一 古 川 高 晴
16.12.12	第9回関西学生アーチェリーインドア選手権大会 男子 女子	1位 1位	菊 池 栄 樹 阿 太 地 和 美
17. 2.21～ 2.22	第5回全日本学生室内アーチェリー個人選手権大会	2位	阿 太 地 和 美
17. 2.24～ 2.27	2005年アジアグランプリバンコク大会 リカブ男子団体 リカブ男子	1位 2位	古 川 高 晴 古 川 高 晴
17. 3.19～ 3.20	第14回全国本室内アーチェリー選手権大会 リカブ女子	3位	柴 尾 佳 な え
17. 5. 8	男子第45回・女子第40回関西学生アーチェリーリーグ戦	1位 1位	男 子 団 体 女 子 団 体
17. 5.17～ 5.20	第6回韓国国際アーチェリー大会 リカブ男子団体 リカブ女子団体	1位 3位	守 屋 龍 一 古 川 高 晴 吉 丸 ま き 子
17. 5.28～ 5.29	第16回全日本学生アーチェリー西日本大会	1位	栗 栖 正 臣
17. 6.20～ 6.26	第43回世界ターゲット選手権大会 リカブ男子	2位	守 屋 龍 一
17. 6.29～ 6.30	第44回全日本学生アーチェリー男子王座決定戦	1位	男 子 団 体
17. 8.16～ 8.18	第45回関西学生アーチェリーターゲット選手権大会 男子個人 女子個人	1位 1位	古 川 高 晴 阿 太 地 和 美
17. 8.19	第45回関西学生アーチェリーターゲット選手権大会 女子団体	1位	阿 太 地 和 美

【体育会陸上競技部】

年月日	大 会 名	順位	氏 名
16. 9.10～ 9.12	第57回西日本学生対校選手権大会 男子100m	2位	青 海 知 伸
	男子200m	3位	青 海 知 伸
	男子4×400mR	3位	北 田 雄 夫 上 北 恵 士 岸 田 博 樹 吉 仲 貴 大
16. 5.19～ 5.22	第82回関西学生陸上競技対校選手権大会 男子走幅跳	1位	前 西 祐 介
	男子200m	1位	堤 雄 一
	男子4×400mR	1位	北 田 雄 夫 上 北 恵 士 高 田 真 吾 岸 田 博 樹

【体育会ヨット部】

年月日	大 会 名	順位	氏 名
16. 9.22～ 9.27	全日本学生女子ヨット選手権大会 スナイブ級	優勝	正 田 菜穂子 亀 口 佳 奈 北 野 永里子
16.10. 7～10.11	関西学生ヨット選手権大会 スナイブ級	優勝	団 体
16.11.26～11.28	関西学生ヨット秋季選手権大会 スナイブ級	優勝	堀 賢 治 亀 口 佳 奈
17. 2.11～ 2.13	2005年ミッドウインター レーザーラジアル級	3 位	正 田 菜穂子
17. 5. 6～ 5. 8	関西学生ヨット春季選手権大会 470級 スナイブ級	優勝	加 藤 智 也 水 口 翔 太
		優勝	堀 賢 治 亀 口 佳 奈
17. 5.20～ 5.22	2005年レーザ全日本レディース選手権大会 レーザーラジアル級	準優勝	正 田 菜穂子
17. 5.27～ 5.29	470級ジュニアワールド選手権大会西日本地区 470級	準優勝	加 藤 智 也 水 口 翔 太
17. 6.24～ 6.26	関西学生ヨット夏期選手権大会 470級 スナイブ級	優勝	相 原 準 平 杉 村 穂 高
		優勝	森 谷 幸 雄 北 野 永里子
		優勝	団 体 森 谷 幸 雄 北 野 永里子
17. 9.12～ 9.14	関西学生ヨット個人選手権大会 スナイブ級	優勝	森 谷 幸 雄 北 野 永里子

【体育会ローラースケート部】

年月日	大 会 名	順位	氏 名
16. 9.30～10. 4	第46回全日本学生ローラースケート選手権大会 総合 スピード総合 300mタイムレース 1,500m 1.600mリレー	1 位	男 子 団 体
		1 位	男 子 団 体
		1 位	宜 保 正 浩 石 井 雄 輔
		3 位	北 川 陽 一
		2 位	宜 保 正 浩 石 井 雄 輔
			北 川 陽 一
			三 木 正 喜

【体育会卓球部】

年月日	大 会 名	順位	氏 名
17. 4.22～ 4.24	第47回関西学生卓球新人戦 男子シングルス	1 位	中 谷 昌 平
17. 4.29～ 5. 8	平成17年度関西学生春季リーグ戦 男子団体1部	1 位	
17. 6. 3～ 6. 5	平成17年度関西学生卓球選手権大会 男子シングルス	1 位	堀 田 勝 正

【体育会レスリング部】

年月日	大 会 名	順位	氏 名
17. 6.23～ 6.26	2005年度西日本学生レスリング選手権 フリースタイル 84kg級 グレコローマンスタイル 55kg級 フリースタイル 96kg級 フリースタイル 55kg級	1 位	青 木 良 三
		2 位	桂 大 樹
		3 位	黒 田 好 治
		3 位	長 尾 武 沙 士

【文化会釣部釣友会】

年月日	大 会 名	順位	氏 名
17. 6.26	全日本学生釣魚連盟関西支部春季投げ釣り大会	2 位	曾我部 紀 行

【文化会英語研究会】

年月日	大 会 名	順位	氏 名
16.10.30~10.31	秋Kansai Intercollegiate Debate League	3 位	松 岡 辰 徳 小 栗 栄 行
16.11.20~11.21	KESSA FOR Freshman	3 位	新 免 孝 章
16.12.11	KID	3 位	森 洋 仁 木 村 陽 子 森 洋 仁
17. 3.12~ 3.14	KESSA CAMP	1 位	黒 田 悠 和
17. 3.26~ 3.27	NAFA教育リーグ	3 位	新 免 孝 章
17. 7. 2~ 7. 3	Debate League for Inexperienced	2 位	森 洋 仁 新 免 孝 章
		2 位	新 免 孝 章

【吹奏楽部】

年月日	大 会 名	順位	氏 名
17. 8.21	全日本吹奏楽コンクール関西大会 大学の部	1 位	

【薬学部バドミントン部】

年月日	大 会 名	順位	氏 名
17. 8.12~ 8.16	第59回関西薬学生バドミントン大会 男子新人戦	1 位	森 住 誠
	女子新人戦	3 位	三 宅 彩 世

【薬学部剣道部】

年月日	大 会 名	順位	氏 名
17. 8. 7	第24回全日本薬学生剣道大会 男子個人戦	優勝	益 田 佑 輔
17. 8.13	第59回関西薬学生連盟剣道大会 男子団体戦	準優勝	益 田 佑 輔 廣 瀬 健 史 森 田 裕 介 大 久 保 寿 政 阪 田 慶 太 岡 本 将 揮
	女子団体戦	3 位	中 村 春 菜 柿 原 な み 子 鬼 頭 祥 子

【薬学部ソフトテニス部】

年月日	大 会 名	順位	氏 名
17. 8.22~ 8.24	第38回全日本薬学生ソフトテニス大会 女子個人戦	3 位	坂 口 雅 未 守 行 和 美

【理工学部ゴルフ部】

年月日	大 会 名	順位	氏 名
17. 5.16	KGA春季連盟戦	1 位	石 川 慎 一 郎

【理工学部サッカー部五門会】

年月日	大 会 名	順位	氏 名
16.10. ~12	関西同好会リーグ(2部)	1 位	

【理工会学生会部会自動車技術研究会】

年月日	大 会 名	順位	氏 名
17. 9. 4~ 9. 6	第2回全日本学生フォーミュラ大会-ものづくり・デザインコンペティション- 自動車技術会スポーツマンシップ賞 関西の参加大学内	1 位 1 位	

【理工会学生会部会ロボット研究会】

年月日	大 会 名	順位	氏 名
17. 8.20~ 8.21	第12回かわさきロボット競技大会 ノトルロボット	BEST16 BEST32	増 田 裕 一 山 本 真 意

【軟式野球同好会レッドパイレーツ】

年月日	大 会 名	順位	氏 名
17. 4. 1~ 6.21	全日本大学軟式野球連盟西部大学軟式野球連盟春季リーグ II 部リーグ	優勝	

【ラグビー同好会ドルフィンズ】

年月日	大 会 名	順位	氏 名
16.10. 3~11.21	関西学生クラブラグビー選手権	3 位	

有志の名刺一覽

校友会会長賞

著しい活躍の新卒の人々へ

校友会では平成十六年度卒業式に当たり今春、課外活動及び学生会活動などに貢献してきた本学学生を対象として「校友会会長賞」を授与いたしました。表彰された方々は、次のとおりです。

(敬称略)
 島崎加奈子、山口綾野、YIELDIR I M FATHI(以上法学部、鈴木啓太、小川和宏(以上商経学部)、深江美妃、田村陽一、高橋昌子、池内暢行(以上理工学部)、栢木歩美、小川藍
 (以上薬学部)、板野久美子(以上文芸学部)、北上拓哉、皆川周(以上大学院)、荒木貴志、岡部芳和(以上短期大学部)、開裕次、田中賢男(以上通信教育部)、加藤寛章(以上医学部)、村山和寛、竹内大歩(以上農学部)、小田基浩、杉本充広(以上生物理工学部)、梅津一樹(以上工学部)、上野真史、尾崎奈月(以上工業高等専門学校、野田真理子、藤原衣里(以上附属看護専門学校)、佐藤治幸(以上九州短期大学)

アイテック株式会社

近畿大学校友会アイテック支部
 官公庁プラント施設のトータルメンテナンス

顧問 植野 啓治郎
 支部長 曾和 智英

〒530-0001 本社・事務局
 大阪市北区梅田三丁目三番十号
 梅田ダイビル六〇二号

株式会社 朝日工業社

取締役社長 高須 康有

株式会社いこいの森
SUNバード薬局

社長 **中出 貞男**
(近 34 薬)

(近畿大学校友会相談役)

〒 558-0011 大阪府住吉区菊田五丁目十五番十三
TEL (〇六) 六六九六一〇九九九

近畿大学校友会

香芝支部

香芝市市議会議員
議会運営委員会委員長

中川 廣美

議事事務局 奈良県香芝市本町二丁目三九七
〒 639-0244
TEL (〇七四) 七六一二〇〇一
FAX (〇七四) 七七一八二二二

祝 校友四十万人突破

真珠のように輝く金字塔
石原真珠普及会

代表 **石原 宗次郎**

(昭三十六年 商経通卒)
(昭四十年 法学通卒)

〒 517-0703 三重県志摩市志摩町和具二〇二七
TEL FAX (〇五九) 八五一一〇三四

近畿大学校友会顧問
近畿大学校友会香芝支部長

西川 泰弘

〒 639-0243 奈良県香芝市藤山一丁目十二番六
TEL (〇七四) 七六一七〇三三
〒 720-0834 広島県福山市明王台四丁目四十一番 G 十一番六
TEL (〇八四) 九五二二二七〇七

香芝市市議会議員
総務文教委員会副委員長

細井 宏純

議事事務局 奈良県香芝市本町二丁目三九七
〒 639-0244
TEL (〇七四) 七六一二〇〇一
FAX (〇七四) 七七一八二二二

近畿大学校友会常任幹事
(株)フタバ(株)イトー
ラジエック(株)クリエイトマネージメント協会
松田食品工業(株)・小田印刷(株)
株)バルジ・オカダ・アケア・アラン(株)
関西情報工学院専門学校
田辺経営(株)システム・ブレイン(株)
顧問
顧問
顧問
講師

伊藤 武定
(S 40 年経済学科卒)

桐井鉄工株式会社
近畿大学校友会相談役

代表取締役 **桐井 宗治**

〒 543-0013 大阪府天王寺区玉造本町十一丁目四
TEL (〇六) 七六一一三七〇一
FAX (〇六) 七六一〇九六九
E-mail beb02402@nifty.com

川渕不動産鑑定事務所

不動産鑑定士 **川渕 真平**

〒 669-1161 神戸市北区道場町生野二丁目三三番五
TEL (〇七) 七七六三一三〇五
FAX (〇七) 七七六三一三〇六
E-mail rap-sk@khaki.plala.or.jp

造園 土木 設計・施工
株式会社 共同園芸

代表取締役 **若生 恭廣**
(S48年農学科卒)

本社 神戸市東灘区本山南町六丁目五番二号
TEL (078) 4531753
FAX (078) 4531757
宝塚支店 宝塚市山本中丁目十五番一三
TEL (0797) 8810240
FAX (0797) 8914682
大阪支店 大阪府北区中津丁目二番十一四〇五号
TEL (06) 63721600
FAX (06) 63721600

近畿大学校友会幹事

静原 重人

(奄美大島龍郷町仲勝出身)

勤務先 堺市立長尾中学校教諭
〒648-0092 和歌山県橋本市紀見ヶ丘一丁目一十四
TEL・FAX (073) 3371411

株式会社 **総合緑化**

本店 大阪市中央区兵衛四丁目三番十四号一八〇
TEL (06) 4706178
FAX (06) 4706178
交野支店 大阪府交野市星田四丁目三十四番十九号
TEL (07) 8941215
FAX (07) 8941216
E-mail: songou-1@fancy.ocn.ne.jp
S38 卒 山口 英雄

「進化そして拡充」
近畿大学校友会神戸支部

支部長 **山崎 博司**
副支部長 **時田 全規**
副支部長 **田中 栄一**
副支部長 **登里 忠嗣**
幹事長 **藤川 富士夫**

近畿大学相撲部OB会

経営支援クリニック・センター
(田中会計事務所)

代表税理士 **田中 成人**
所長税理士 **田中 祥宏**
〒541-0055 センター事務所
大阪市中央区船場中央一丁目四一四二二
〒542-0081 プラザ事務所
大阪市中央区南船場一丁目一十一
TEL (06) 62621480(代)

校友会常任幹事
校友会神戸支部常任顧問
「心からこころへ」ミキプルーン代理店
シンコーテクノ株式会社

代表取締役 **春本 佳和**
(昭和44年商卒)

〒653-0882 神戸市長田区長田天神町三丁目三番十三号
TEL (078) 6411082
FAX (078) 6411082
E-mail: non3683@mata.eonet.ne.jp

株式会社セレ・ナス

代表取締役会長 **福井 昌勝**
(近43法学部卒)

大長運輸株式会社

代表取締役社長 **芳仲 秀訓**
〒587-0011 大阪府堺市美原町丹上二〇〇番地の二
TEL (07) 3362138(代)
FAX (07) 3361148(代)
E-mail: yoshinaka@dancho-express.co.jp

近畿大学校友会常任幹事
近畿大学校友会常任幹事

高野弘道

〒538-0054 大阪市鶴見区緑二丁目二十四番四
TEL(〇六)六九二二〇一九八
FAX(〇六)六九二二〇五三

近畿大学校友会相談役
近畿大学薬友会顧問

中出貞男

京橋薬局
TEL(〇六)六九六七一三三〇
FAX(〇六)六九六七一一四九八
SUNパード薬局
TEL(〇六)六六六六一〇九九九
FAX(〇六)六六六六一〇九九一

株式会社 日経サービス
近畿大学校友会副会長

代表取締役会長
近藤勲

本社 大阪市中央区南船場二丁目十七番十号
TEL(〇六)六六八二六七八八
FAX(〇六)六六八二〇三八八

広島県公安委員会指定
広島労働局長登録教習機関
株式会社テクノ自動車学校

代表取締役
竹内正彦

〒731-4213 学 校
広島県安芸郡熊野町五六四〇一
TEL(〇八)八五四一四〇〇〇(代)
FAX(〇八)八五四一九四六六

近畿大学校友会常任幹事
近畿大学校友会副会長

永原静男

三重県久居市持川町三二五二四
TEL(〇五九)二五五二七二九

宅地造成・土木総合請負
株式会社 長谷川建設
国土交通大臣(特)第10378号

代表取締役
長谷川慎哉

(平成元年商経学部経営学科卒業)

本社 寝屋川市池田新町十一番五号
〒572-0038
TEL(〇七)八二九一〇一〇〇
FAX(〇七)八二九一五五五
枚方支店・京都支店・富山支店
E-mail: haseken1@silver.ocn.ne.jp

会長
野口末和

(播磨屋九兵衛)

株式会社播磨屋
株式会社ホテルグリンドウ(博多駅前・行橋駅前)
人材派遣サービス株式会社
上海助手商務服务有限公司
近畿大学校友会相談役

本部
〒558-0014 大阪市住吉区我孫子二丁目二十一
TEL(〇六)六六九七一〇三三二

近畿大学校友会常任幹事
近畿大学校友会副会長

中易義暢

TEL・FAX(〇六)六九三二一六二〇八

校友会参与

廣瀬喜久

(社)兵庫県宅地建物取引業協会会員
不動産コンサルティング技能者登録(3)1474号
兵庫県知事免許⑬162号

町田商会

代表者 町田隆雄

〒653-0042 神戸市長田区三葉町四丁目二番十四号
(J)R新長田駅南五〇〇(歩)
(市営地下鉄海岸線駒ヶ林駅徒歩一分)
TEL 〇七八六二二一四四四四
FAX 〇七八六一一〇五三三
E-mail machidat@osk23web.ne.jp

近畿大学校友会行政書士支部

支部長 森永祐申
副支部長 増井康男
副支部長 横山隆
幹事長 廣瀬幸生

近畿大學應援團OB会渉外委員会副委員長
近畿大学校友会幹事
近畿大学校友会堺支部副幹事長

株式会社 ワールド・アミー

取締役管理部長 猪尾浩

(平成2年商経学部卒)

大阪府吹田市広芝町十八番三十四号
TEL 〇六六九三一九九〇
FAX 〇六六一九三一九九二
<http://www.amie.ne.jp>

造園・設計・施工・管理
ムサシ造園土木株式会社

取締役 田中康臣
(日7年応用化学科卒)

〒558-0011 本社
大阪市住吉区菊田五丁目十八番三十二番二
TEL・FAX 〇六六六九二一七二七四
富田林支店
大阪府富田林市宮町丁目八一九
TEL 〇七三二二五一一〇九二
FAX 〇七三二二五一一〇八六〇

創業五十二年 株式会社山富

会長 居川和敏
社長 竹谷雄二郎
相談役 居川誠一郎

近畿大学校友会豊中支部長
近畿大学校友会常任幹事

森崎正幸

(近四十五年卒)

近畿大学校友会東大阪支部

支部長 盛山博男
幹事長 宮崎利一

〒577-0017 東大阪市藤戸新田一丁目二一九
TEL 〇六七八三二二二六
事務担当 牧野吉昭 迄

中華民國在日近畿大学校友会

会長 李忠儒
理監事一同

近畿大学校友会

広報出版委員会

編集・発行

近畿大学校友会広報出版委員会
577-8502 東大阪市小若江3-4-1
TEL (06) 6721-2332